

一宮中学校部室棟改築工事

(建築主体)

図面リスト			図面リスト		
図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺
		A 3			A 3
A－01	建築工事特記仕様書（その1）		S－01	構造設計標準仕様書	
A－02	建築工事特記仕様書（その2）		S－02	壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）	
A－03	建築工事特記仕様書（その3）		S－03	壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）	
A－04	建築工事特記仕様書（その4）		S－04	基礎伏図 基礎リスト	1/150 1/ 30
A－05	建築工事特記仕様書（解体１）		S－05	壁 梁伏図	1/150
A－06	建築工事特記仕様書（解体2）		S－06	軸組図（１）	1/150
A－07	設計概要・内外仕上表		S－07	軸組図（２）	
A－08	床面積求積図・平均地盤面算定図	1/200	S－08	壁梁リスト 壁リスト	1/ 30
A－09	案内図		S－09	スラブリスト 階段配筋詳細図	1/ 30
A－10	敷地面積求積図	1/900	S－10	地階壁配筋図（１）	1/ 30
A－11	全体配置図	1/200	S－11	地階壁配筋図（２）	1/ 30
A－12	工事部分配置図	1/200	S－12	1 階壁配筋図	1/ 30
A－13	平面図・屋根伏図	1/200	S－13	Ｙ 1 通り壁配筋詳細図	1/ 30
A－14	天井伏図	1/200	S－14	Ｘ 2 通り壁配筋詳細図	1/ 30
A－15	立面図	1/200	S－15	Ｘ 1 通り壁配筋詳細図	1/ 30
A－16	断面図	1/200	S－16	擁壁配筋図	1/ 30
A－17	矩計図 1	1/ 30			
A－18	矩計図 2	1/ 30			
A－19	矩計図 3	1/ 30			
A－20	階段詳細図	1/ 50			
A－21	平面詳細図 1	1/ 50			
A－22	平面詳細図 2	1/ 50			
A－23	平面詳細図 3	1/ 50			
A－24	平面詳細図 4	1/ 50			
A－25	平面詳細図 5	1/ 50			
A－26	平面詳細図 6	1/ 50			
A－27	建具表 1	1/100			
A－28	建具表 2	1/100			
A－29	部分詳細図 1（手洗い流し・足洗い流し）	1/ 30			
A－30	部分詳細図 2（屋根）				
A－31	外構図 1（外構平面図）	1/200			
A－32	外構図 2（手すり詳細図）	1/200			
A－33	解体図 1（既存図）	1/200			
A－34	解体図 2（解体後平面図）	1/200			
A－35	解体図 3（植え込み詳細） 解体工事概要	1/200			
A－36	仮設計画図	1/200			

一宮中学校部室棟改築工事

建築主体

設計図

令和 8 年 4 月 (全 枚)

仕 様 書

I. 工事概要

敷地所在地	山梨県笛吹市一宮町末木801 一宮中学校
都市計画区域	都市計画区域内
防火指定	無指定
その他の地域地区	—
道路	—
敷地面積	m ²
用途地域	無指定
建坪率	70%
容積率	200%
建物の主要用途	部室 (更衣室)
工事の種類	新築
棟数	1棟
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地下1階 地上1階建て
建築面積	150.40m ²
延べ床面積	226.80m ²
最高の高さ	4.53 m
最高の軒高さ	4.47 m
消防法上の有窓階・無窓階	有意
下水の放流形式	公共用下水道に放流

工事種目

図示の内容全て

II. 工事範囲

3. 工事種目」全てを工事範囲とする。

13. 工事種目」のうち の工事範囲は下記表のとおりとする。
ただし、他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

2. 仮設工事	工事範囲全て
3. 土工	
4. 地業工事	
5. 鉄筋工事	
6. コンクリート工事	
7. 鉄骨工事	
8. コンクリートブロック・ALCパネル 押出成形セメント板工事	
9. 防水工事	
10. 石工事	
11. タイル工事	
12. 木工	
13. 屋根及びとい工事	
14. 金属工事	
15. 左官工事	
16. 建具工事	
17. カーテンウォール工事	
18. 塗装工事	
19. 内装工事	
20. ユニット及びその他の工事	

III. 建築工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編) (令和4年版)」(以下、「標仕」という。))による。

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。
(3) 特記事項に記載の()内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 特記事項に記載の(別)は(5.3.7)による別図「各部配筋」の当該項目を示す。
(5) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また()内は製品名を示す。
□
(6) G印は「国等による環境物品等の調達に関する法律」の特定調達品目を示す。

1章 各章共通事項

項目

特記事項

①適用基準等

②工事実績情報の登録

③施工計画書

4.電気保安技術者

⑤施工条件

⑥発生材の処理等

⑦建築材料等

⑧化学物質を放散する
建築材料等

⑨特別な材料の工法

⑩技能士

○建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修 最新版)
○工事写真の撮り方(改訂第二版) 建築編(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)

※適用する

○工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し、監督職員に提出する。
○施工計画の内容を変更する必要がある場合は、監督職員に報告するとともに、施工に支障がないよう適切な措置を講ずる。

工事現場において電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。
・要
・不要

○工事着手については監督職員と協議し着手する。

令和 年 3月 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4月

※現場説明書による ○構外搬出適切処理

本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。
(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること
(2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
(3) 安定的な供給が可能であること
(4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること
(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
(6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること
なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関(社)公共建築協会 他)が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。
また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。

建築材料の使用制限

建築材料等について、規制の対象となる範囲は下地、仕上げ材共にF☆☆☆☆または規制対象外の建材を用いることとし、該当する材料が無い場合は監督職員の承諾を受けF☆☆☆のものを採用する(含む)を使用すること。

標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

通用工事種別

技能検定の職種

鉄筋工事

○鉄筋施工(鉄筋組立て作業)

コンクリート工事

○型枠施工

鉄骨工事

○とび

ブロック・ALCパネル工事

・ブロック建築

・ALCパネル施工

防水工事

・アスファルト防水工事作業

・合成ゴム系シート防水工事作業

・塗膜防水工事作業

○シーリング防水工事作業

石工事

・石材施工(石張り施工)

タイル工事

・タイル張り

木工

・建築大工

屋根及びとい工事

○建築板金(内外装板金作業)

金属工事

○内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)

左官工事

○左官

建具工事

○サッシ施工

○ガラス施工

・自動ドア施工

カーテンウォール工事

・カーテンウォール施工

・サッシ施工

・ガラス施工

塗装工事

○塗装(建築塗装作業)

内装工事

・プラスチック系床仕上げ工事作業

・ボード仕上げ工事作業

・表装(壁装作業)

○ 塗床

植栽工事

・造園

⑪電子納品

○工事関係図書を電子納品すること ただし監督員との協議による

○適用基準は以下の通りとする。 (作成・納品の基準、納品する資料の範囲等)

○書面による署名及び捺印の取り扱い(電子成果物の原本性保証に関する処置)
電子納品の導入にあたっては、従来の署名または捺印に代わる措置として、電子署名の導入が求められるが、電子署名の導入は現時点では困難であるため、
1) 受注者は電子媒体の内容の原本性を証明するために、電子媒体に署名又は捺印の上、提出する。
2) 共通仕様書に基づく各書面に対する署名又は捺印は、上記1)の措置を持って代えることができる

○設計図CADデータ貸与する。

○設計図CADデータの著作権は以下の者にある
貸与するCADデータを当該工事における施工図面又は完成図の作図のため以外に使用してはならない。

12.化学物質の濃度測定

施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの5物質について測定し、厚生労働省で定める指針値以下の濃度であることを確認し、測定結果報告書を監督員に提出すること。(測定結果が指針値を超えた場合は、発生源を特定し、換気などの措置を講じた後、再度測定を行う。)

測定対象科学物質

厚生労働省の指針値(25℃の場合)

ホルムアルデヒド

0.08 ppm(100 μg/m³)

トルエン

0.07 ppm(260 μg/m³)

キシレン

0.20 ppm(870 μg/m³)

エチルベンゼン

0.88 ppm(3,800 μg/m³)

スチレン

0.05 ppm(220 μg/m³)

測定はバッシュ型採取機器により行う。
着工前の測定
測定対象室
・図示
・全居室
測定箇所数
・図示
・箇所
測定結果の報告

◎作成する
・作成しない
◎完成図
提出部数
◎各2部
・部 (A3版金文字製本及び電子媒体(CD-R))
◎施工計画書
提出部数
◎各1部
・部
◎施工図
提出部数
◎各1部
・部
◎保全に関する資料
提出部数
◎各1部
・部

⑬完成図等

⑭完成写真

下記のものを監督職員に提出する。ただし、原板は撮影業者の保管とする。
分類・規格

撮影箇所数

提出部数

原板の大きさ(mm)

○カラー
※キャビネ版

※2

※6

※100×125以上

・カラー半切木製パネル
324×400(mm)

外部()内部()

※2

・電子データ

外部()内部()

※2

※200万画素以上
※300dpi以上

100×125以上の原板を使う場合は、監督職員にあらかじめべた供を提出し確認を受ける。
電子データは、RGB(フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。
撮影業者 ※監督職員の承諾する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする)(参考:(株)ガラスアイ 03-3896-7551)

⑮設備工事との取合い

設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

⑯設計GL

※現況GLを設計GLとする ○図示

⑰工事写真

・「営繕工事電子納品要領(案)(平成14年11月改訂版)」による。

2章 仮設工事

①埋戻し及び盛土

②建設発生土の処理

3章 土工

①既製コンクリート杭
地業

4章 地業工事

1.監督職員事務所

②工事用水

③工事用電力

①埋戻し及び盛土

種類

・A種

◎B種

・C種

・D種

・建設汚泥から再生し処理土◎

②建設発生土の処理

※現場説明書による

○構外搬出適切処理

・構内指示の場所にたい積

・構内指示の場所に敷き均し

1.既製コンクリート杭
地業

種類

※高強度プレストレストコンクリート杭

杭径(mm)

杭長(M)及び種別

継手数

セット数

備考

試験杭

本杭

杭頭の処理

※切断しない

先端部形状

※開放形

・閉そく平たん形

杭の継手

建築基準法に基づく指定又は認定を受けた継手を使用してもよい。

施工法

・特定埋込み杭工法

工法

・ブレイローリング拡大根固め工法

・中掘拡大根固め工法

H13国交告1113号第6による支持力算定式でα=250程度を採用できる工法

杭周固定液

・使用する

セメントの種類

6章コンクリート工事のセメントの種類による

2.場所打ち
コンクリート杭地業

③砂利地業

④床下防湿層

①鉄筋の種類

②鉄筋の継手

③鉄筋の最小かぶり
厚さ

4.既製コンクリート杭
の杭頭補強

5.最上階柱頭補強

⑥帯筋

7.壁開口部の補強

8.梁貫通孔の補強形式

9.機械吊上げ用フック

⑩圧接完了後の試験

1.普通コンクリートの
設計基準強度

2.レディーミクスト
コンクリートの類別

3.スランブ

4.セメントの種類

5.骨材の種類

6.混和材料

7.無筋コンクリート

8.コンクリート躯体
表面の処理

9.断熱材兼用型枠

コンクリートの種類及び設計基準強度
()種かつ()N/mm²以上
鉄筋の種類 5章鉄筋工事の鉄筋の種類による
堀削工法 ・アースドリル工法(・安定液使用 ・無水堀削)
・リバース工法
・オールケーシング工法(孔内の水張 ・行う ・行わない)
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法
・底底杭工法(※安定液使用)
側壁測定 ・行う() ・行わない
セメントの種類 6章コンクリート工事のセメントの種類による
◎再生クラッシュラン◎ ・切込み砂利及び切込み砕石
施工箇所 ※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ビット下を除く)
種類(の記号) 呼び名(mm)
・SD295A ※D16以下
・SD345 ※D19以上
呼び名19mm以上の柱、梁の主筋 ◎ガス圧接 ○重ね継手
最小かぶり厚さは目地底から算定する。
・耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。
施工箇所 標仕表5.3.6の値に加える寸法(mm)
・柱、梁、壁及び底などの外気に接する打放し面 ※10
・A形 ・B形 ※図示
※行う ・行わない
※H形(口は除く)
一舷壁 ・A形 ※B形 ・図示
耐震壁 ※図示
※H形 ・MH形 ・M形
・A種 ・B種 ・C種 (ヶ所)
◎超音波探傷試験 ○外観試験
設計基準強度F_c(N/mm²) 施工箇所
※21
※I類 ・II類
18cm
※普通ボルトランドセメント又は混合セメントのA種
・高炉セメントB種◎ ()
普通ボルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。
水和熱
アルカリシリカ反応による区分
※A
・B(※コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m³以下)
混和材 仕様箇所 屋外タタキ部分を除く全体:コンクリート躯体防水剤
躯体軸部:高性能AE減水材
設計基準強度 ※18N/mm²
外装タイル後張り面の躯体表面の処理
MCR工法を行う場合は、せき板面にMCR工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、仕上がり面凹凸状態とする。高圧水洗工法の目無しを行う場合は、水圧50N/mm²以上かつ、2.5分/m²以上とし、施工計画書を監督に提出し承諾を受ける。また、目無しの状態は、事前に監督職員に承諾を受ける。
コンクリートの増打ち厚さ ※20mm
※施工範囲は図示による。
適用及び適用箇所について
標仕19章内装工事9断熱材による。

摘要		T I M E	作成者	工事名称 一宮中学校部室棟改築工事 (建築主体)	縮尺
				図面名称 特記仕様書 (その1)	図番 A-01
			承認		

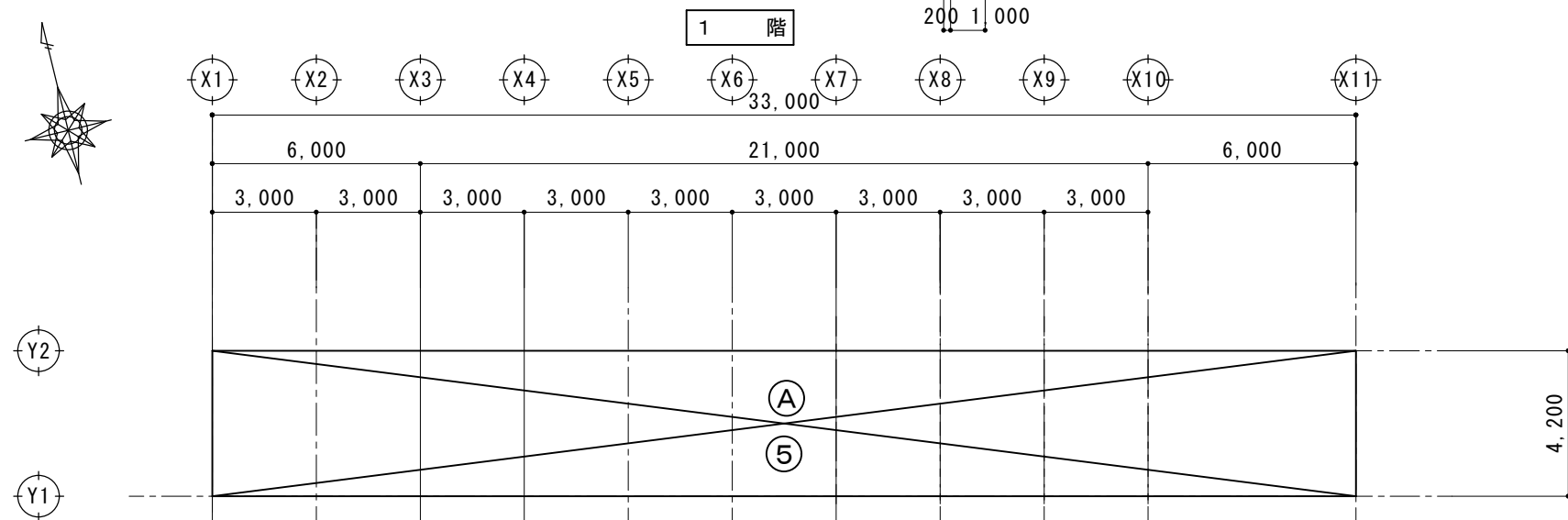
章 ユニット及びその他の工事	1. フリーアクセスフロア	<table><tr><td colspan="6">(20.2.2)</td></tr><tr><td>施工箇所</td><td>構 法</td><td>仕上り高 (mm)</td><td>適用地震 時水平力</td><td>耐荷重性能</td><td>表面仕上げ材</td></tr><tr><td></td><td>・パネル構法 ・潰構法</td><td></td><td>・1.0G ・0.6G</td><td>・3,000N ・5,000N</td><td>・帯電防止床タイル ・タイルカーベット</td></tr><tr><td></td><td>・パネル構法 ・潰構法</td><td></td><td>・1.0G ・0.6G</td><td>・3,000N ・5,000N</td><td>・帯電防止床タイル ・タイルカーベット</td></tr><tr><td></td><td>・パネル構法 ・潰構法</td><td></td><td>・1.0G ・0.6G</td><td>・3,000N ・5,000N</td><td>・帯電防止床タイル ・タイルカーベット</td></tr><tr><td colspan="6">5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したものと又は同等品とする。</td></tr><tr><td colspan="6">表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事によるスロープ及びボーダー ※製造所の標準仕様 ・図示 コンセント等の取付け対応 ※製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途設備工事) コンセントの箇所数は図示</td></tr><tr><td colspan="6">配線用取り出しパネル 配線取り出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1ヶ所以上 フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※20～30% 空調用吹き出しパネル ※無し ・有り(※固定式 ・可変式 ：施工箇所は図示)</td></tr><tr><td colspan="6">(20.2.3)</td></tr><tr><td>2. 可動間仕切</td><td colspan="5"><table><tr><td>構造形式</td><td>パネル部の 総厚さ(mm)</td><td>表面材種 厚さ(mm)</td><td>表面仕上げ</td><td>遮音性能</td><td>防火性能</td></tr><tr><td>・スタッド式 ・スタッドパネル式 ・パネル式</td><td>・60</td><td>※鋼板 (※0.6 ・0.8)</td><td>※メラミン樹脂又は アクリル樹脂焼付け ・</td><td>・あり () ・なし</td><td>・あり ・なし</td></tr></table></td></tr></table>	(20.2.2)						施工箇所	構 法	仕上り高 (mm)	適用地震 時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材		・パネル構法 ・潰構法		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーベット		・パネル構法 ・潰構法		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーベット		・パネル構法 ・潰構法		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーベット	5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したものと又は同等品とする。						表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事によるスロープ及びボーダー ※製造所の標準仕様 ・図示 コンセント等の取付け対応 ※製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途設備工事) コンセントの箇所数は図示						配線用取り出しパネル 配線取り出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1ヶ所以上 フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※20～30% 空調用吹き出しパネル ※無し ・有り(※固定式 ・可変式 ：施工箇所は図示)						(20.2.3)						2. 可動間仕切	<table><tr><td>構造形式</td><td>パネル部の 総厚さ(mm)</td><td>表面材種 厚さ(mm)</td><td>表面仕上げ</td><td>遮音性能</td><td>防火性能</td></tr><tr><td>・スタッド式 ・スタッドパネル式 ・パネル式</td><td>・60</td><td>※鋼板 (※0.6 ・0.8)</td><td>※メラミン樹脂又は アクリル樹脂焼付け ・</td><td>・あり () ・なし</td><td>・あり ・なし</td></tr></table>					構造形式	パネル部の 総厚さ(mm)	表面材種 厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能	・スタッド式 ・スタッドパネル式 ・パネル式	・60	※鋼板 (※0.6 ・0.8)	※メラミン樹脂又は アクリル樹脂焼付け ・	・あり () ・なし	・あり ・なし	14. カーテンレール	<table><tr><td>材 種</td><td>※アルミニウム製 ・ステンレス製</td></tr><tr><td>形 式</td><td>・片引き ・引分け(※暗幕用は300mm以上の召合せの重掛けとする)</td></tr></table>	材 種	※アルミニウム製 ・ステンレス製	形 式	・片引き ・引分け(※暗幕用は300mm以上の召合せの重掛けとする)																																																											
(20.2.2)																																																																																																																																											
施工箇所	構 法	仕上り高 (mm)	適用地震 時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材																																																																																																																																						
	・パネル構法 ・潰構法		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーベット																																																																																																																																						
	・パネル構法 ・潰構法		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーベット																																																																																																																																						
	・パネル構法 ・潰構法		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーベット																																																																																																																																						
5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したものと又は同等品とする。																																																																																																																																											
表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事によるスロープ及びボーダー ※製造所の標準仕様 ・図示 コンセント等の取付け対応 ※製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途設備工事) コンセントの箇所数は図示																																																																																																																																											
配線用取り出しパネル 配線取り出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1ヶ所以上 フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※20～30% 空調用吹き出しパネル ※無し ・有り(※固定式 ・可変式 ：施工箇所は図示)																																																																																																																																											
(20.2.3)																																																																																																																																											
2. 可動間仕切	<table><tr><td>構造形式</td><td>パネル部の 総厚さ(mm)</td><td>表面材種 厚さ(mm)</td><td>表面仕上げ</td><td>遮音性能</td><td>防火性能</td></tr><tr><td>・スタッド式 ・スタッドパネル式 ・パネル式</td><td>・60</td><td>※鋼板 (※0.6 ・0.8)</td><td>※メラミン樹脂又は アクリル樹脂焼付け ・</td><td>・あり () ・なし</td><td>・あり ・なし</td></tr></table>					構造形式	パネル部の 総厚さ(mm)	表面材種 厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能	・スタッド式 ・スタッドパネル式 ・パネル式	・60	※鋼板 (※0.6 ・0.8)	※メラミン樹脂又は アクリル樹脂焼付け ・	・あり () ・なし	・あり ・なし																																																																																																																										
構造形式	パネル部の 総厚さ(mm)	表面材種 厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能																																																																																																																																						
・スタッド式 ・スタッドパネル式 ・パネル式	・60	※鋼板 (※0.6 ・0.8)	※メラミン樹脂又は アクリル樹脂焼付け ・	・あり () ・なし	・あり ・なし																																																																																																																																						
材 種	※アルミニウム製 ・ステンレス製																																																																																																																																										
形 式	・片引き ・引分け(※暗幕用は300mm以上の召合せの重掛けとする)																																																																																																																																										
15. ブラインドボックス及びカーテンボックス	<table><tr><td>・市販品(アルミニウム製 押出し型材)</td><td>・90×150 ※120×80 ・120×150 ・150×80</td></tr><tr><td>潰幅×深さ(mm)</td><td>※B-1 ・B-2(※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)</td></tr><tr><td>色彩</td><td>・図示</td></tr></table>	・市販品(アルミニウム製 押出し型材)	・90×150 ※120×80 ・120×150 ・150×80	潰幅×深さ(mm)	※B-1 ・B-2(※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)	色彩	・図示																																																																																																																																				
・市販品(アルミニウム製 押出し型材)	・90×150 ※120×80 ・120×150 ・150×80																																																																																																																																										
潰幅×深さ(mm)	※B-1 ・B-2(※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)																																																																																																																																										
色彩	・図示																																																																																																																																										
16. 耐震スリット	<table><tr><td>方 向</td><td>タイプ</td><td>耐火性能</td><td>防水性能</td></tr><tr><td>・垂直方向 ・水平方向</td><td>※完全(全貫通型)スリット</td><td>・耐火型 ・非耐火型</td><td>・有り ・無し</td></tr></table>	方 向	タイプ	耐火性能	防水性能	・垂直方向 ・水平方向	※完全(全貫通型)スリット	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し																																																																																																																																		
方 向	タイプ	耐火性能	防水性能																																																																																																																																								
・垂直方向 ・水平方向	※完全(全貫通型)スリット	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し																																																																																																																																								
17. 止水板	<table><tr><td>目 地</td><td>内壁(幅×深さ)</td><td>外壁(幅×深さ)</td></tr><tr><td>目地材</td><td>シーリング材(見え掛かりのみ)</td><td>シーリング材(内外とも)</td></tr><tr><td>目地寸法(mm)</td><td>※20×10</td><td>※20×10</td></tr></table>	目 地	内壁(幅×深さ)	外壁(幅×深さ)	目地材	シーリング材(見え掛かりのみ)	シーリング材(内外とも)	目地寸法(mm)	※20×10	※20×10																																																																																																																																	
目 地	内壁(幅×深さ)	外壁(幅×深さ)																																																																																																																																									
目地材	シーリング材(見え掛かりのみ)	シーリング材(内外とも)																																																																																																																																									
目地寸法(mm)	※20×10	※20×10																																																																																																																																									
18. 天井点検口	材 質 アルミニウム製(※額縁タイプ ◎目地タイプ)																																																																																																																																										
19. 床点検口	材 質 アルミニウム製(受け枠 ※アルミ製 ・ステンレス製)																																																																																																																																										
⑳ 鋼製書架及び物品棚	<table><tr><td>種 類</td><td>規格等</td><td>耐荷重による種類</td></tr><tr><td>・鋼製書架</td><td>JIS S 1039の規格による</td><td>水平荷重Ⅰ又は水平荷重Ⅱ</td></tr><tr><td>・鋼製物品棚</td><td>JIS S 1040の規格による</td><td>※1種 ・2種 ・3種</td></tr></table>	種 類	規格等	耐荷重による種類	・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	水平荷重Ⅰ又は水平荷重Ⅱ	・鋼製物品棚	JIS S 1040の規格による	※1種 ・2種 ・3種																																																																																																																																	
種 類	規格等	耐荷重による種類																																																																																																																																									
・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	水平荷重Ⅰ又は水平荷重Ⅱ																																																																																																																																									
・鋼製物品棚	JIS S 1040の規格による	※1種 ・2種 ・3種																																																																																																																																									
21. かざ箱	市販品 形 式 ・30組用 ・60組用 ・120組用																																																																																																																																										
22. くつふきマット	市販品 材 質 ・塩化ビニル製(コイル状 ステンレス製受枠) ・ビニル製(ステンレス製受枠) ・硬質アルミニウム製(受枠とも) ・ステンレス製(受枠とも)																																																																																																																																										
㉑ 流し台ユニット	<table><tr><td>種 類</td><td>寸法(L= mm)</td><td>適用内容</td><td>規格・品質等</td></tr><tr><td>・流し台</td><td>※1200 ・1500 ・1800</td><td>トラップ付き</td><td>※優良住宅部品 (セクショナル キッチンⅠ型)</td></tr><tr><td>・コンロ台</td><td>※600 ・700</td><td>バックガード ※有り</td><td></td></tr><tr><td>・つり戸棚</td><td>※1200 ・900 ・600</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・水切り棚</td><td>※1200 ・900</td><td>ステンレス製 ※1段式</td><td>※市販品</td></tr></table>	種 類	寸法(L= mm)	適用内容	規格・品質等	・流し台	※1200 ・1500 ・1800	トラップ付き	※優良住宅部品 (セクショナル キッチンⅠ型)	・コンロ台	※600 ・700	バックガード ※有り		・つり戸棚	※1200 ・900 ・600			・水切り棚	※1200 ・900	ステンレス製 ※1段式	※市販品																																																																																																																						
種 類	寸法(L= mm)	適用内容	規格・品質等																																																																																																																																								
・流し台	※1200 ・1500 ・1800	トラップ付き	※優良住宅部品 (セクショナル キッチンⅠ型)																																																																																																																																								
・コンロ台	※600 ・700	バックガード ※有り																																																																																																																																									
・つり戸棚	※1200 ・900 ・600																																																																																																																																										
・水切り棚	※1200 ・900	ステンレス製 ※1段式	※市販品																																																																																																																																								
24. 屋内掲示板	枠の材質 ※アルミニウム製 表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り																																																																																																																																										
25. 洗面カウンター	材 種 ・メラミン樹脂化粧板張り(心材：集成材) ・人工大理石 奥行き(mm) ・約450 ・約600																																																																																																																																										
26. 防煙垂れ壁	・固定式 <table><tr><td>材 質</td><td>厚さ(mm)</td><td>高さ(mm)</td><td>備 考</td></tr><tr><td>※網入り磨板ガラス ・線入り磨板ガラス</td><td>※6.8</td><td>※500</td><td>アルミ製枠付き</td></tr></table>	材 質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備 考	※網入り磨板ガラス ・線入り磨板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き																																																																																																																																		
材 質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備 考																																																																																																																																								
※網入り磨板ガラス ・線入り磨板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き																																																																																																																																								
27. 視覚障害者用床タイル(誘導用及び注意喚起用床材)	ブロックパターンはJIS T 9251による 色彩は黄色を原則とする 屋 内 ※塩化ビニル製 ・磁器又はセラミックスタイル(※300 ・) ・レジンコンクリート製 屋 外 ※レジンコンクリート製 ・磁器又はセラミックスタイル(※300 ・) 材 質 ※アルミニウム合金製 形 式 ※テーパー型 ・同一断面型 地上高さ(m) ・6 ・8 ・10 ・12 操作方法 ※ハンドル式 ・ロープ式 固定方法 ・埋込式 ・ベース式 ・バンド式 製造所																																																																																																																																										
㉒ 旗竿	ポール時計：図示																																																																																																																																										
29. 旗竿受金物	材 種 ステンレス製SUS304																																																																																																																																										
30. フェンス	・ビニル被覆エキスパンドフェンス ◎樹脂塗装メッシュフェンス																																																																																																																																										
31. 屋外掲示板	照明器具 ※有り ・無し 施 錠 ※有り ・無し 製造所																																																																																																																																										
32. 車止め支柱	※ステンレス製(上下式鎮内蔵型) 径114.3mm t=2.5mm H=GL+700mm ※スプリング付 ・スプリング無し																																																																																																																																										
33. 収納家具	材質 形状・寸法 ※図示 ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種																																																																																																																																										
34. エキスパンション・ジョイント金物	材質 ・アルミ ・ステンレス クリアランス ・50 ・100 ・150 耐火性能 ・有り() ・無し 防水型 ※適用する ・適用しない																																																																																																																																										
章 排水工事	1. 排水管	<table><tr><td>排水管用材料</td><td>(21.2.3)(表21.2.2)(21.3.1～3.2)</td></tr><tr><td>材 種</td><td>管の種類</td><td>管形状(接合方法)</td></tr><tr><td>※適心力鉄筋コンクリート管</td><td>※外圧管(※1種 ・2種)</td><td>B形(ゴム接合)</td></tr><tr><td>・硬質ポリ塩化ビニル管</td><td>※VP ・VU</td><td></td></tr><tr><td>・排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管</td><td>・REP-VU ㉑</td><td></td></tr><tr><td>・硬質ポリ塩化ビニル管</td><td>・DV</td><td></td></tr></table> 車道部の排水管の敷設 (21.3.1～2) ※図示 ・砂基礎(地業厚さ20cm以上 材料 山砂の類)	排水管用材料	(21.2.3)(表21.2.2)(21.3.1～3.2)	材 種	管の種類	管形状(接合方法)	※適心力鉄筋コンクリート管	※外圧管(※1種 ・2種)	B形(ゴム接合)	・硬質ポリ塩化ビニル管	※VP ・VU		・排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管	・REP-VU ㉑		・硬質ポリ塩化ビニル管	・DV																																																																																																																									
排水管用材料	(21.2.3)(表21.2.2)(21.3.1～3.2)																																																																																																																																										
材 種	管の種類	管形状(接合方法)																																																																																																																																									
※適心力鉄筋コンクリート管	※外圧管(※1種 ・2種)	B形(ゴム接合)																																																																																																																																									
・硬質ポリ塩化ビニル管	※VP ・VU																																																																																																																																										
・排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管	・REP-VU ㉑																																																																																																																																										
・硬質ポリ塩化ビニル管	・DV																																																																																																																																										
②排水樹及びふた	<table><tr><td>銑鉄製マンホールふた</td><td>(21.2.2)</td></tr><tr><td>種 類</td><td>適用荷重</td></tr><tr><td>・水封形 ・簡易気密形(パッキン式)</td><td>・密閉形(テーパー・パッキン式) ・中ふた付密閉形</td></tr><tr><td></td><td>・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td></tr></table>	銑鉄製マンホールふた	(21.2.2)	種 類	適用荷重	・水封形 ・簡易気密形(パッキン式)	・密閉形(テーパー・パッキン式) ・中ふた付密閉形		・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用																																																																																																																																		
銑鉄製マンホールふた	(21.2.2)																																																																																																																																										
種 類	適用荷重																																																																																																																																										
・水封形 ・簡易気密形(パッキン式)	・密閉形(テーパー・パッキン式) ・中ふた付密閉形																																																																																																																																										
	・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用																																																																																																																																										
3. 埋戻し土	※B種 (21.2.2～3)(表3.2.1)																																																																																																																																										
4. 浸透管及び浸透樹	製造所																																																																																																																																										
22. 舗装工事	<table><tr><td>1. 盛り土に用いる材料</td><td>・A種 ※B種 ・C種 ・D種</td><td>(22.2.3)(表22.2.1)</td></tr><tr><td>2. 遮断層及び凍上抑制層の材料</td><td>・遮断層 ※川砂、海砂又良質な山砂 厚さは図示 ・凍上抑制層 ※再生クラッシュラン ・クラッシュラン 切り込み砂利 ・砂 厚さは図示 ・フィルター層 ※透水性舗装 車道部150mm・歩道部50mm</td><td>(22.2.2～3)(表22.2.1)</td></tr><tr><td>3. 路床安定処理</td><td>※添加材料による安定処理 (22.2.2～3)(表22.2.2) 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰() ・消石灰() 添加量 kg/m³ (目標CBR ※5以上 ・)</td><td></td></tr><tr><td>4. 路床土の支持力試験</td><td>※行う(※乱した土 ・乱さない土)</td><td>(22.2.5)</td></tr><tr><td>5. 路床締固め度の試験</td><td>※行う</td><td>(22.2.5)</td></tr><tr><td>6. 路盤材料㉑</td><td>※再生クラッシュラン(RC-40) ・クラッシュラン(0-40)又はクラッシュランスラグ(CS-40) 透水性アスファルト舗装にもちいる場合は透水性の高いもの</td><td>(22.2.3)</td></tr><tr><td>①アスファルト舗装</td><td>(22.4.2)(表22.4.1)</td><td></td></tr><tr><td></td><td><table><tr><td>舗装の種類</td><td>車道部の基層</td><td>カラー舗装の種類</td></tr><tr><td>※アスファルト舗装</td><td>※無し ・有り</td><td>※顔料混入加熱アスファルト混合物</td></tr><tr><td>・カラー舗装</td><td>※無し ・有り</td><td></td></tr><tr><td>カラー舗装の着色骨材</td><td>・有色骨材(焼成) ・着色骨材(樹脂被覆)</td><td></td></tr><tr><td>アスファルト</td><td>※再生アスファルト㉑ ・ストレータアスファルト</td><td>(22.4.3)</td></tr></table> 加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)(表22.4.4) 区分 ※一般地域 ※密粒度アスファルト混合物(13) ※密粒度アスファルト混合物(13F) 表面 ※細粒度アスファルト混合物(13) ※細粒度ギャップアスファルト混合物(13F) 基層 ※粗粒度アスファルト混合物(20) シールコート ※行わない ・行う(施工範囲：) (22.4.5)</td><td></td></tr><tr><td>アスファルト混合物の抽出試験</td><td>※行わない ・行う</td><td>(22.4.6)</td></tr><tr><td>8. コンクリート舗装</td><td>早強セメント ※使用しない ・使用する (22.5.3) 注入材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ (22.5.3)(表22.5.2～3)</td><td></td></tr><tr><td></td><td>溶接金網 ※有り ・無し (22.5.3～4) 厚さ試験 ※行わない ・行う (22.5.6)</td><td></td></tr><tr><td>9. 透水性アスファルト舗装</td><td>アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.7.4)(22.7.6)</td><td></td></tr><tr><td>10. ブロック系舗装</td><td>・コンクリート平板舗装 (22.8.2～4) <table><tr><td>種 類</td><td>寸法(mm)</td><td>厚さ(mm)</td><td>目地材</td></tr><tr><td>※普通平板(N) ・カラー平板(C)</td><td>※300角</td><td>※60</td><td>※砂</td></tr><tr><td>・洗出平板(W) ・擬石平板(S)</td><td></td><td></td><td>・モルタル</td></tr></table> ・インターロッキングブロック舗装 (22.8.2～4) <table><tr><td>種 類</td><td>厚さ(mm)</td><td>色彩及び表面加工等</td></tr><tr><td>※標準ブロック ・透水性ブロック ・誘導、注意喚起用ブロック ・植生ブロック</td><td>車道部 ※80 歩道部 ※60</td><td>※標準品 誘導、注意喚起用は黄色系とする</td></tr></table></td><td></td></tr><tr><td>インターロッキングブロック 項 目 品 質 ・性 能</td><td></td></tr><tr><td>セメント</td><td>JIS R 5210ポルトランドセメント、JIS R 5211高炉セメント、JIS R 5212シリカセメント、JIS R 5213フライアッシュセメント、白色ポルトランドセメントとする。</td></tr><tr><td>骨材</td><td>清浄、強硬、耐久性で、適当な粒度をもち、ごみ、泥、有機物、薄い石片、細長の石片を含んでいない。</td></tr><tr><td>混和材料</td><td>インターロッキングブロックの品質に有害な影響を及ぼさない。</td></tr><tr><td>着色材料</td><td>無機質材料を用い、耐候性に優れ、かつインターロッキングブロックの品質及び環境上有害な影響を及ぼさない。</td></tr><tr><td>外観</td><td>使用上有害なさず、ひびわれ、欠け、変形等がない。</td></tr><tr><td>寸法許容差(mm)</td><td>長 さ 幅 厚 さ</td></tr><tr><td>普通タイプ</td><td>±3 ±3 ±3</td></tr><tr><td>透水性タイプ</td><td>±3 ±3 +5～-1</td></tr><tr><td>植生用タイプ</td><td>±3 ±3 ±3</td></tr><tr><td>曲げ強度(N/mm²)</td><td>普通タイプ 5.0以上 透水性タイプ 3.0以上 植生用タイプ 4.0以上</td></tr><tr><td>透水係数(cm/sec)</td><td>透水性タイプ 1×10⁻³以上</td></tr><tr><td>圧縮強度(N/mm²)</td><td>普通タイプ 32.0以上 透水性タイプ 17.0以上</td></tr><tr><td>・舗石舗装 (22.8.2～4) <table><tr><td>種 類</td><td>厚さ(mm)</td><td>施工方法</td><td>基 層</td></tr><tr><td>※小舗石(花こう岩)</td><td>※80～100</td><td>※うろこ張り</td><td>※コンクリート舗装 ・アスファルト舗装</td></tr></table></td><td></td></tr></table>	1. 盛り土に用いる材料	・A種 ※B種 ・C種 ・D種	(22.2.3)(表22.2.1)	2. 遮断層及び凍上抑制層の材料	・遮断層 ※川砂、海砂又良質な山砂 厚さは図示 ・凍上抑制層 ※再生クラッシュラン ・クラッシュラン 切り込み砂利 ・砂 厚さは図示 ・フィルター層 ※透水性舗装 車道部150mm・歩道部50mm	(22.2.2～3)(表22.2.1)	3. 路床安定処理	※添加材料による安定処理 (22.2.2～3)(表22.2.2) 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰() ・消石灰() 添加量 kg/m ³ (目標CBR ※5以上 ・)		4. 路床土の支持力試験	※行う(※乱した土 ・乱さない土)	(22.2.5)	5. 路床締固め度の試験	※行う	(22.2.5)	6. 路盤材料㉑	※再生クラッシュラン(RC-40) ・クラッシュラン(0-40)又はクラッシュランスラグ(CS-40) 透水性アスファルト舗装にもちいる場合は透水性の高いもの	(22.2.3)	①アスファルト舗装	(22.4.2)(表22.4.1)			<table><tr><td>舗装の種類</td><td>車道部の基層</td><td>カラー舗装の種類</td></tr><tr><td>※アスファルト舗装</td><td>※無し ・有り</td><td>※顔料混入加熱アスファルト混合物</td></tr><tr><td>・カラー舗装</td><td>※無し ・有り</td><td></td></tr><tr><td>カラー舗装の着色骨材</td><td>・有色骨材(焼成) ・着色骨材(樹脂被覆)</td><td></td></tr><tr><td>アスファルト</td><td>※再生アスファルト㉑ ・ストレータアスファルト</td><td>(22.4.3)</td></tr></table> 加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)(表22.4.4) 区分 ※一般地域 ※密粒度アスファルト混合物(13) ※密粒度アスファルト混合物(13F) 表面 ※細粒度アスファルト混合物(13) ※細粒度ギャップアスファルト混合物(13F) 基層 ※粗粒度アスファルト混合物(20) シールコート ※行わない ・行う(施工範囲：) (22.4.5)	舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類	※アスファルト舗装	※無し ・有り	※顔料混入加熱アスファルト混合物	・カラー舗装	※無し ・有り		カラー舗装の着色骨材	・有色骨材(焼成) ・着色骨材(樹脂被覆)		アスファルト	※再生アスファルト㉑ ・ストレータアスファルト	(22.4.3)		アスファルト混合物の抽出試験	※行わない ・行う	(22.4.6)	8. コンクリート舗装	早強セメント ※使用しない ・使用する (22.5.3) 注入材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ (22.5.3)(表22.5.2～3)			溶接金網 ※有り ・無し (22.5.3～4) 厚さ試験 ※行わない ・行う (22.5.6)		9. 透水性アスファルト舗装	アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.7.4)(22.7.6)		10. ブロック系舗装	・コンクリート平板舗装 (22.8.2～4) <table><tr><td>種 類</td><td>寸法(mm)</td><td>厚さ(mm)</td><td>目地材</td></tr><tr><td>※普通平板(N) ・カラー平板(C)</td><td>※300角</td><td>※60</td><td>※砂</td></tr><tr><td>・洗出平板(W) ・擬石平板(S)</td><td></td><td></td><td>・モルタル</td></tr></table> ・インターロッキングブロック舗装 (22.8.2～4) <table><tr><td>種 類</td><td>厚さ(mm)</td><td>色彩及び表面加工等</td></tr><tr><td>※標準ブロック ・透水性ブロック ・誘導、注意喚起用ブロック ・植生ブロック</td><td>車道部 ※80 歩道部 ※60</td><td>※標準品 誘導、注意喚起用は黄色系とする</td></tr></table>	種 類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	※普通平板(N) ・カラー平板(C)	※300角	※60	※砂	・洗出平板(W) ・擬石平板(S)			・モルタル	種 類	厚さ(mm)	色彩及び表面加工等	※標準ブロック ・透水性ブロック ・誘導、注意喚起用ブロック ・植生ブロック	車道部 ※80 歩道部 ※60	※標準品 誘導、注意喚起用は黄色系とする		インターロッキングブロック 項 目 品 質 ・性 能		セメント	JIS R 5210ポルトランドセメント、JIS R 5211高炉セメント、JIS R 5212シリカセメント、JIS R 5213フライアッシュセメント、白色ポルトランドセメントとする。	骨材	清浄、強硬、耐久性で、適当な粒度をもち、ごみ、泥、有機物、薄い石片、細長の石片を含んでいない。	混和材料	インターロッキングブロックの品質に有害な影響を及ぼさない。	着色材料	無機質材料を用い、耐候性に優れ、かつインターロッキングブロックの品質及び環境上有害な影響を及ぼさない。	外観	使用上有害なさず、ひびわれ、欠け、変形等がない。	寸法許容差(mm)	長 さ 幅 厚 さ	普通タイプ	±3 ±3 ±3	透水性タイプ	±3 ±3 +5～-1	植生用タイプ	±3 ±3 ±3	曲げ強度(N/mm ²)	普通タイプ 5.0以上 透水性タイプ 3.0以上 植生用タイプ 4.0以上	透水係数(cm/sec)	透水性タイプ 1×10 ⁻³ 以上	圧縮強度(N/mm ²)	普通タイプ 32.0以上 透水性タイプ 17.0以上	・舗石舗装 (22.8.2～4) <table><tr><td>種 類</td><td>厚さ(mm)</td><td>施工方法</td><td>基 層</td></tr><tr><td>※小舗石(花こう岩)</td><td>※80～100</td><td>※うろこ張り</td><td>※コンクリート舗装 ・アスファルト舗装</td></tr></table>	種 類	厚さ(mm)	施工方法	基 層	※小舗石(花こう岩)	※80～100	※うろこ張り	※コンクリート舗装 ・アスファルト舗装		11. 路面標示用塗料	JIS K 5665(路面標示用塗料)による <table><tr><td>種類</td><td>施工</td><td>適用</td><td>色</td><td>幅(mm)</td><td>布厚さ(mm)</td><td>揮発性有機溶剤の含有率</td></tr><tr><td>・1種㉑</td><td>常温</td><td>液状</td><td>※白</td><td>※150</td><td>※1.0</td><td>塗料総質量に対して5%以下</td></tr><tr><td>・1種㉑</td><td>加熱</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・3種1号</td><td>溶融</td><td>粉体状</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	種類	施工	適用	色	幅(mm)	布厚さ(mm)	揮発性有機溶剤の含有率	・1種㉑	常温	液状	※白	※150	※1.0	塗料総質量に対して5%以下	・1種㉑	加熱						・3種1号	溶融	粉体状				
1. 盛り土に用いる材料	・A種 ※B種 ・C種 ・D種	(22.2.3)(表22.2.1)																																																																																																																																									
2. 遮断層及び凍上抑制層の材料	・遮断層 ※川砂、海砂又良質な山砂 厚さは図示 ・凍上抑制層 ※再生クラッシュラン ・クラッシュラン 切り込み砂利 ・砂 厚さは図示 ・フィルター層 ※透水性舗装 車道部150mm・歩道部50mm	(22.2.2～3)(表22.2.1)																																																																																																																																									
3. 路床安定処理	※添加材料による安定処理 (22.2.2～3)(表22.2.2) 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰() ・消石灰() 添加量 kg/m ³ (目標CBR ※5以上 ・)																																																																																																																																										
4. 路床土の支持力試験	※行う(※乱した土 ・乱さない土)	(22.2.5)																																																																																																																																									
5. 路床締固め度の試験	※行う	(22.2.5)																																																																																																																																									
6. 路盤材料㉑	※再生クラッシュラン(RC-40) ・クラッシュラン(0-40)又はクラッシュランスラグ(CS-40) 透水性アスファルト舗装にもちいる場合は透水性の高いもの	(22.2.3)																																																																																																																																									
①アスファルト舗装	(22.4.2)(表22.4.1)																																																																																																																																										
	<table><tr><td>舗装の種類</td><td>車道部の基層</td><td>カラー舗装の種類</td></tr><tr><td>※アスファルト舗装</td><td>※無し ・有り</td><td>※顔料混入加熱アスファルト混合物</td></tr><tr><td>・カラー舗装</td><td>※無し ・有り</td><td></td></tr><tr><td>カラー舗装の着色骨材</td><td>・有色骨材(焼成) ・着色骨材(樹脂被覆)</td><td></td></tr><tr><td>アスファルト</td><td>※再生アスファルト㉑ ・ストレータアスファルト</td><td>(22.4.3)</td></tr></table> 加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)(表22.4.4) 区分 ※一般地域 ※密粒度アスファルト混合物(13) ※密粒度アスファルト混合物(13F) 表面 ※細粒度アスファルト混合物(13) ※細粒度ギャップアスファルト混合物(13F) 基層 ※粗粒度アスファルト混合物(20) シールコート ※行わない ・行う(施工範囲：) (22.4.5)	舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類	※アスファルト舗装	※無し ・有り	※顔料混入加熱アスファルト混合物	・カラー舗装	※無し ・有り		カラー舗装の着色骨材	・有色骨材(焼成) ・着色骨材(樹脂被覆)		アスファルト	※再生アスファルト㉑ ・ストレータアスファルト	(22.4.3)																																																																																																																											
舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類																																																																																																																																									
※アスファルト舗装	※無し ・有り	※顔料混入加熱アスファルト混合物																																																																																																																																									
・カラー舗装	※無し ・有り																																																																																																																																										
カラー舗装の着色骨材	・有色骨材(焼成) ・着色骨材(樹脂被覆)																																																																																																																																										
アスファルト	※再生アスファルト㉑ ・ストレータアスファルト	(22.4.3)																																																																																																																																									
アスファルト混合物の抽出試験	※行わない ・行う	(22.4.6)																																																																																																																																									
8. コンクリート舗装	早強セメント ※使用しない ・使用する (22.5.3) 注入材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ (22.5.3)(表22.5.2～3)																																																																																																																																										
	溶接金網 ※有り ・無し (22.5.3～4) 厚さ試験 ※行わない ・行う (22.5.6)																																																																																																																																										
9. 透水性アスファルト舗装	アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.7.4)(22.7.6)																																																																																																																																										
10. ブロック系舗装	・コンクリート平板舗装 (22.8.2～4) <table><tr><td>種 類</td><td>寸法(mm)</td><td>厚さ(mm)</td><td>目地材</td></tr><tr><td>※普通平板(N) ・カラー平板(C)</td><td>※300角</td><td>※60</td><td>※砂</td></tr><tr><td>・洗出平板(W) ・擬石平板(S)</td><td></td><td></td><td>・モルタル</td></tr></table> ・インターロッキングブロック舗装 (22.8.2～4) <table><tr><td>種 類</td><td>厚さ(mm)</td><td>色彩及び表面加工等</td></tr><tr><td>※標準ブロック ・透水性ブロック ・誘導、注意喚起用ブロック ・植生ブロック</td><td>車道部 ※80 歩道部 ※60</td><td>※標準品 誘導、注意喚起用は黄色系とする</td></tr></table>	種 類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	※普通平板(N) ・カラー平板(C)	※300角	※60	※砂	・洗出平板(W) ・擬石平板(S)			・モルタル	種 類	厚さ(mm)	色彩及び表面加工等	※標準ブロック ・透水性ブロック ・誘導、注意喚起用ブロック ・植生ブロック	車道部 ※80 歩道部 ※60	※標準品 誘導、注意喚起用は黄色系とする																																																																																																																								
種 類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材																																																																																																																																								
※普通平板(N) ・カラー平板(C)	※300角	※60	※砂																																																																																																																																								
・洗出平板(W) ・擬石平板(S)			・モルタル																																																																																																																																								
種 類	厚さ(mm)	色彩及び表面加工等																																																																																																																																									
※標準ブロック ・透水性ブロック ・誘導、注意喚起用ブロック ・植生ブロック	車道部 ※80 歩道部 ※60	※標準品 誘導、注意喚起用は黄色系とする																																																																																																																																									
インターロッキングブロック 項 目 品 質 ・性 能																																																																																																																																											
セメント	JIS R 5210ポルトランドセメント、JIS R 5211高炉セメント、JIS R 5212シリカセメント、JIS R 5213フライアッシュセメント、白色ポルトランドセメントとする。																																																																																																																																										
骨材	清浄、強硬、耐久性で、適当な粒度をもち、ごみ、泥、有機物、薄い石片、細長の石片を含んでいない。																																																																																																																																										
混和材料	インターロッキングブロックの品質に有害な影響を及ぼさない。																																																																																																																																										
着色材料	無機質材料を用い、耐候性に優れ、かつインターロッキングブロックの品質及び環境上有害な影響を及ぼさない。																																																																																																																																										
外観	使用上有害なさず、ひびわれ、欠け、変形等がない。																																																																																																																																										
寸法許容差(mm)	長 さ 幅 厚 さ																																																																																																																																										
普通タイプ	±3 ±3 ±3																																																																																																																																										
透水性タイプ	±3 ±3 +5～-1																																																																																																																																										
植生用タイプ	±3 ±3 ±3																																																																																																																																										
曲げ強度(N/mm ²)	普通タイプ 5.0以上 透水性タイプ 3.0以上 植生用タイプ 4.0以上																																																																																																																																										
透水係数(cm/sec)	透水性タイプ 1×10 ⁻³ 以上																																																																																																																																										
圧縮強度(N/mm ²)	普通タイプ 32.0以上 透水性タイプ 17.0以上																																																																																																																																										
・舗石舗装 (22.8.2～4) <table><tr><td>種 類</td><td>厚さ(mm)</td><td>施工方法</td><td>基 層</td></tr><tr><td>※小舗石(花こう岩)</td><td>※80～100</td><td>※うろこ張り</td><td>※コンクリート舗装 ・アスファルト舗装</td></tr></table>	種 類	厚さ(mm)	施工方法	基 層	※小舗石(花こう岩)	※80～100	※うろこ張り	※コンクリート舗装 ・アスファルト舗装																																																																																																																																			
種 類	厚さ(mm)	施工方法	基 層																																																																																																																																								
※小舗石(花こう岩)	※80～100	※うろこ張り	※コンクリート舗装 ・アスファルト舗装																																																																																																																																								
種類	施工	適用	色	幅(mm)	布厚さ(mm)	揮発性有機溶剤の含有率																																																																																																																																					
・1種㉑	常温	液状	※白	※150	※1.0	塗料総質量に対して5%以下																																																																																																																																					
・1種㉑	加熱																																																																																																																																										
・3種1号	溶融	粉体状																																																																																																																																									
章 植栽工事	23. 樹木の植栽基礎整備	芝及び地盤類 (23.2.2～3)(表23.2.1～2) <table><tr><td>適 用</td><td>有効土層の厚さ(cm)</td><td>工 法</td><td>整備範囲</td></tr><tr><td>※行う ・行わない</td><td>※20</td><td>※B種</td><td>※植栽範囲 ・図示</td></tr></table> 樹木 (23.2.2～3)(表23.2.1～2) <table><tr><td>樹木の樹高(m)</td><td>有効土層の厚さ(cm)</td><td>工 法</td><td>整備範囲</td></tr><tr><td>・12以上</td><td>※100</td><td>※A種</td><td>・葉張りの範囲</td></tr><tr><td>・7超～12未満</td><td>※80</td><td>・B種</td><td>ただし、低木は植栽範囲</td></tr><tr><td>・3超～7以下</td><td>※60</td><td>・C種</td><td>・図示</td></tr><tr><td>・3以下</td><td>※50</td><td>・D種</td><td></td></tr></table> 工法B種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。	適 用	有効土層の厚さ(cm)	工 法	整備範囲	※行う ・行わない	※20	※B種	※植栽範囲 ・図示	樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	工 法	整備範囲	・12以上	※100	※A種	・葉張りの範囲	・7超～12未満	※80	・B種	ただし、低木は植栽範囲	・3超～7以下	※60	・C種	・図示	・3以下	※50	・D種																																																																																																														
適 用	有効土層の厚さ(cm)	工 法	整備範囲																																																																																																																																								
※行う ・行わない	※20	※B種	※植栽範囲 ・図示																																																																																																																																								
樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	工 法	整備範囲																																																																																																																																								
・12以上	※100	※A種	・葉張りの範囲																																																																																																																																								
・7超～12未満	※80	・B種	ただし、低木は植栽範囲																																																																																																																																								
・3超～7以下	※60	・C種	・図示																																																																																																																																								
・3以下	※50	・D種																																																																																																																																									
2. 植込み用土	※現場発生土の良質土 ・客土(※畑土 ・黒土) (23.2.3)																																																																																																																																										
3. 土壌改良材㉑	※適用する (23.2.3～4) 施工箇所 ※植栽範囲 ・図示																																																																																																																																										
4. 支柱材	バークたい肥 有機物の含有量(乾物)：70%以上 炭素窒素比(C/N比)：35以下 陽イオン交換容量(乾物)：70meq/100g以上 pH：5.5～7.5 水分：55～65% 幼植物試験の結果：生育阻害その他の異常を認めない 窒素全量(現物)：0.5%以上 りん酸全量(現物)：0.2%以下 加里全量(現物)：0.1%以上																																																																																																																																										
5. 幹巻き用材料	免耕下汚泥コンポスト 「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の調査の結果、害が認められないものとする ひ素：0.005%以下 カドミウム：0.0005%以下 水銀：0.0002%以下 ニッケル：0.03%以下 クロム：0.05%以下 鉛：0.01%以下 有機物の含有量(乾物)：35%以上 炭素窒素比(C/N比)：20以下 pH：8.5以下 水分：50%以下 窒素全量(現物)：0.8%以上 りん酸全量(現物)：1.0%以上 アルカリ分：15%以下																																																																																																																																										
6. 芝張り	※杉の焼丸太(間伐材)㉑ ・真竹 (23.3.2)																																																																																																																																										
7. 屋上緑化	※幹巻き用テープ ・わら及びこも (23.3.2) 種類 ・こうらい芝 ・野芝 (23.4.2) 屋上緑化システム㉑ (23.5.2) ・管理方法による区分 ・省管理型 質量の上限値 () kg/m ² かん水装置 ・設ける(工事区分は図示) 透水層・保水層及び排水層等 保水層及び排水層の鉛直方向の透水性：240L/m ² ・h以上 耐荷重性能 省管理型：3×10 ⁴ N/m ² 以上の載荷重で異常のないこと。 (23.5.3) 耐根層の材料 合成樹脂耐根シート(厚さ3mm以上)又は抗根性剤とする(耐根性能の実績を有すること) 植込み用土 製造所の仕様による 植栽の種類 製造所の指定するものとする ・管理方法による区分 ・管理型																																																																																																																																										
4. 支柱材	※杉の焼丸太(間伐材)㉑ ・真竹 (23.3.2)																																																																																																																																										
5. 幹巻き用材料	※幹巻き用テープ ・わら及びこも (23.3.2)																																																																																																																																										
6. 芝張り	種類 ・こうらい芝 ・野芝 (23.4.2)																																																																																																																																										
7. 屋上緑化	屋上緑化システム㉑ (23.5.2) ・管理方法による区分 ・省管理型 質量の上限値 () kg/m ² かん水装置 ・設ける(工事区分は図示) 透水層・保水層及び排水層等 保水層及び排水層の鉛直方向の透水性：240L/m ² ・h以上 耐荷重性能 省管理型：3×10 ⁴ N/m ² 以上の載荷重で異常のないこと。 (23.5.3) 耐根層の材料 合成樹脂耐根シート(厚さ3mm以上)又は抗根性剤とする(耐根性能の実績を有すること) 植込み用土 製造所の仕様による 植栽の種類 製造所の指定するものとする ・管理方法による区分 ・管理型																																																																																																																																										

設計概要	工 事 名 称	一宮中学校部室棟改築工事（建築主体）		外部仕上表	屋 根	均しモルタル t 20 カラー G L 鋼板 t：0.4 完全嵌合式立平葺き@455 アルミ押し出し型吊り子工法@750	
	建築主 住所・氏名	笛吹市石和町市部 7 7 7 笛吹市長 山下政樹			樋	軒 樋：両面カラー G L 鋼板 t 0.5 落ち葉除け一体型軒樋	
	構造用途 工事種別	鉄筋コンクリート造 地下 1 階 地上 1 階				縦 樋：カラー V P 100φ	
	敷 地 の 地 名 地 番	所在：山梨県笛吹市一宮町末木801 一宮中学校			軒 裏	コンクリート打ち放し・補修の上・防水型複層塗材 E	
	用途地域等	無 指 定			外 壁	コンクリート打ち放し・補修の上・防水型複層塗材 E	
					基 礎 ・ 巾 木	モルタル金コテ G L +300	
	床面積	226.80 m ²			外 部 開 口 部	スチールドア アルミサッシュ	
	建築面積	150.40 m ²			屋 外 階 段	床面：モルタル金コテ押さえ スラブ下：コンクリート打ち放し・補修の上・防水型複層塗材 E ステンレス手すり（S U S 3 0 4）	

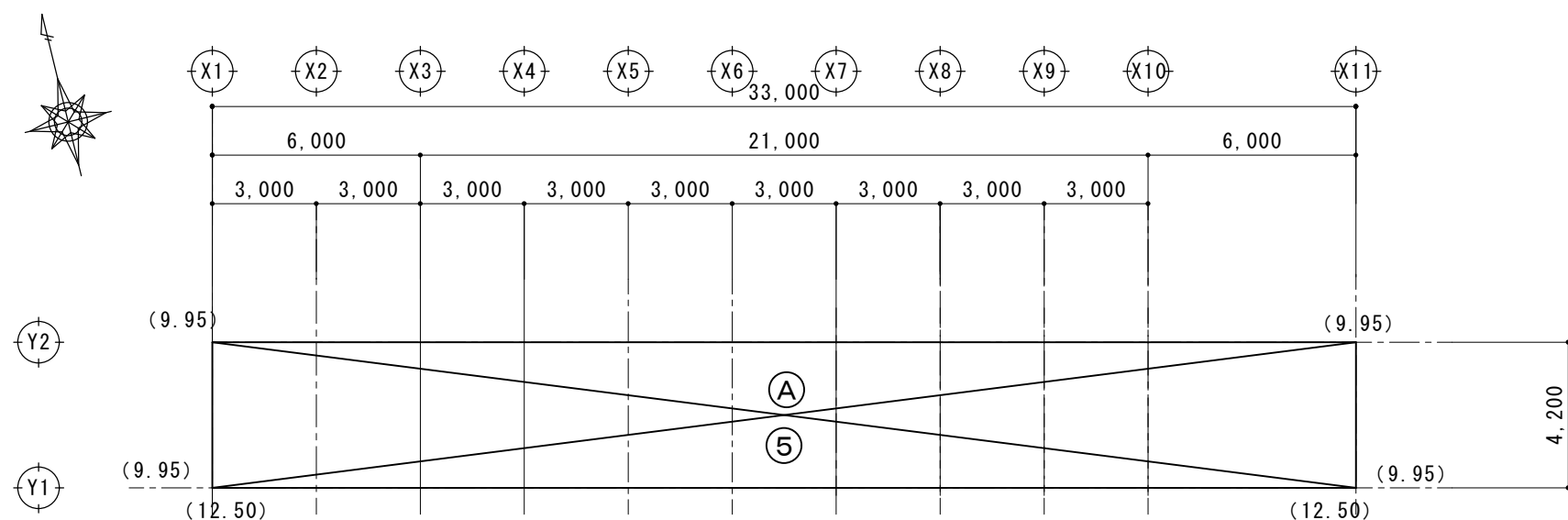
内部仕上表

室 名	床		巾 木		壁		天 井		備 考
部室 1 ～ 11 （更衣室）	下地	コンクリート土間	下地	壁と同じ	下地	コンクリート打ち放し	下地	コンクリート打ち放し	スチールラック W：3,600 H：1,800 D：600（別途）
	仕上	モルタル金コテ押さえ カッター目地切（深さ30程度）（縦横×1）	仕上	壁と同じ	仕上	コンクリート打ち放し面補修（吹付下地用程度）	仕上	コンクリート打ち放し面補修（吹付下地用程度）	
男 子 便 所	下地	コンクリート土間 モルタル金コテ押さえの上	下地	モルタル金コテ H：100	下地	コンクリート打ち放し	下地	L G S（19型）	天井点検口（アルミ枠）450×450
	仕上	塗床：合成樹脂塗床（エポキシ樹脂系厚幕流し）	仕上	塗床	仕上	コンクリート打ち放し面補修（吹付下地用程度）	仕上	化粧石膏ボード t 9.5	
女 子 便 所	下地	コンクリート土間 モルタル金コテ押さえの上	下地	モルタル金コテ H：100	下地	コンクリート打ち放し	下地	L G S（19型）	天井点検口（アルミ枠）450×450
	仕上	塗床：合成樹脂塗床（エポキシ樹脂系厚幕流し）	仕上	塗床	仕上	コンクリート打ち放し面補修（吹付下地用程度）	仕上	化粧石膏ボード t 9.5	
踏 込	下地	コンクリート土間	下地	壁と同じ	下地	コンクリート打ち放し	下地	コンクリート打ち放し	
	仕上	モルタル金コテ押さえ カッター目地切（深さ30程度）（縦横×1）	仕上	壁と同じ	仕上	コンクリート打ち放し面補修（吹付下地用程度）	仕上	コンクリート打ち放し面補修（吹付下地用程度）	
倉庫 1 ～ 3	下地	コンクリート土間	下地	壁と同じ	下地	コンクリート打ち放し	下地	コンクリート打ち放し	スチールラック W：3,600 H：1,800 D：600（別途）
	仕上	モルタル金コテ押さえ カッター目地切（深さ30程度）（縦横×1）	仕上	壁と同じ	仕上	コンクリート打ち放し面補修（吹付下地用程度）	仕上	コンクリート打ち放し面補修（吹付下地用程度）	
倉庫 4	下地	コンクリート土間	下地	壁と同じ	下地	コンクリート打ち放し	下地	コンクリート打ち放し	スチールラック W：3,600 H：1,800 D：600（別途）
	仕上	モルタル金コテ押さえ カッター目地切（深さ30程度）（縦×2 横×1）	仕上	壁と同じ	仕上	コンクリート打ち放し面補修（吹付下地用程度）	仕上	コンクリート打ち放し面補修（吹付下地用程度）	

摘要		T I M E					作成者	工事名称 一宮中学校部室棟改築工事（建築主体）	縮尺
							承認		



地階

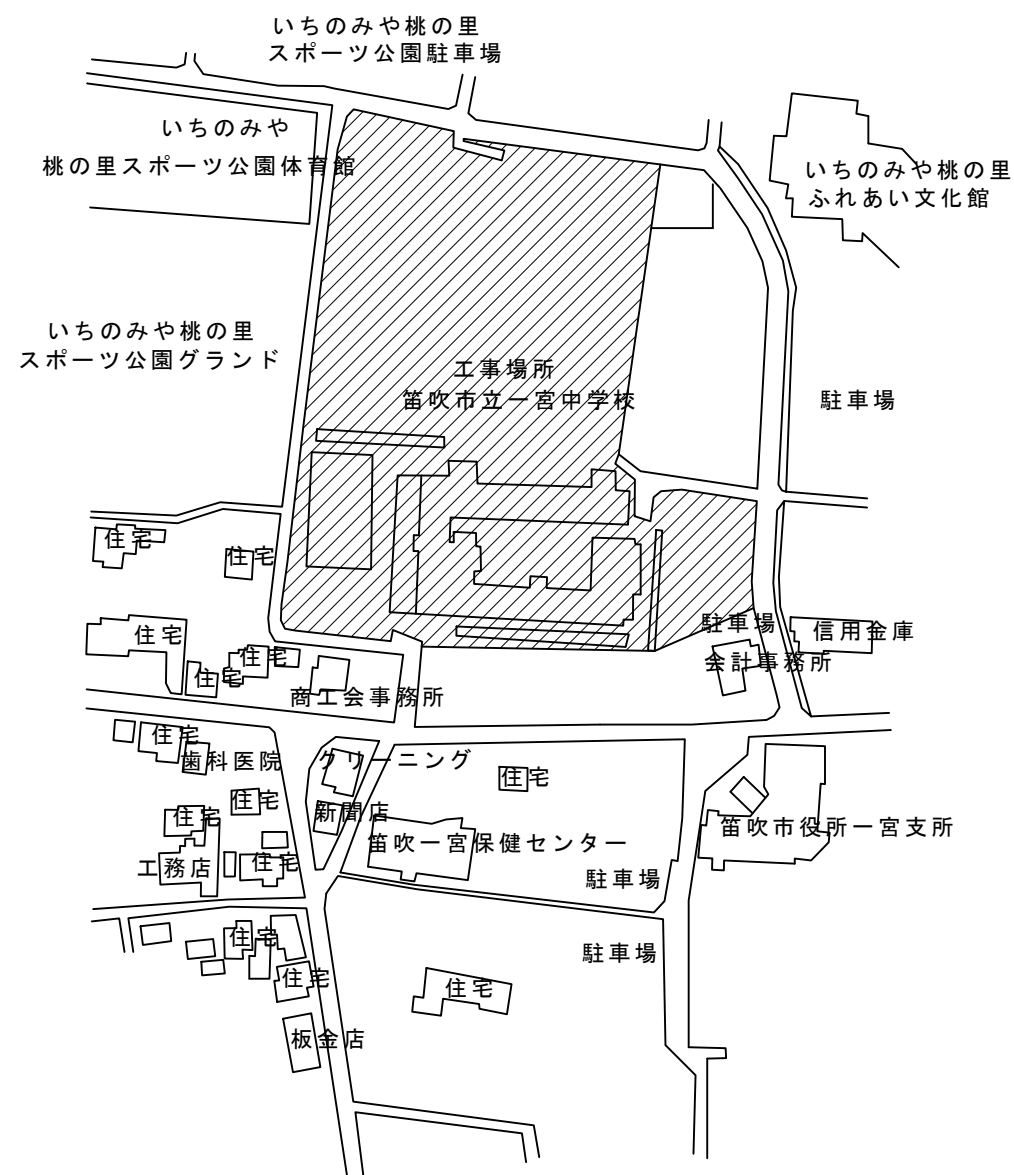


面積集計表

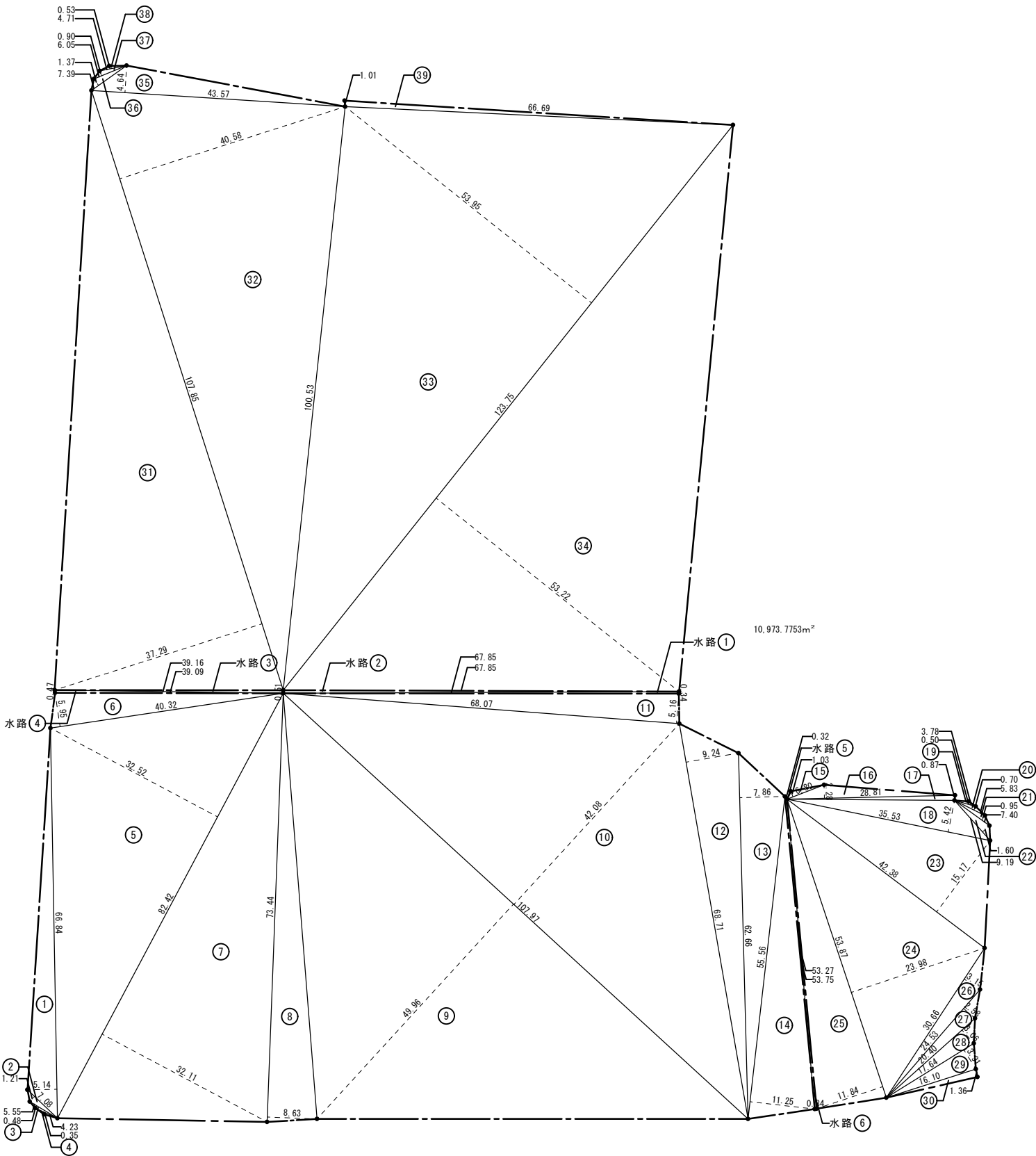
①	地階床面積	33.00×4.20	$= 138.60 \text{ m}^2$	
②	1階床面積	21.00×4.20	$= 88.20 \text{ m}^2$	
	延べ床面積	$138.60 + 88.20$	$= 226.80 \text{ m}^2$	
③	建築面積 参入部分	$(33.00 + 0.20) \times 0.20$	$= 6.64 \text{ m}^2$	合計 150.40 m ²
④	参入部分	0.20×0.20	$= 0.04 \text{ m}^2$	
⑤	参入部分	$(21.00 + 0.20) \times 0.20$	$= 4.24 \text{ m}^2$	
⑥	参入部分	$0.20 \times (4.20 + 0.20)$	$= 0.88 \text{ m}^2$	
⑦	参入部分	33.00×4.20	$= 138.60 \text{ m}^2$	

$$\text{平均地盤面} = \frac{33.00 \times 9.95 + 4.20 \times 2 \times 9.95 + 33.00 \times 12.50}{33.00 \times 2 + 4.20 \times 2} = \frac{824.43}{74.40} = 11.08$$

摘要		T I M E				作成者	工事名称 一宮中学校部室棟改築工事（建築主体）	縮尺 1/200
						承認	図面名称 床面積求積図・平均地盤面算定図	図番 A-08



摘要		T I M E				作成者	工事名称 一宮中学校部室棟改築工事（建築主体）	縮尺
							図面名称 案内図	図番 A－09
						承認		



敷 地 求 積 図					
記号	底辺 (m)	×	高さ (m)	=	倍面積 (㎡)
①	66.84	×	5.14	=	343.5576
②	7.08	×	1.21	=	8.5668
③	5.55	×	0.48	=	2.6640
④	4.23	×	0.35	=	1.4805
⑤	82.42	×	32.52	=	2,680.2984
⑥	40.32	×	5.95	=	239.9040
⑦	82.42	×	32.11	=	2,646.5062
⑧	73.44	×	8.63	=	633.7872
⑨	107.97	×	49.96	=	5,394.1812
⑩	107.97	×	42.08	=	4,543.3776
⑪	68.07	×	5.16	=	351.2412
⑫	68.71	×	9.24	=	634.8804
⑬	62.66	×	7.86	=	492.5076
⑭	55.56	×	11.25	=	625.0500
合計					= 18,598.0027
1/2					= 9,299.0013
地積					= 9,299.00㎡

敷 地 求 積 図					
記号	底辺 (m)	×	高さ (m)	=	倍面積 (㎡)
⑮	6.80	×	1.03	=	7.0040
⑯	28.81	×	2.29	=	65.9749
⑰	28.81	×	0.87	=	25.0647
⑱	35.53	×	5.42	=	192.5726
⑲	3.78	×	0.50	=	1.8900
⑳	5.83	×	0.70	=	4.0810
㉑	7.40	×	0.95	=	7.0300
㉒	9.19	×	1.60	=	14.7040
㉓	42.38	×	15.17	=	642.9046
㉔	53.87	×	23.98	=	1,291.8026
㉕	53.87	×	11.84	=	637.8208
㉖	30.66	×	3.15	=	96.5790
㉗	24.53	×	2.58	=	63.2874
㉘	20.40	×	3.06	=	62.4240
㉙	17.64	×	3.91	=	68.9724
㉚	16.10	×	1.36	=	21.8960
合計					= 3,204.0080
1/2					= 1,602.0040
地積					= 1,602.00㎡

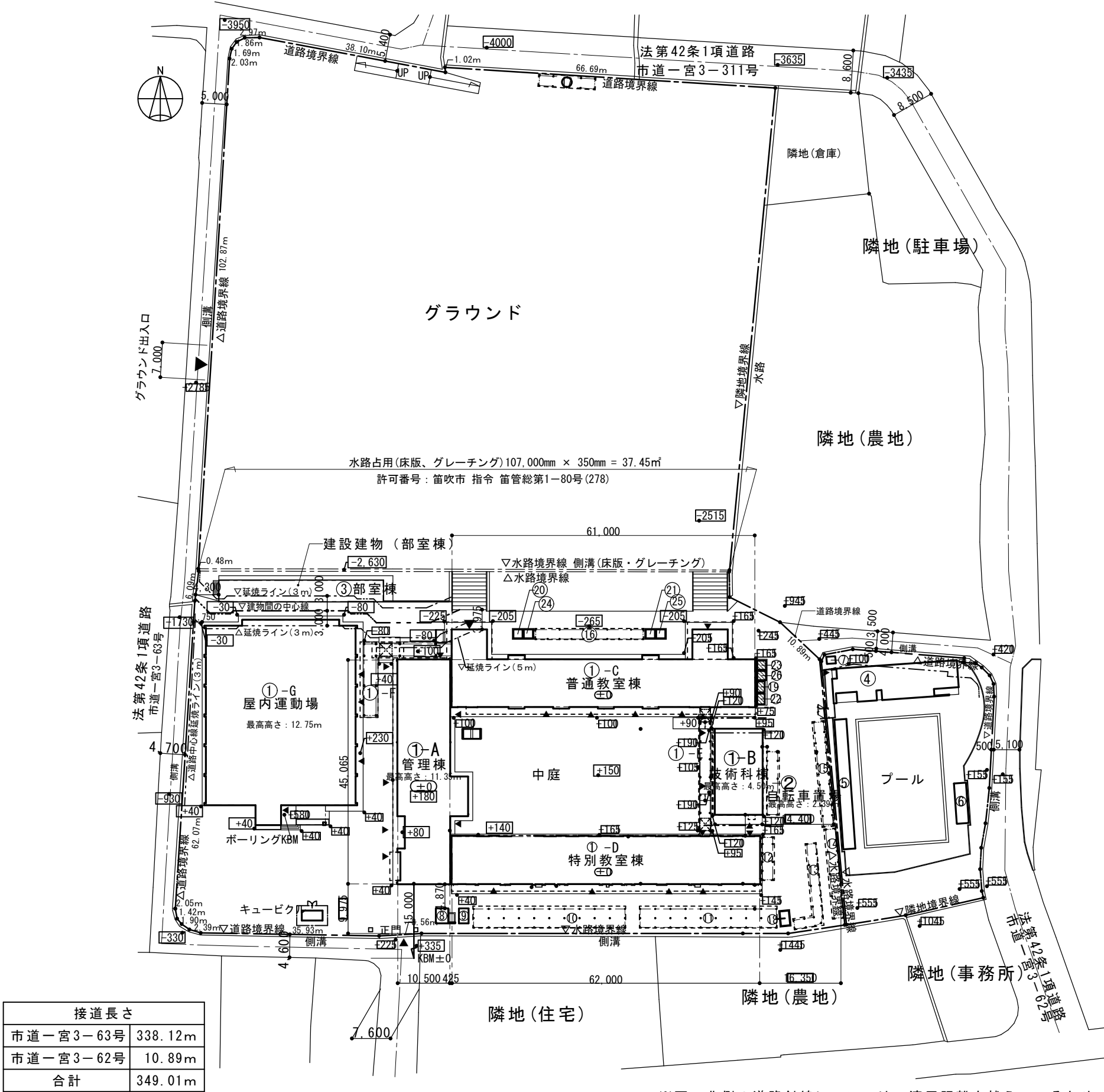
敷 地 求 積 図					
記号	底辺 (m)	×	高さ (m)	=	倍面積 (㎡)
①	107.90	×	37.59	=	4,055.9610
②	107.90	×	40.88	=	4,410.9520
③	123.80	×	54.11	=	6,698.8180
④	123.80	×	53.39	=	6,609.6820
⑤	43.57	×	4.66	=	203.0362
⑥	7.39	×	1.37	=	10.1243
⑦	6.05	×	1.00	=	5.4450
⑧	4.71	×	0.53	=	2.4963
⑨	66.72	×	1.01	=	67.3872
合計					= 22,063.9020
1/2					= 11,031.9510
地積					= 11,031.95㎡

敷 地 求 積 図				
合計	9,299.00㎡	+	1,602.00㎡	+ 11,031.95㎡
地積	= 21,932.95㎡			

水 路 求 積 図					
記号	底辺 (m)	×	高さ (m)	=	倍面積 (㎡)
①	67.85	×	0.34	=	23.0690
②	67.85	×	0.51	=	34.6035
③	39.16	×	0.51	=	19.9716
④	39.09	×	0.47	=	18.3723
合計					= 96.0164
1/2					= 48.0082
地積					= 48.01㎡

水 路 求 積 図					
記号	底辺 (m)	×	高さ (m)	=	倍面積 (㎡)
⑤	53.75	×	0.32	=	17.2000
⑥	53.27	×	0.34	=	18.1118
合計					= 35.3118
1/2					= 17.6559
地積					= 17.66㎡

摘要		T I M E				作成者	工事名称 一宮中学校部室棟改築工事（建築主体）	縮尺 1/900
						承認	図面名称 敷地面積求積図	図番 A-10



※西、北側の道路斜線については、適用距離を越えているため、検証対象外

単位 (m2) 単位 (m)				
敷 地 内 建 築 物 面 積 表				
	建築面積	床面積	延床面積	最高高さ
申請面積合計 (㎡)	150.40	226.80	226.80	4.53
既存面積合計 (㎡)				
敷地内面積合計 (㎡)	4191.50	7103.3	6676.52	

					単位 (m2)	単位 (m)	
既 存 建 物 面 積 表							
記号	建物名	構造	階数	建築面積	床面積	延床面積	最高高さ
1-A	管理棟	R C 造	3 階	506.80	1,156.87	1,156.87	11.35
1-B	技術科棟	S 造	平屋	163.40	163.40	163.40	4.50
2	自転車置場	S 造	平屋	26.46	26.46	0.00	2.39

記号	建物名	構造	階数	建築面積	床面積	延床面積	最高高さ
1-C	普通教室棟	R C 造	3 階	704.88	1,823.00	1,823.00	13.55
1-D	特別教室棟	R C 造	3 階	619.00	1,893.14	1,893.14	14.54
1-E	渡り廊下・1	S 造	平屋	52.26	0.00	0.00	3.62
1-F	渡り廊下・2	S 造	平屋	40.08	0.00	0.00	3.92
1-G	屋内運動場	S 造	平屋	1,220.00	1,123.52	1,123.52	12.75

3	部室棟 除却						
4	プール管理棟	R C 造	平屋	171.36	153.26	153.26	5.96
5	プールサイドシェルタ・1	軽量S 造	平屋	63.52	63.52	63.52	2.36
6	プールサイドシェルタ・2	軽量S 造	平屋	19.78	19.78	19.78	2.36
7	プールLPG庫	軽量S 造	平屋	2.34	2.34	2.34	2.20
8	ポイラー庫	B 造	平屋	7.50	7.50	7.50	3.50
9	L P G 庫	B 造	平屋	5.85	5.85	5.85	3.50

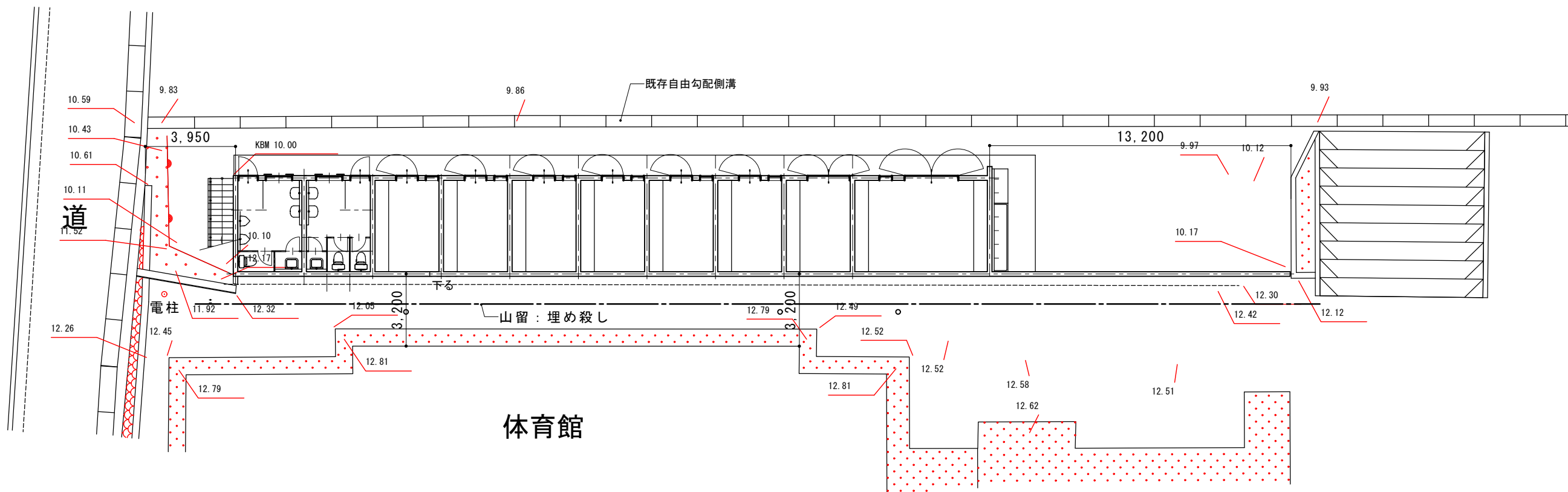
10	自転車置場・1	軽量S 造	平屋	112.85	112.85	5.83	2.56
11	自転車置場・2	軽量S 造	平屋	101.56	101.56	0.00	2.56
12	自転車置場・3	軽量S 造	平屋	17.68	17.68	0.00	2.39
13	自転車置場・4	軽量S 造	平屋	35.64	35.64	0.00	2.45
14	自転車置場・5	軽量S 造	平屋	34.04	34.04	0.00	2.26
15	自転車置場・6	軽量S 造	平屋	40.95	40.95	0.00	2.20
16	自転車置場・7	軽量S 造	平屋	41.04	41.04	0.00	2.33
17	自転車置場・8	軽量S 造	平屋	22.40	22.40	0.00	1.90

18	物置・1	軽量S 造	平屋	5.45	5.45	5.45	2.15
19	物置・2	軽量S 造	平屋	3.30	3.30	3.30	2.20
20	物置・3	S 造	平屋	3.29	3.29	3.29	2.40
21	物置・4	S 造	平屋	3.29	3.29	3.29	2.40
22	物置・5	S 造	平屋	3.22	3.22	3.22	2.20
23	物置・6	軽量S 造	平屋	3.29	3.29	3.29	2.40
24	物置・7	軽量S 造	平屋	3.29	3.29	3.29	2.40
25	物置・8	軽量S 造	平屋	3.29	3.29	3.29	2.40
26	物置・9	軽量S 造	平屋	3.29	3.29	3.29	2.40

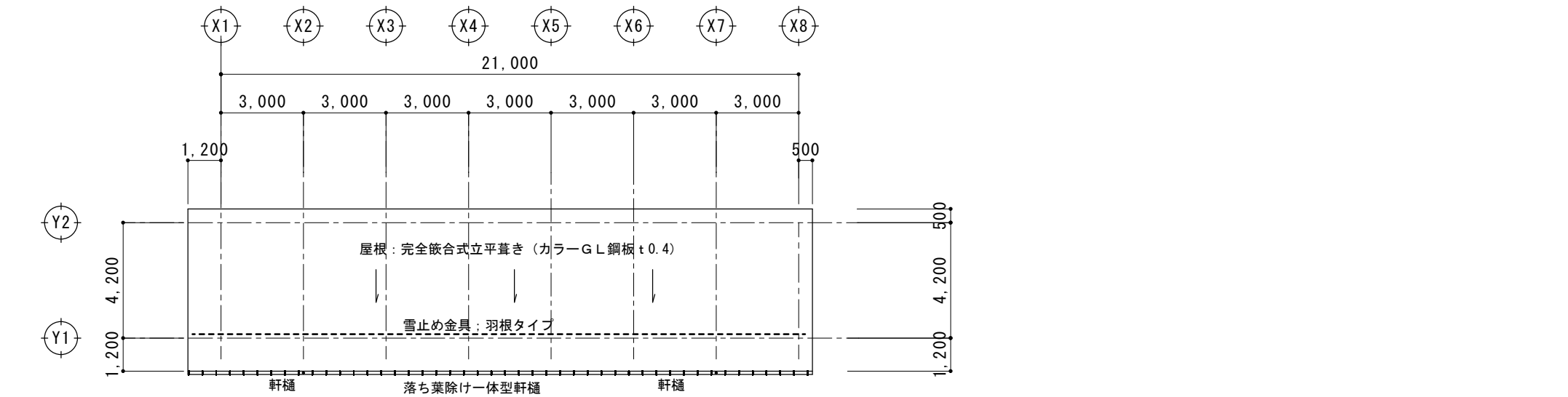
既存面積合計 (㎡)		4041.10	6,876.51	6,449.72	
------------	--	---------	----------	----------	--

				単位 (m2)	単位 (m)		
除 却 建 築 物 面 積 表							
記号	建物名	構造	階数	建築面積	床面積	延床面積	最高高さ
3	部室棟	R C造	平屋	182.24	182.24	182.24	3.00
除却建物面積合計 (㎡)				182.24	182.24	182.24	3.00

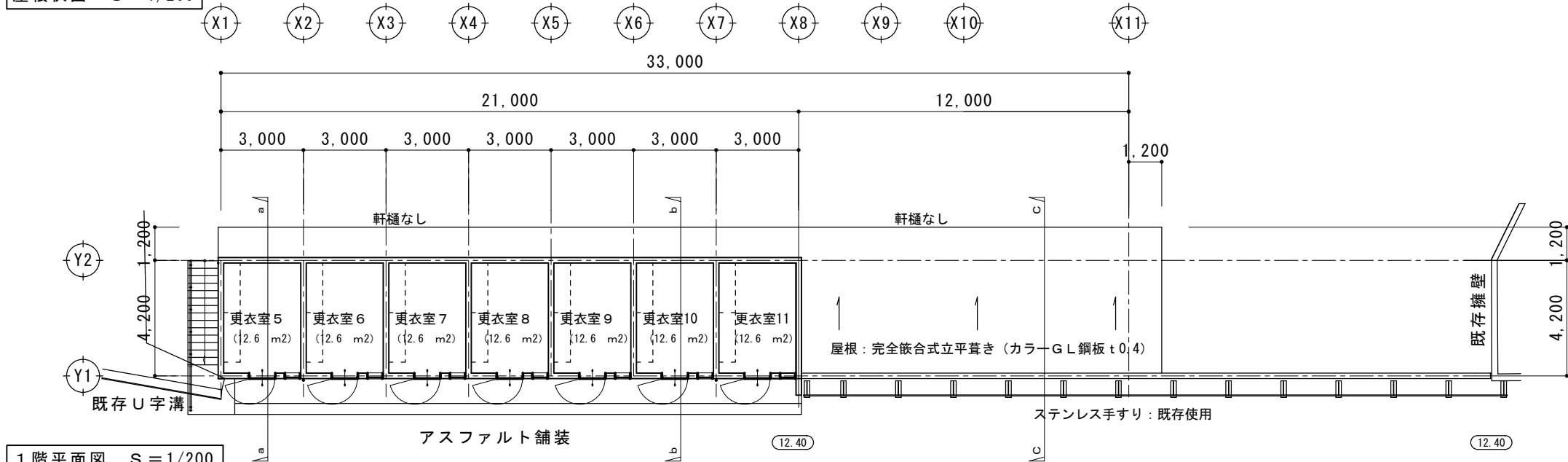
摘要		T I M E			作成者	工事名称 一宮中学校部室棟改築工事（建築主体）	縮尺 1/900
					承認		



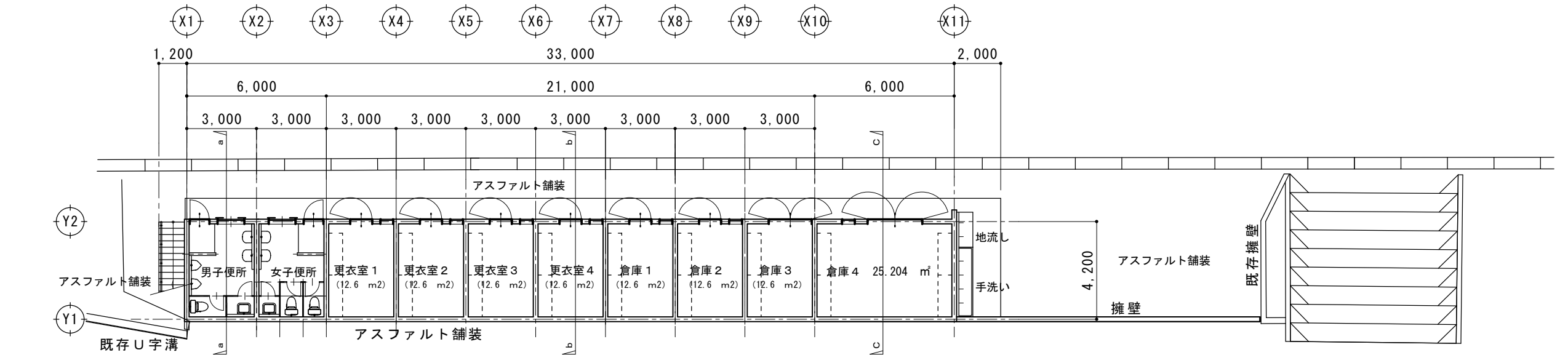
摘要		T I M E					作成者	工事名称 一宮中学校部室棟改築工事（建築主体）	縮尺 1/200
							承認		



屋根伏図 S = 1/200

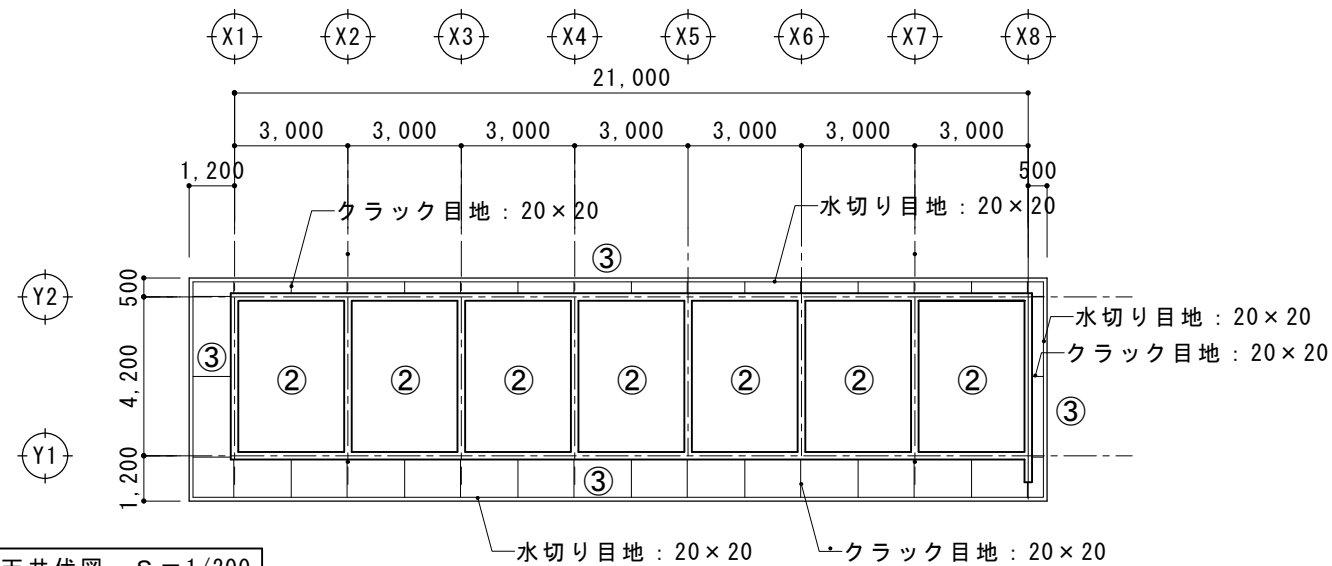
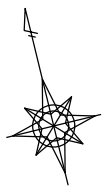


1階平面図 S = 1/200

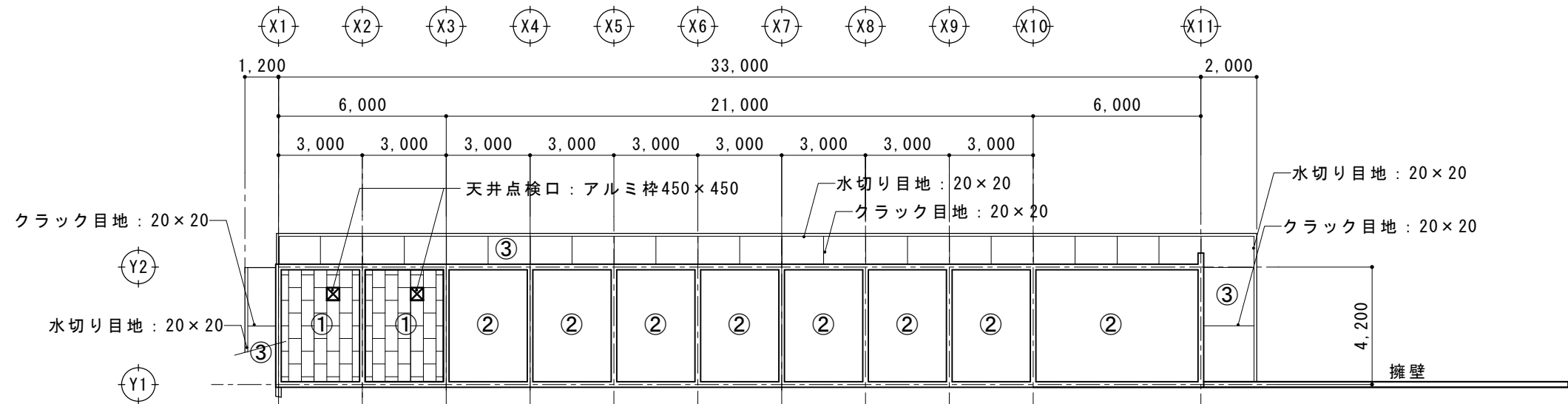


地階平面図 S = 1/200

摘要		T I M E			作成者	工事名称 一宮中学校部室棟改築工事 (建築主体)	縮尺 1/200
					承認	図面名称 平面図・屋根伏図	図番 A - 13



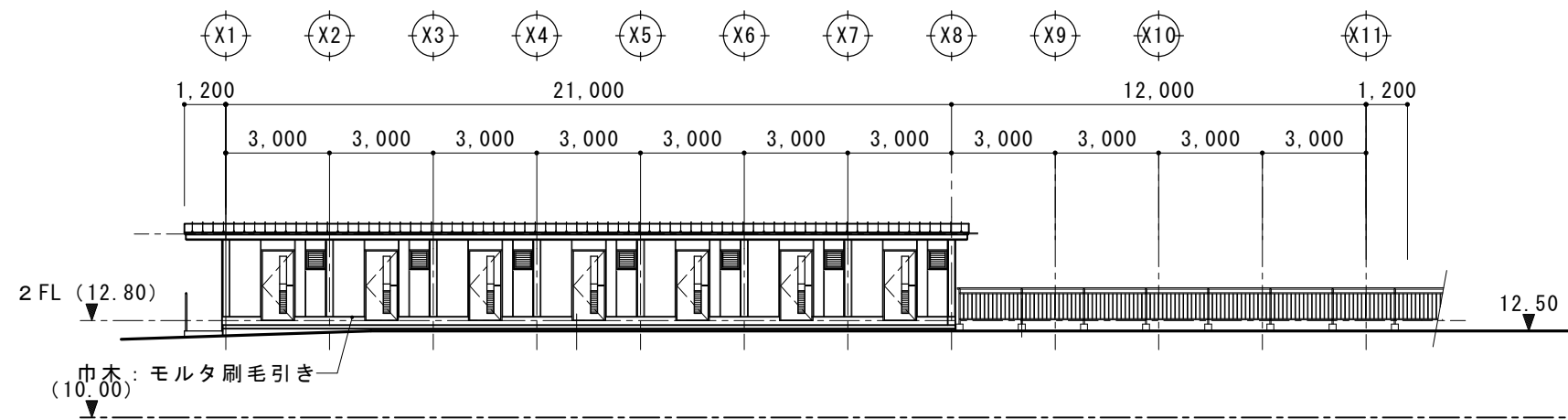
1階天井伏図 S = 1/200



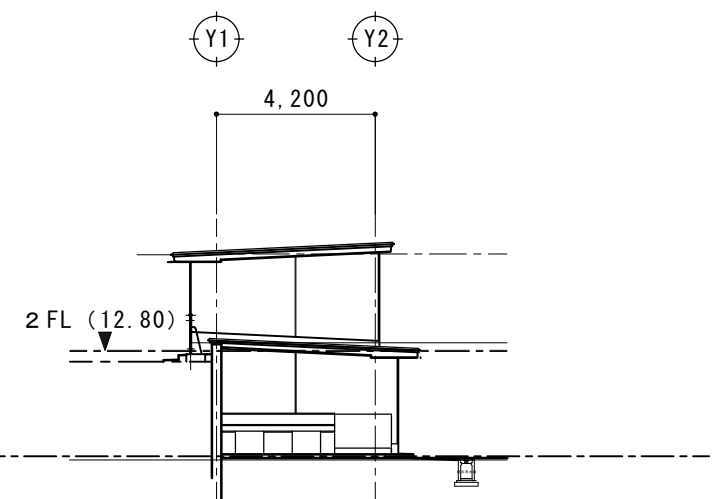
地階天井伏図 S = 1/200

①	軽鉄天井下地
	化粧石膏ボード張り : 910×455×9.5 塩ビ見切縁
②	コンクリート打ち放しのまま (打ち放し用合板)
③	コンクリート打ち放し・防水型複層塗材 E

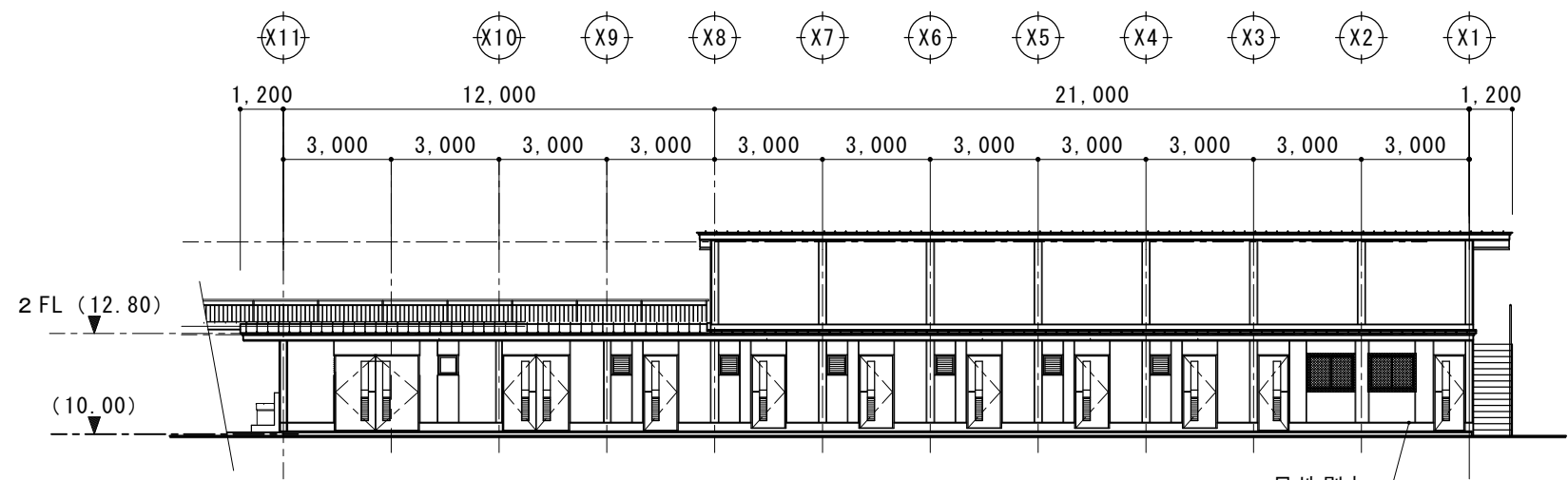
摘要		T I M E			作成者	工事名称 一宮中学校部室棟改築工事 (建築主体)	縮尺 1/200
					承認	図面名称 天井伏図	図番 A-14



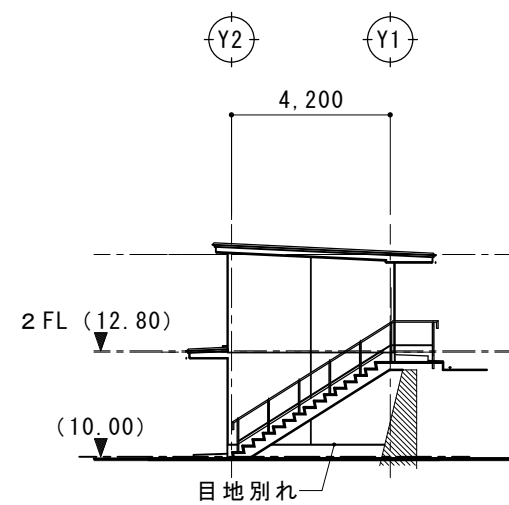
南 面



東 面



北 面

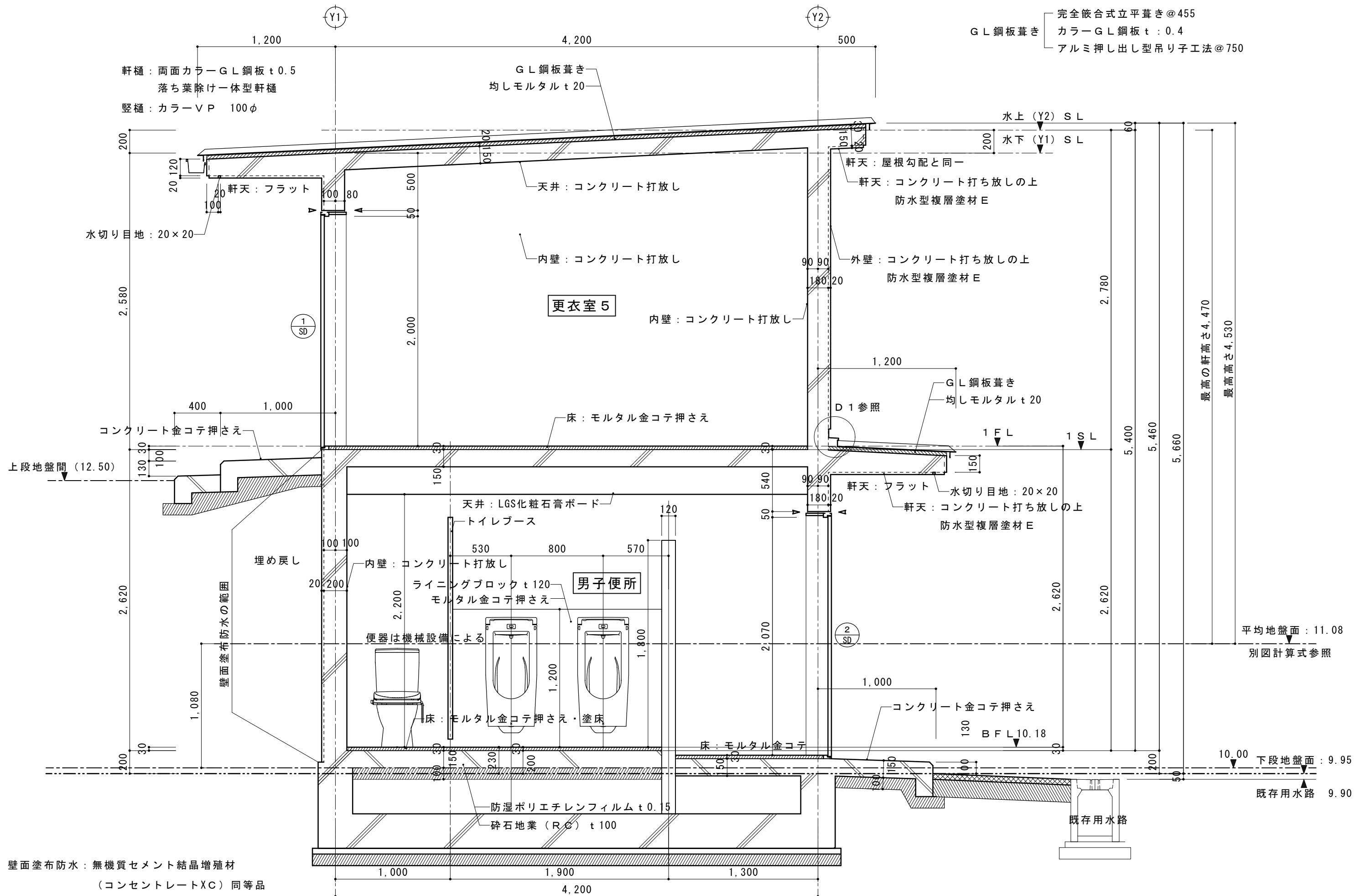


西 面

摘要		T I M E			作成者	工事名称 一宮中学校部室棟改築工事（建築主体）	縮尺 1/200	
						図面名称 立面図	図番 A-15	

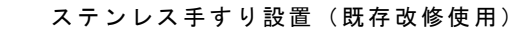


摘要		T I M E	作成者	工事名称 一宮中学校部室棟改築工事（建築主体）	縮尺 1/200
			承認	図面名称 断面図	図番 A - 16



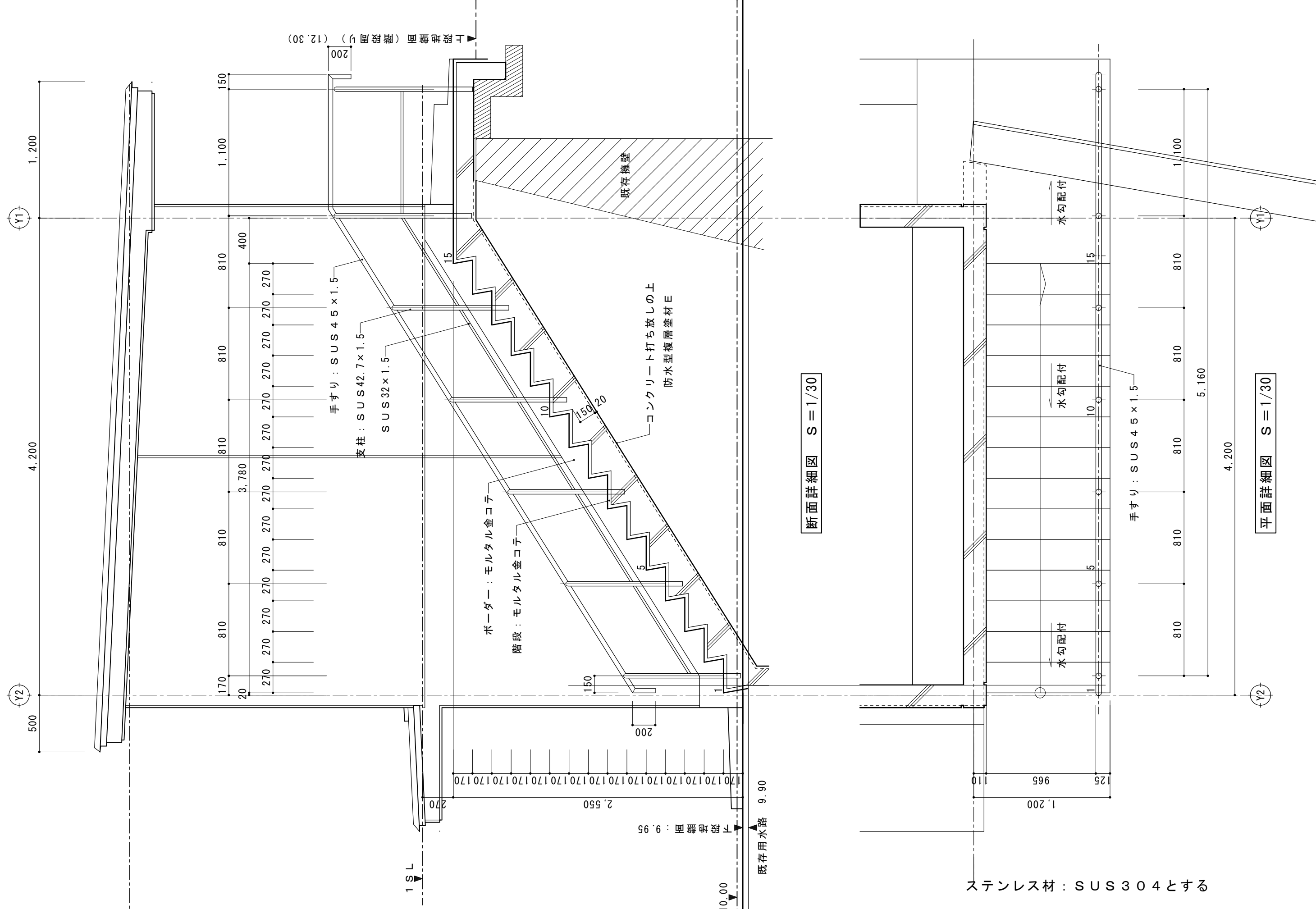
摘要		T I M E			作成者	工事名称 一宮中学校部室棟改築工事 (建築主体)	縮尺 1/ 30
					承認	図面名称 矩計図 2 (a - a)	図番 A - 18

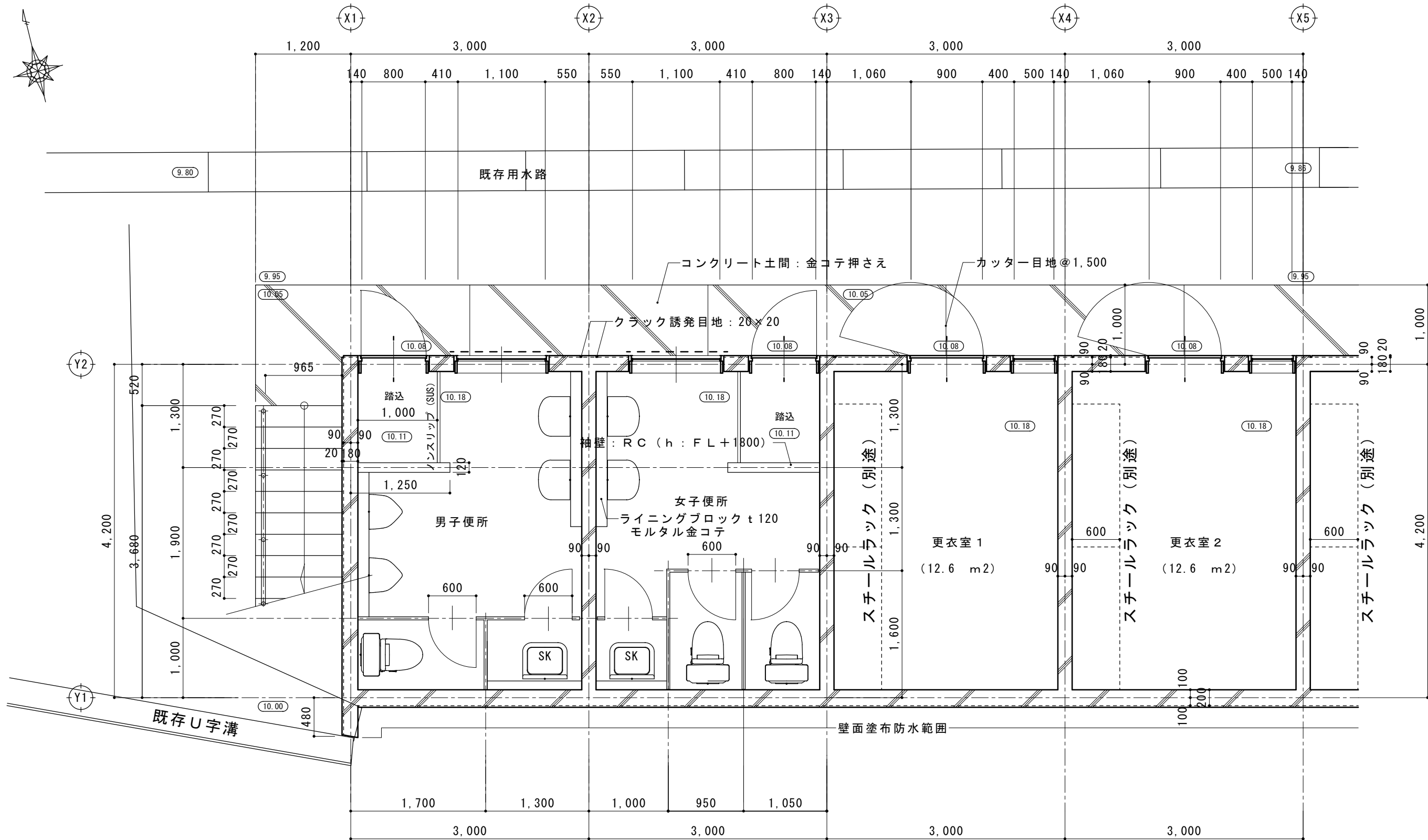
G L 鋼板葺き



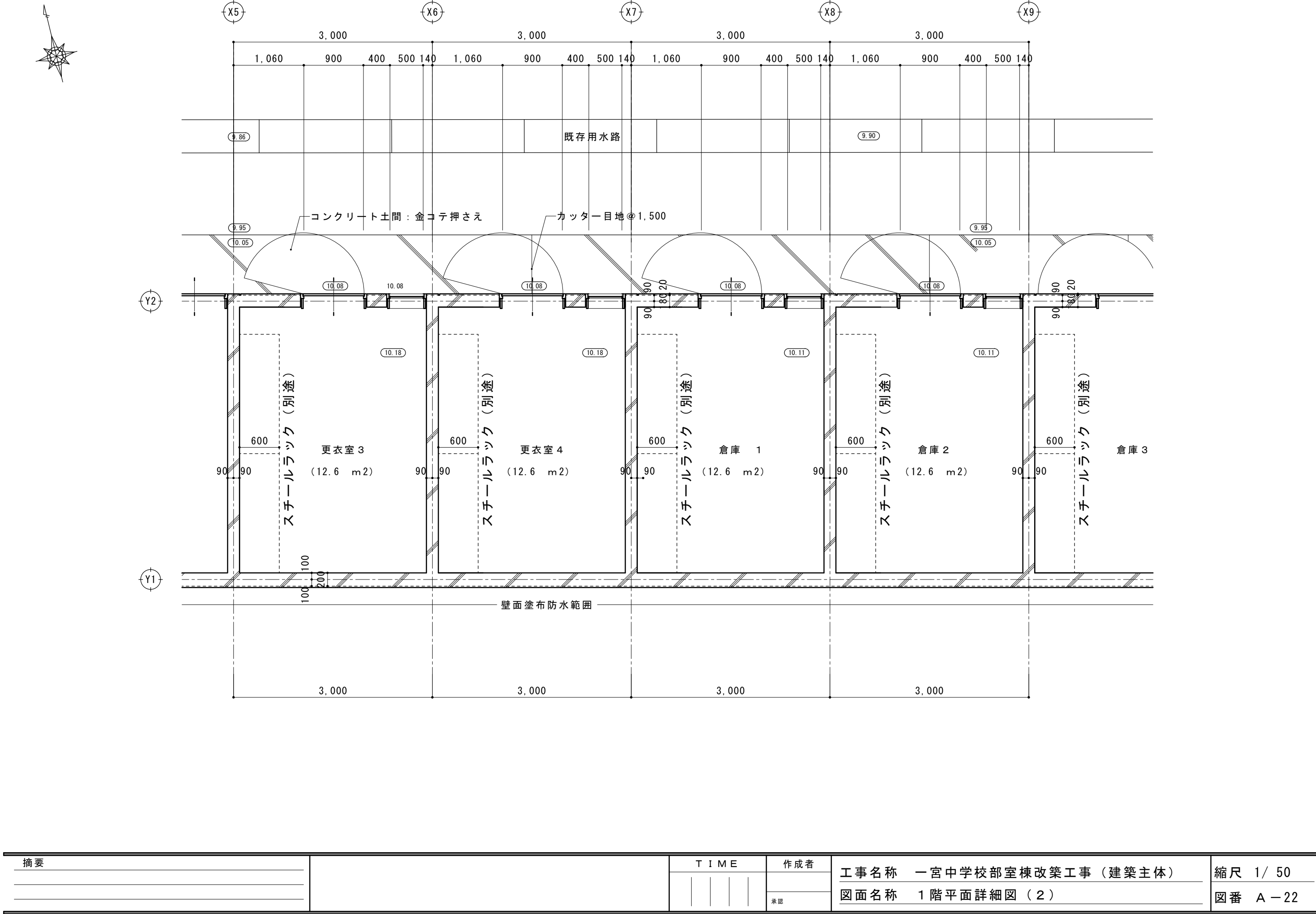
摘要		T I M E		作成者	工事名称 一宮中学校部室棟改築工事（建築主体）	縮尺 1/ 30
		承認			図面名称 矩計図 3（c-c）	図番 A-19

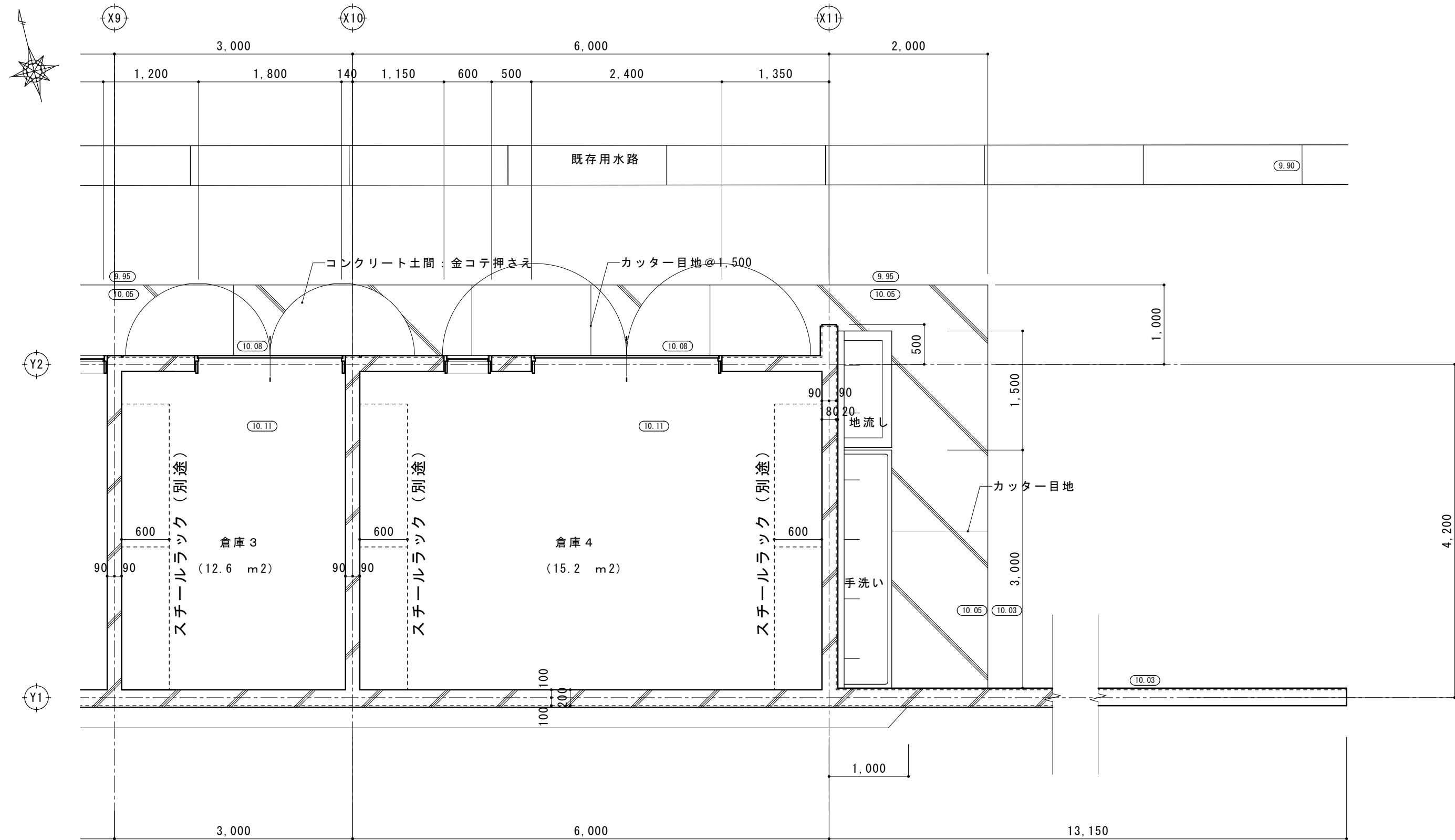
摘要			T I M E	作成者	工事名称 一宮中学校部室棟改築工事（建築主体）	縮尺 1/ 30
					図面名称 階段詳細図	図番 A - 20
				承認		



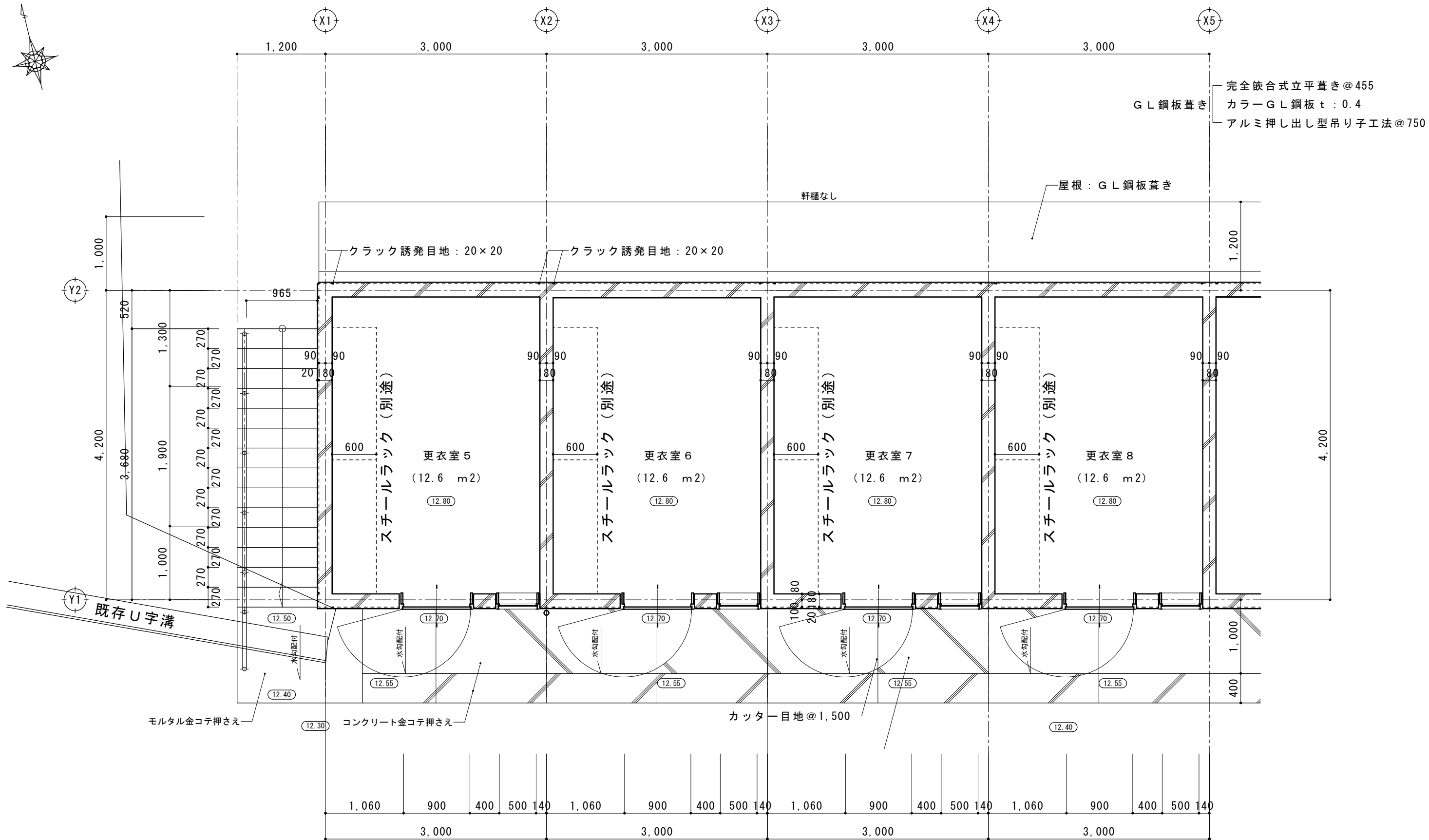


摘 要		T I M E				作 成 者	工事名称 一宮中学校部室棟改築工事（建築主体）	縮尺 1/ 50
						承認	図面名称 1 階平面詳細図（ 1 ）	図番 A - 21

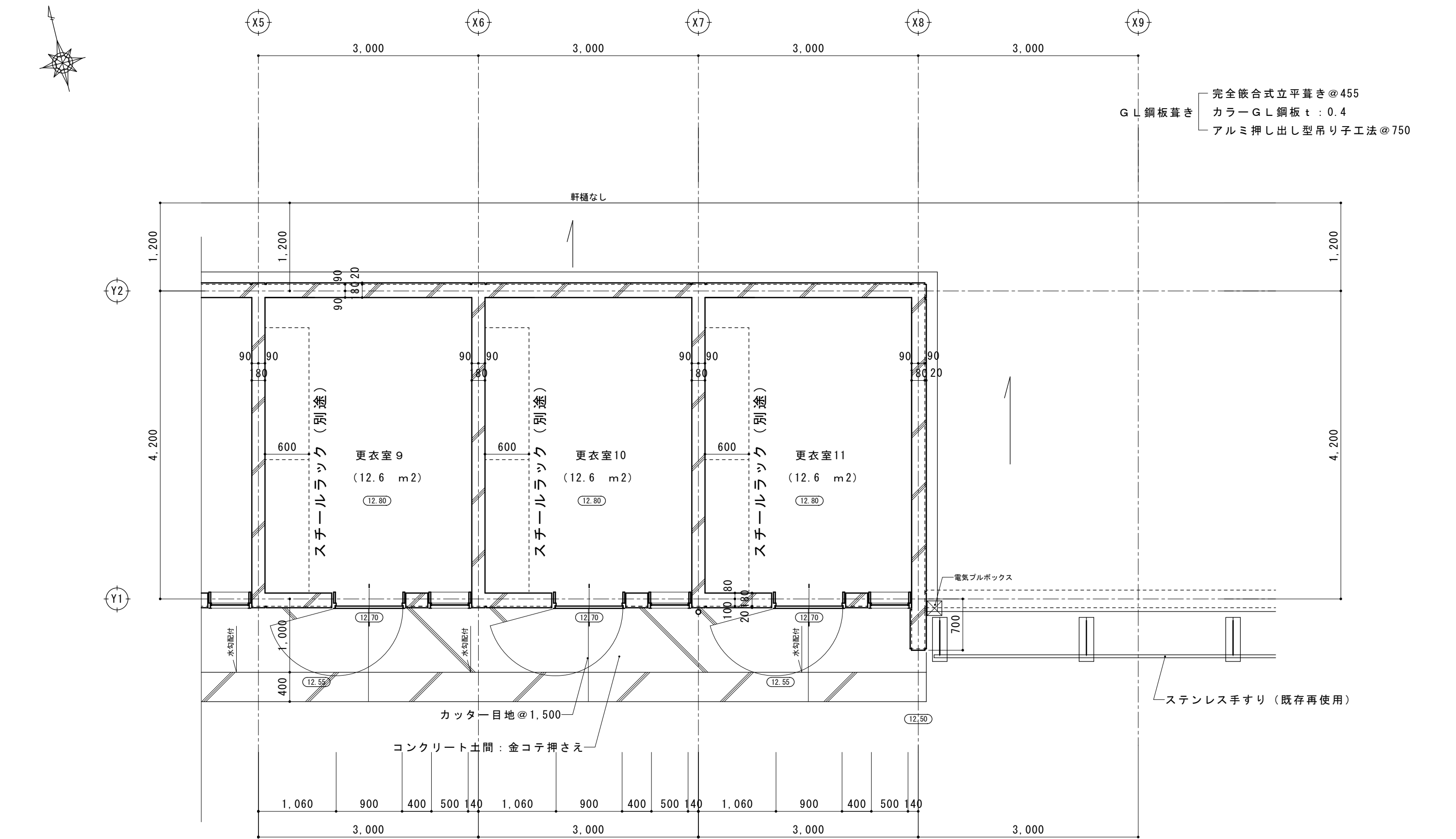




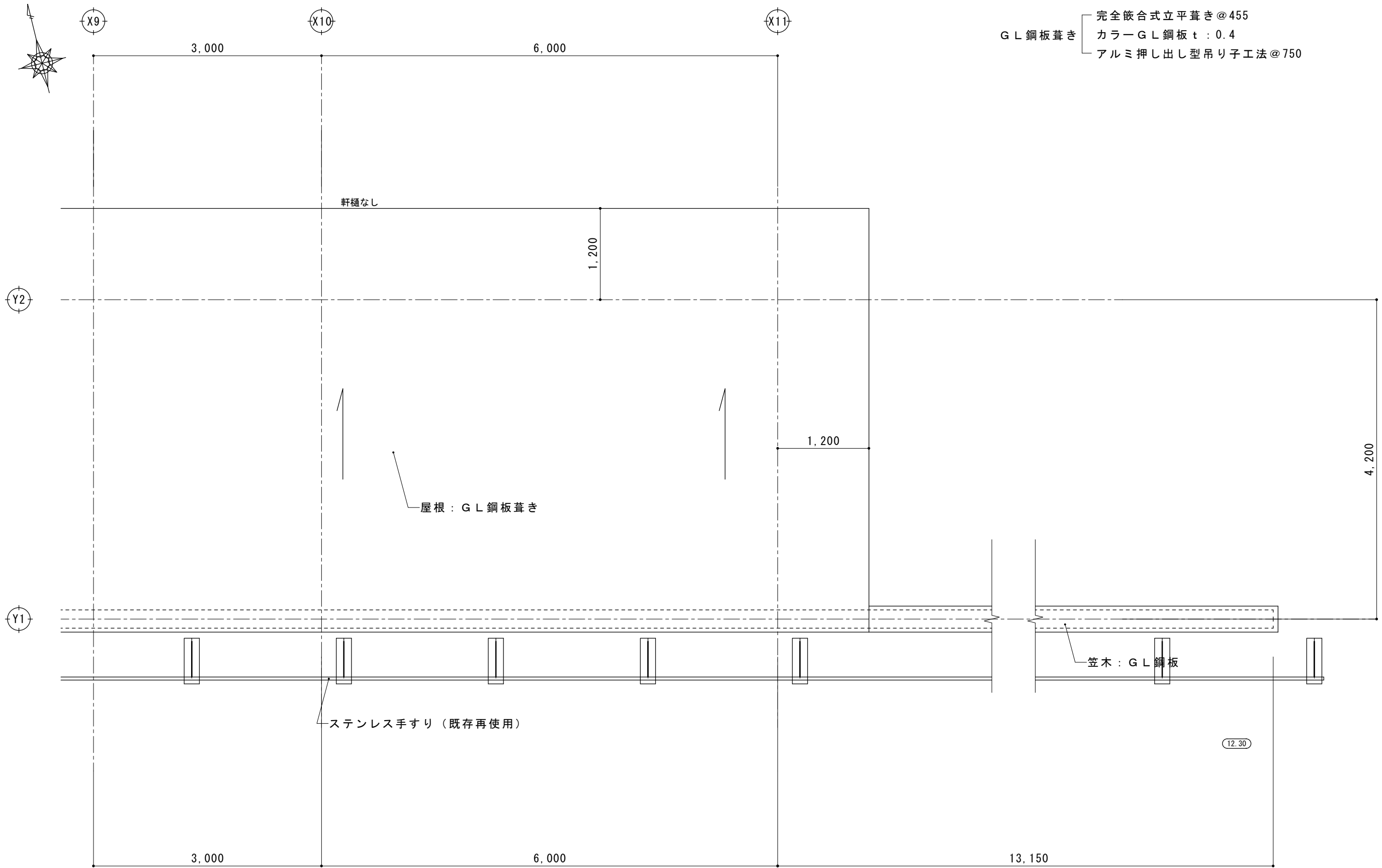
摘要		T I M E			作成者	工事名称	一宮中学校部室棟改築工事（建築主体）	縮尺	1/ 50
						図面名称	1 階平面詳細図（3）	図番	A - 23
					承認				



摘要		T I M E		作成者	工事名称 一宮中学校部室棟改築工事（建築主体）	縮尺 1/ 50
				承認	図面名称 2階平面詳細図（4）	図番 A-24

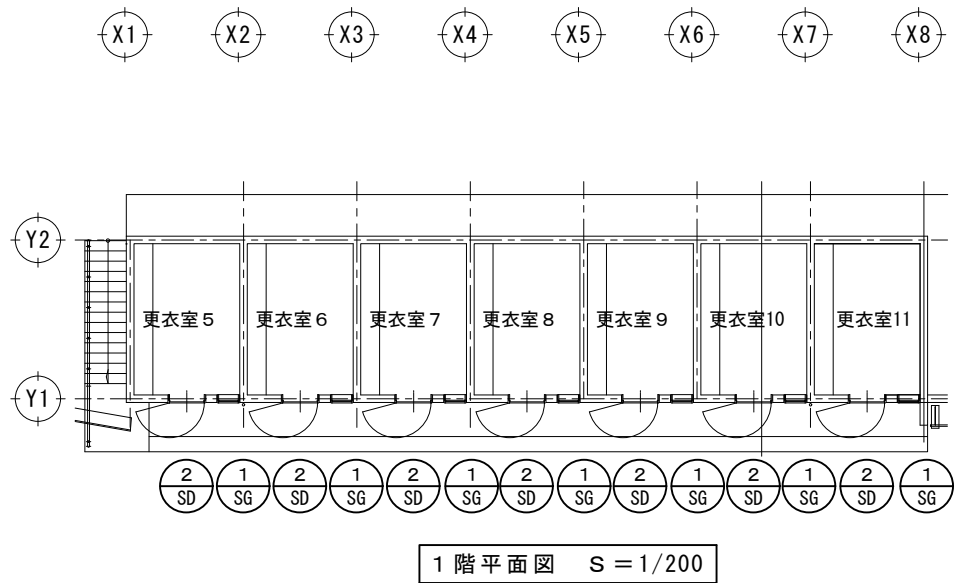
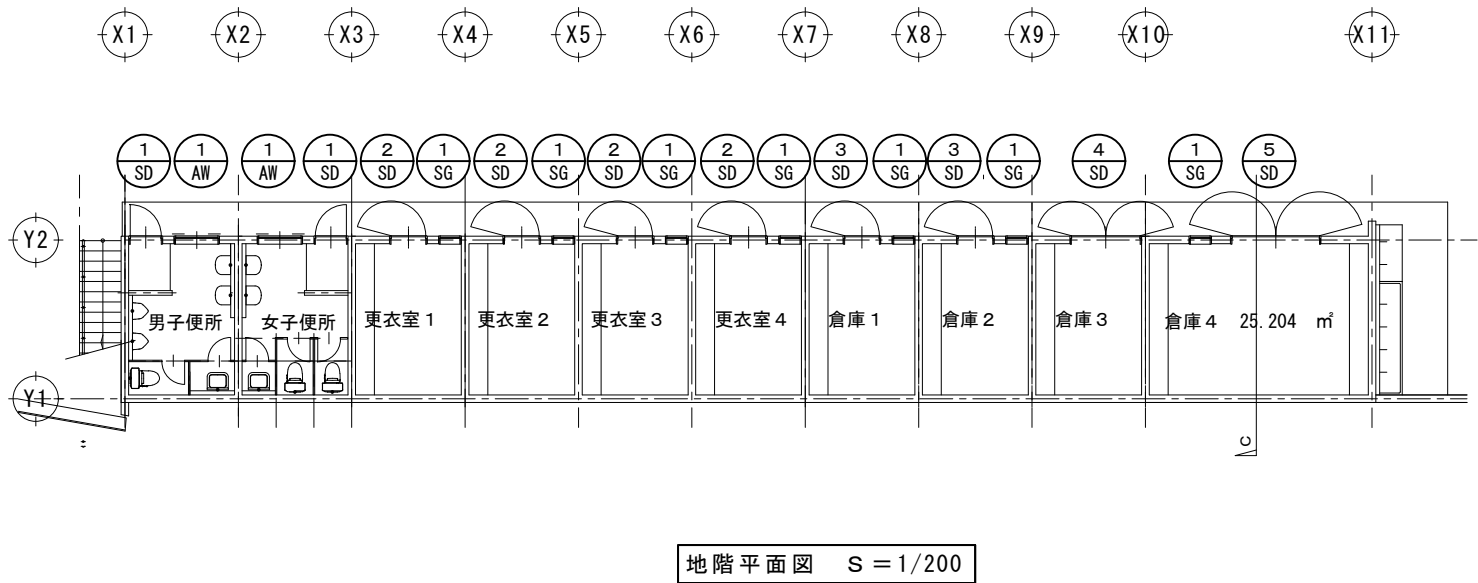


摘要		T I M E			作成者	工事名称 一宮中学校部室棟改築工事 (建築主体)	縮尺 1/ 50
					承認	図面名称 2階平面詳細図 (5)	図番 A - 25

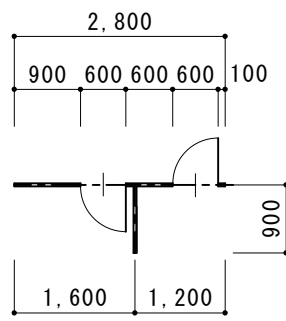
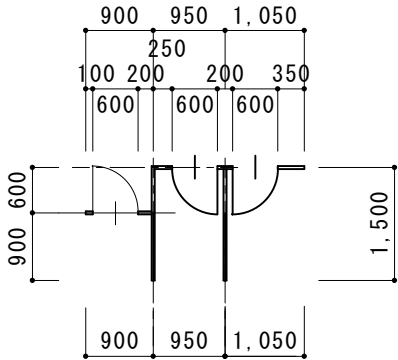


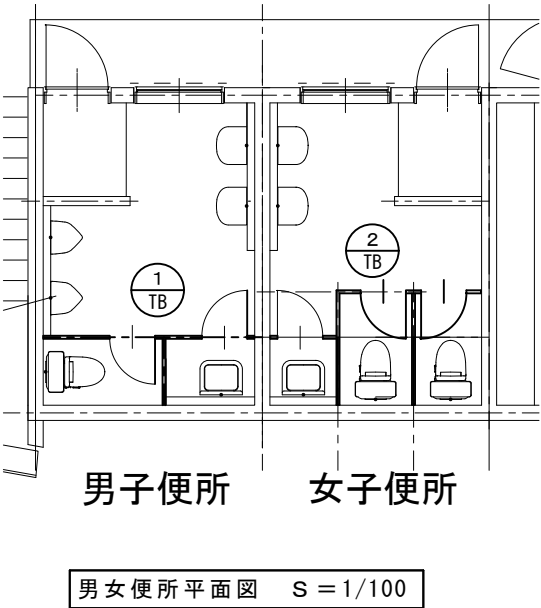
摘要		T I M E			作成者	工事名称 一宮中学校部室棟改築工事（建築主体）	縮尺 1/ 50
					承認	図面名称 2階平面詳細図（6）	図番 A－26

姿 図							
記 号 数	S D - 1 2 箇 所	S D - 2 11 箇 所	S D - 3 2 箇 所	S D - 4 1 箇 所	S D - 5 1 箇 所	S G - 1 14 箇 所	A W - 1 2 箇 所
形式	片開きドアドア					固定ガラリ	
材料・仕上	スチール製（フラッシュ） D P 塗装					スチール製 D P 塗装	アルミ製（R C 用枠） つらいち修まり
ガラス	型 強化 t 4						型 強化 t 4
枠見込	220					220	70
建具見込	36						
防火設備の別	――					――	――
金物他	靴ずり：S U S 山形ガラリ（スチール） ピボットヒンジ D C レバーハンドル シリンダー錠 室名表記：カッティングシート張り 附属品一式					山形ガラリ（スチール）	クレセント 水切り皿板 4 方向アルミ額縁 4 方向アルミ額縁：見込150 付属品一式
備考	ドア開き角度100度程度		ドア開き角度170度程度				スチール製防球窓枠フェンス
	建具内外シーリング スチールドア室名文字（1～11）11文字分H200 （倉庫1～倉庫4）4室分 H100：カッティングシート張り					建具内外シーリング	建具内外シーリング

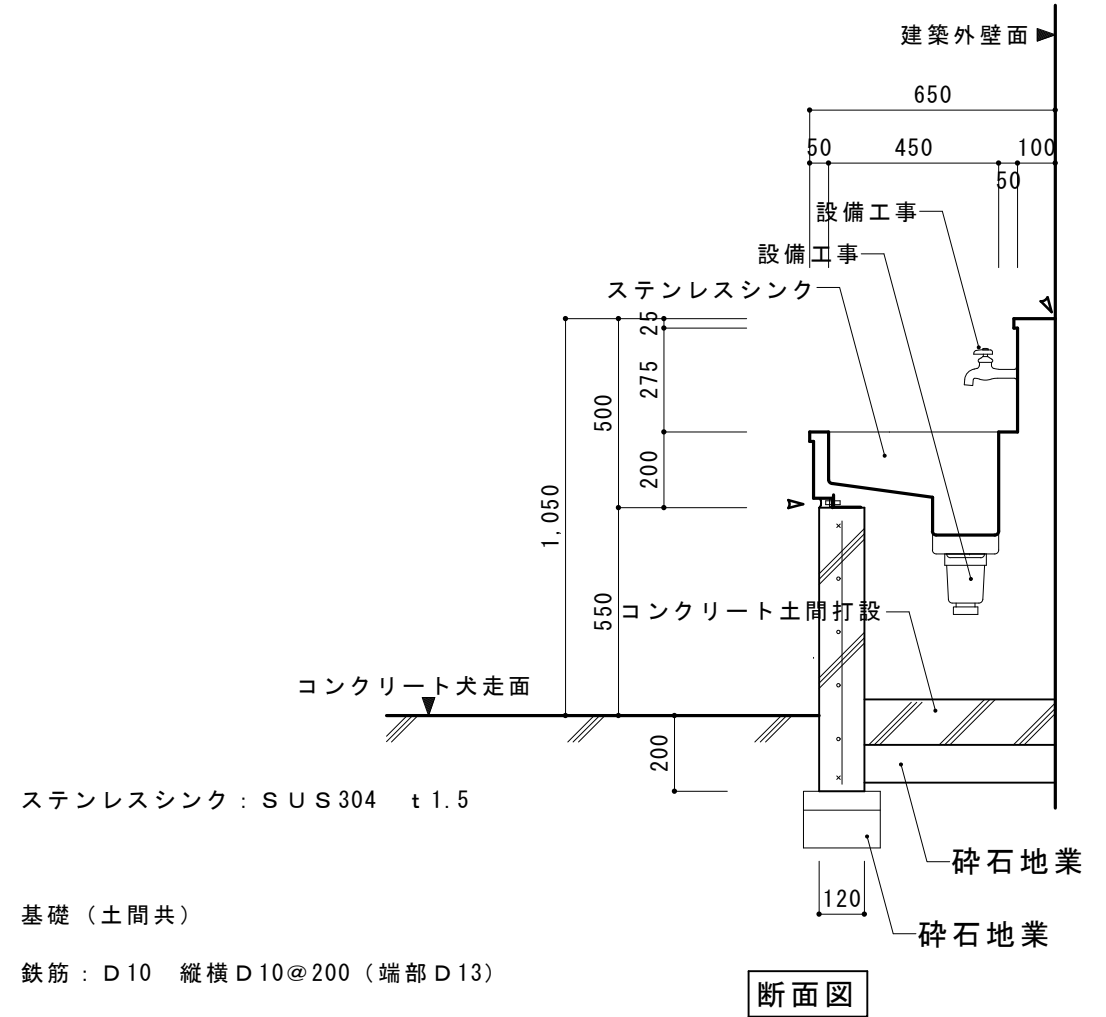
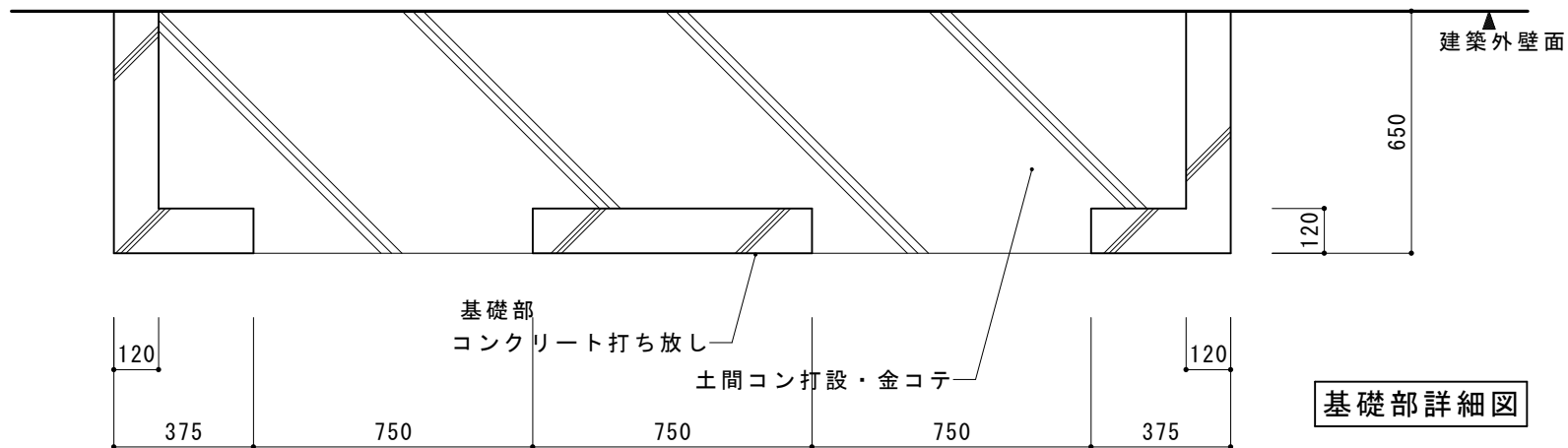
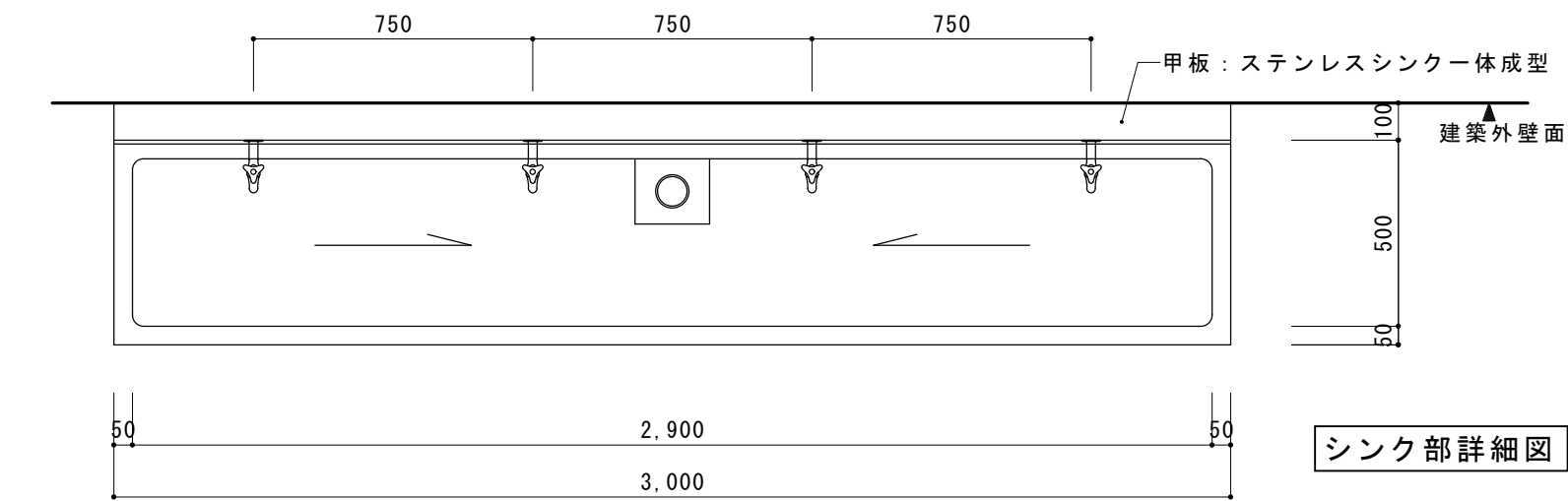


摘 要		T I M E		作 成 者	工 事 名 称 一 宮 中 学 校 部 室 棟 改 築 工 事 （ 建 築 主 体 ） 図 面 名 称 建 具 表 1	縮 尺 1/100 図 番 A - 27
				承認		

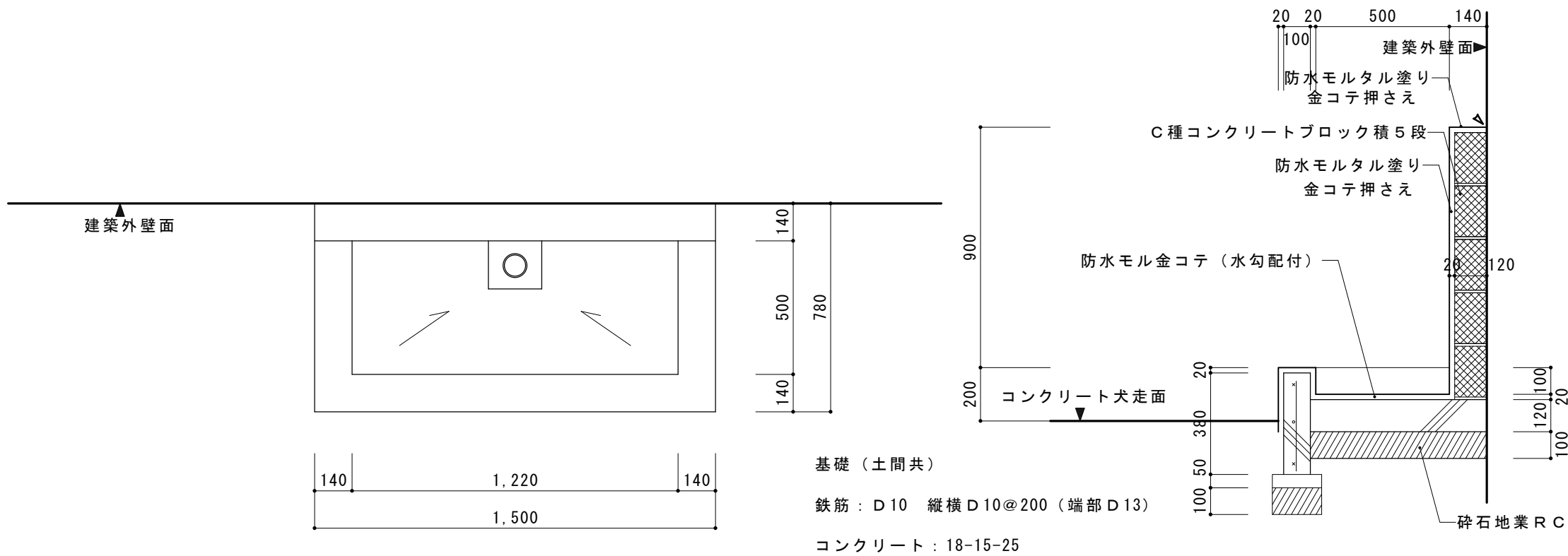
姿図	 <p>H : 1,900</p>	 <p>H : 1,900</p>
記号 数	T B - 1 1 箇所	T B - 2 1 箇所
形式	トイレブース	
材料・仕上	表面材：メラミン化粧合板 芯材：ペーパーハニカムコア	
建具見込	40	
金物他	グラビティーヒンジ アルミ型材エッジ・笠木 ステンレス巾木 帽子掛け 付属品一式	
備考		



摘要		T I M E			作成者	工事名称 一宮中学校部室棟改築工事（建築主体）	縮尺 1/100	
								承認



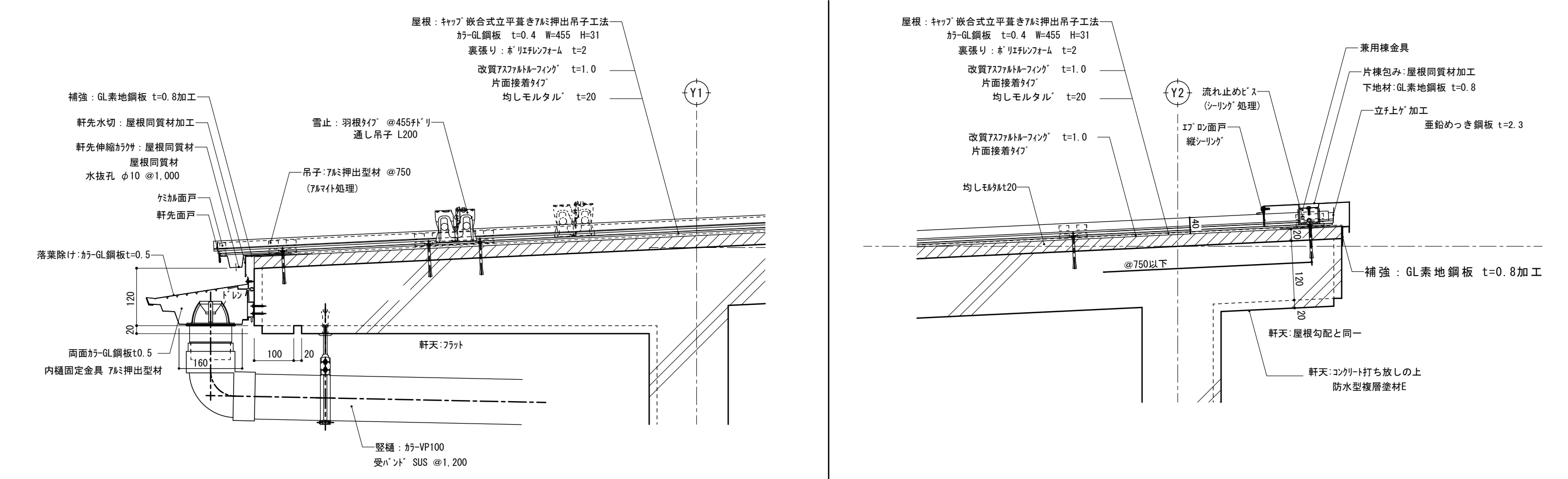
手洗い流し 詳細図 S=1/20



基礎（土間共）
鉄筋：D10 縦横D10@200（端部D13）
コンクリート：18-15-25

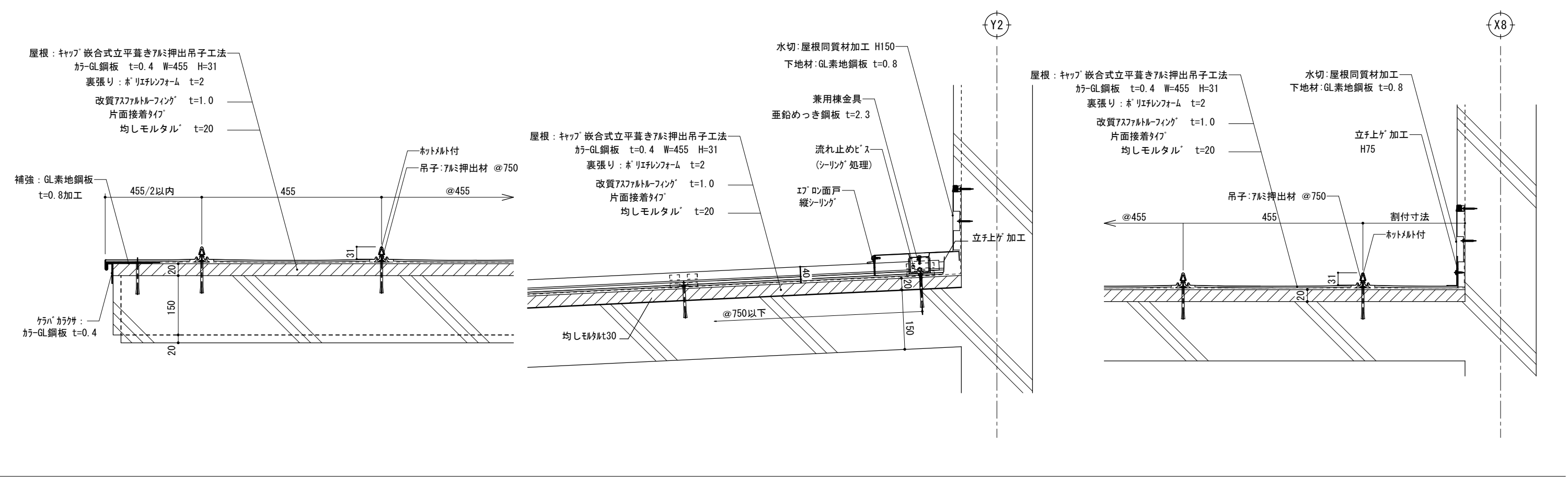
足洗い流し 詳細図 S=1/20

摘要		T I M E			作成者	工事名称 一宮中学校部室棟改築工事（建築主体）	縮尺 1/ 20
					承認	図面名称 部分詳細図 1（手洗い流し・足洗い流し）	図番 A-29



屋根 軒先部分 詳細図

屋根 片棟部分 詳細図

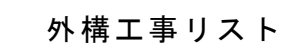


屋根 ケラバ部分 詳細図

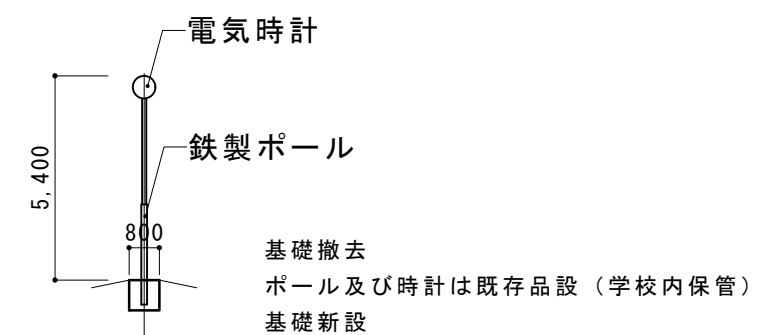
下屋根 水上 外壁取合い部分 詳細図

下屋根 流れ側 外壁取合い部分 詳細図

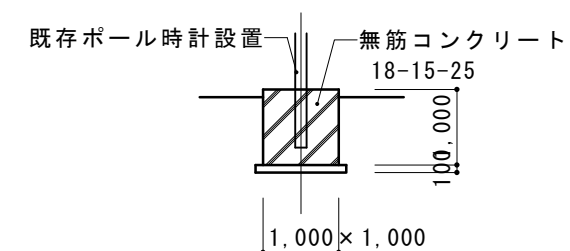
摘要		T I M E			作成者	工事名称 一宮中学校部室棟改築工事（建築主体） 図面名称 部分詳細図 2（屋根）	縮尺 1/ 10
							図番 A - 30
					承認		



①	アスファルト舗装 A-3-15（密粒度アスコン・路盤材：再生材）	344m ²
②	ステンレス手すり設置（手すりは既存品加工の上使用 基礎は新設）	25.5m
③	既存ポール時計（解体工事により保管されているもの）使用	1 箇所
	基礎：新設	



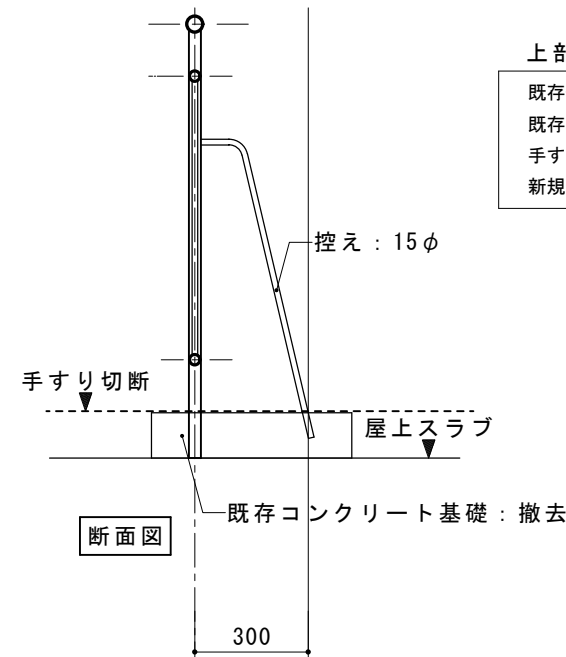
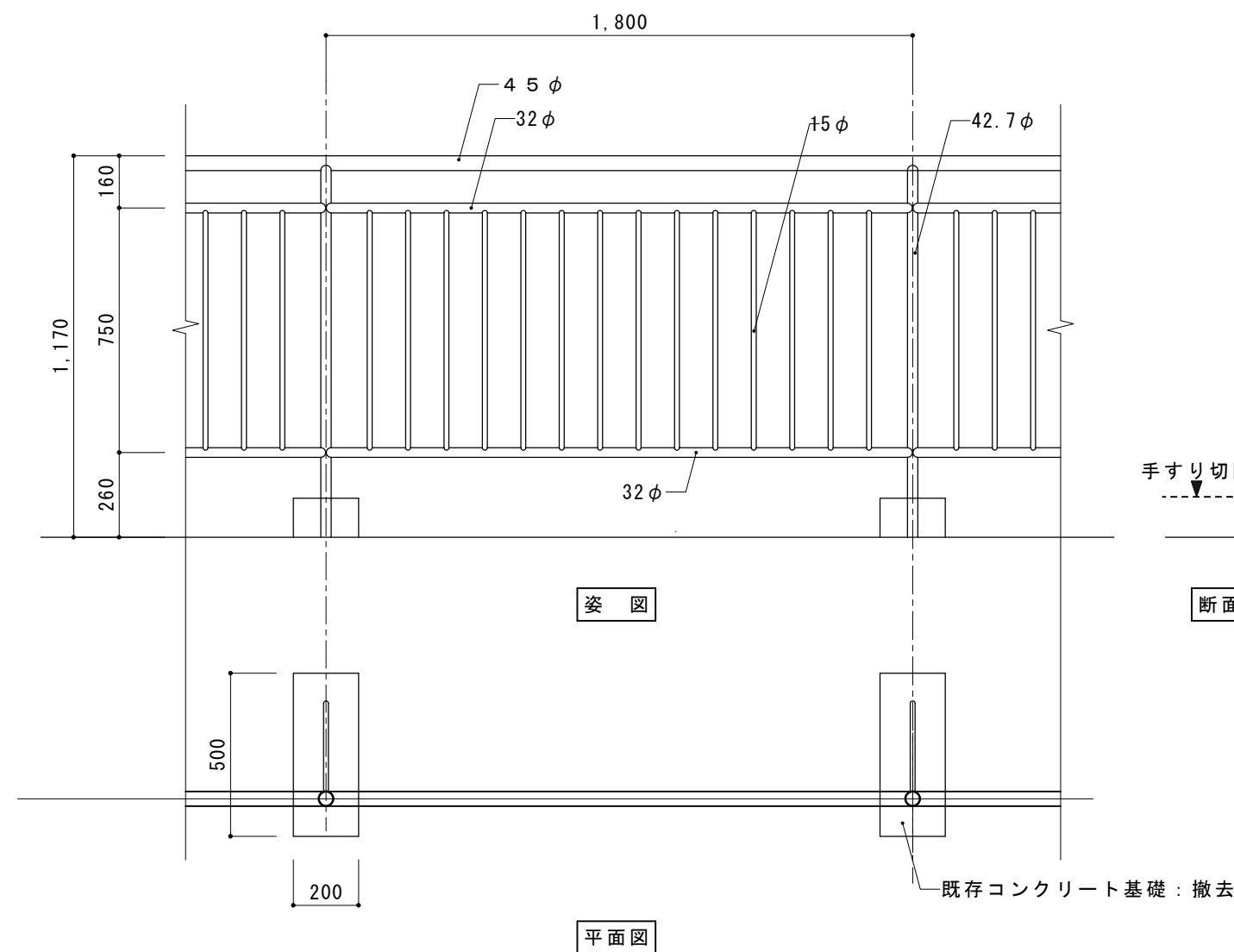
既存ポール時計姿図 S = 1/200



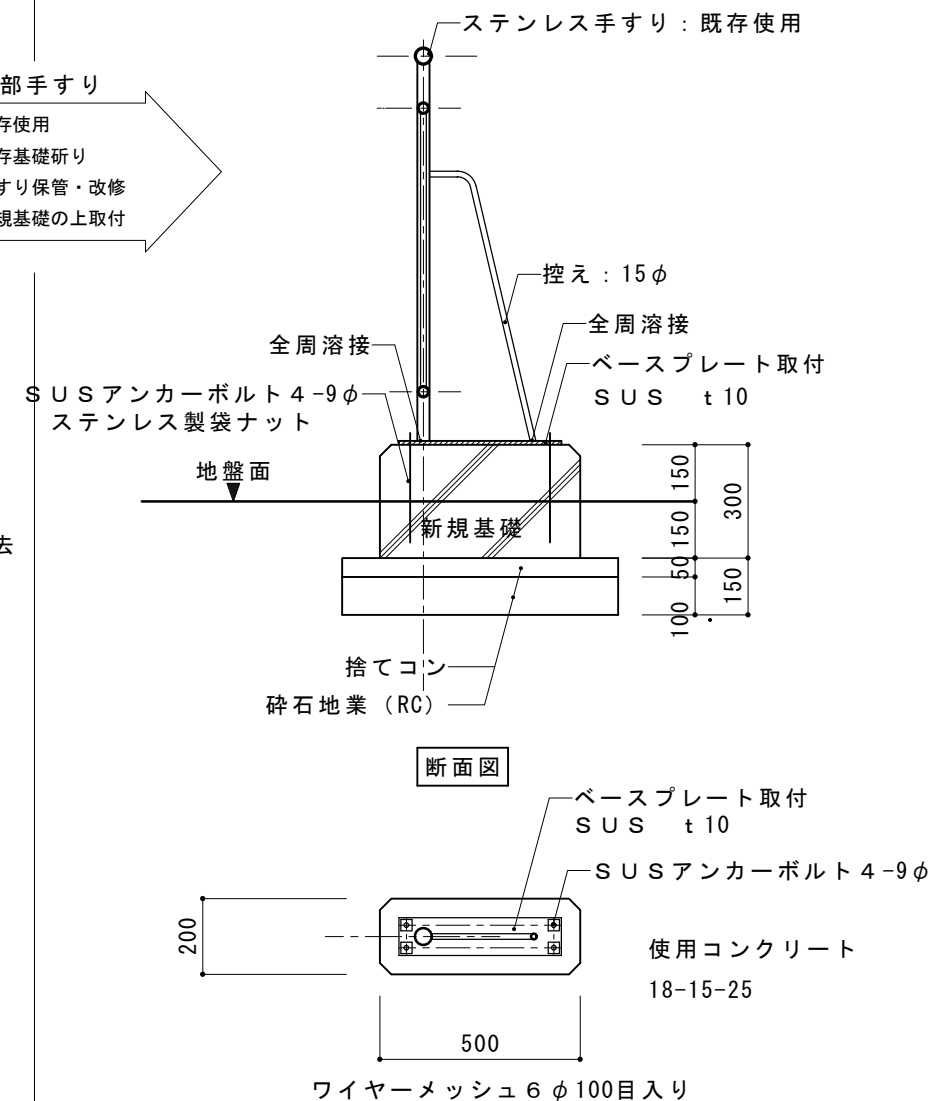
新設基礎詳細図 S = 1/100

③電気ポール時計

摘要 		T I M E	作成者	工事名称 一宮中学校部室棟改築工事（建築主体）	縮尺 1/200
		承認		図面名称 外構図 1（外構平面図）	図番 A-31



上部手すり
既存使用
既存基礎破り
手すり保管・改修
新規基礎の上取付

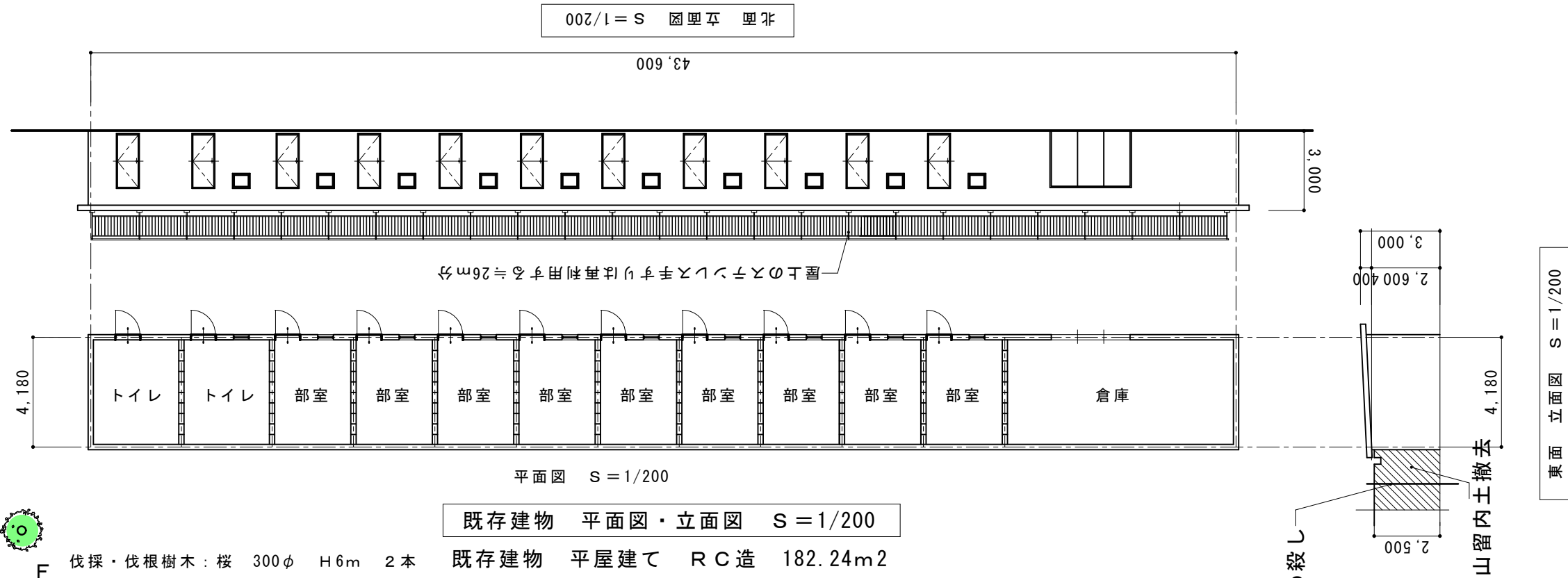


新規基礎平面図 新規基礎：14箇所

手すり取付長さ：1.8m × 14 = 25.2m

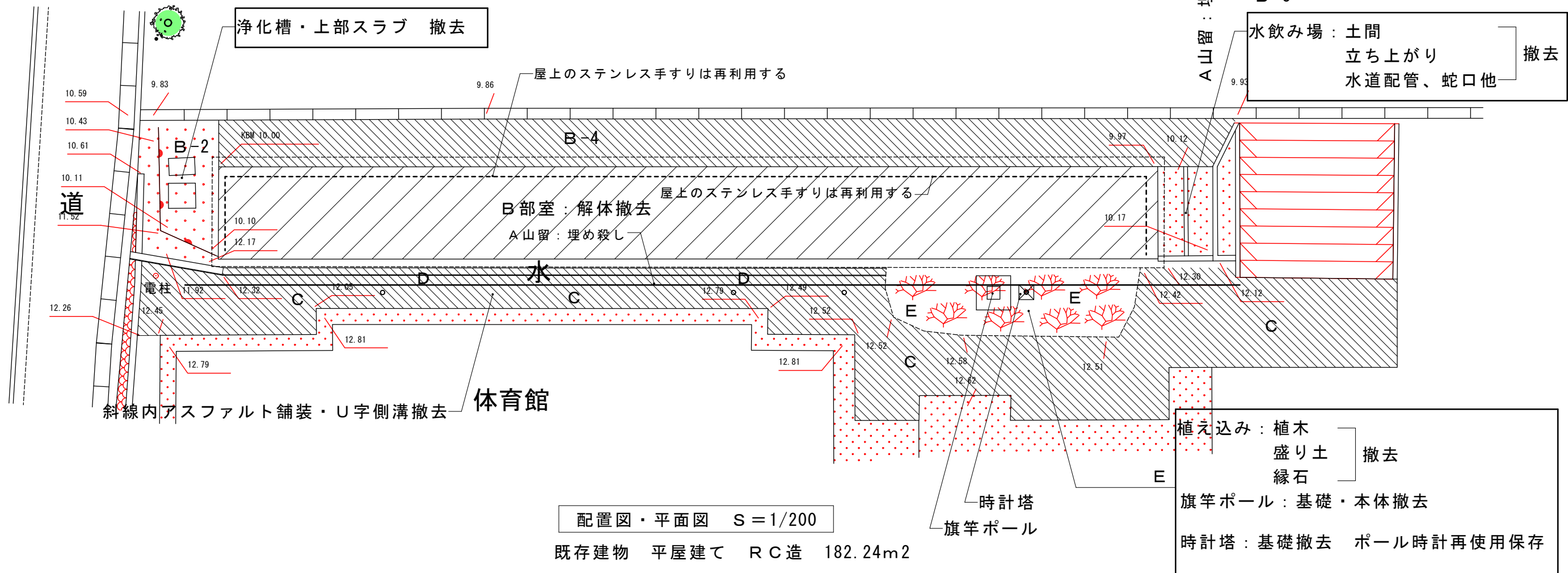
手すり（改修後）詳細図 S = 1/20

摘要		T I M E				作成者	工事名称 一宮中学校部室棟改築工事（建築主体）	縮尺 1/ 20
							図面名称 外構図 2（手すり詳細図）	図番 A - 32
						承認		



伐採・伐根樹木：桜 300φ H6m 2本

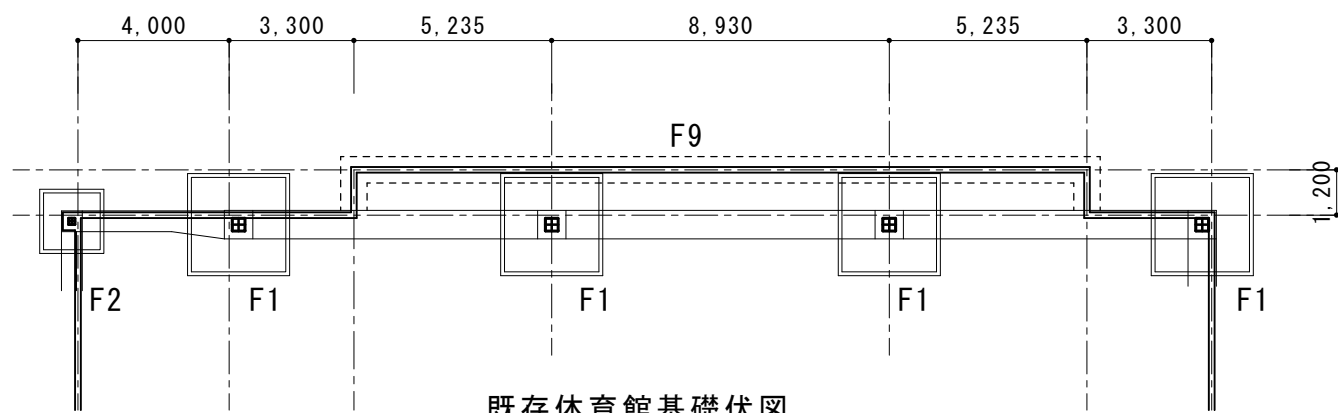
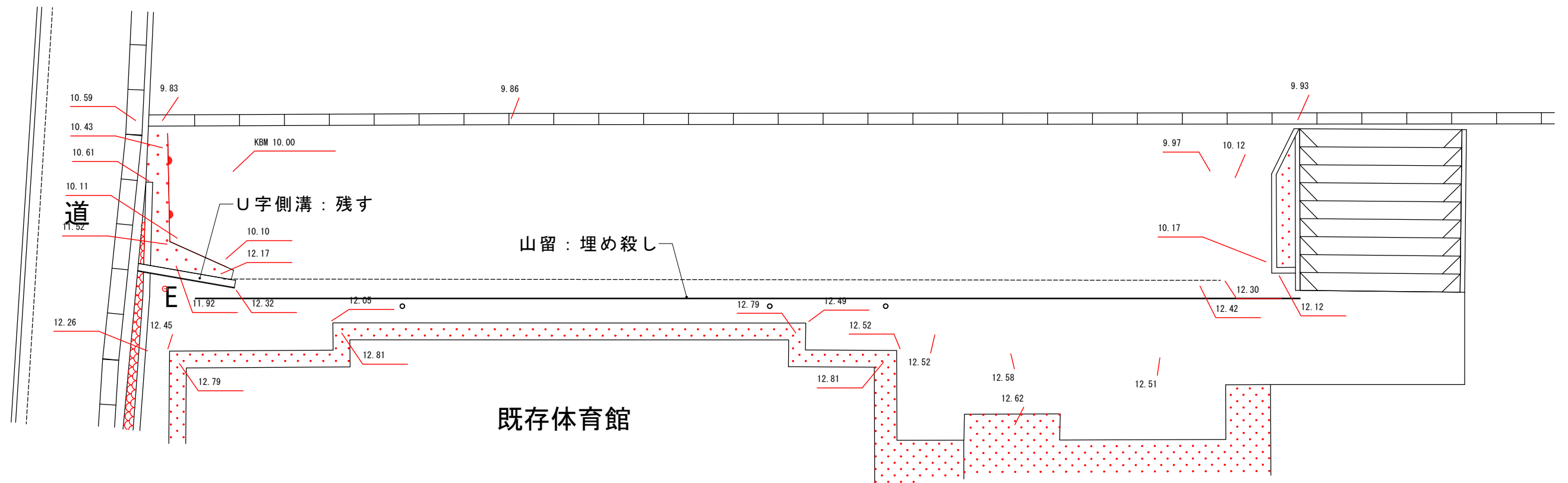
既存建物 平面図・立面図 S=1/200
既存建物 平屋建て RC造 182.24m²



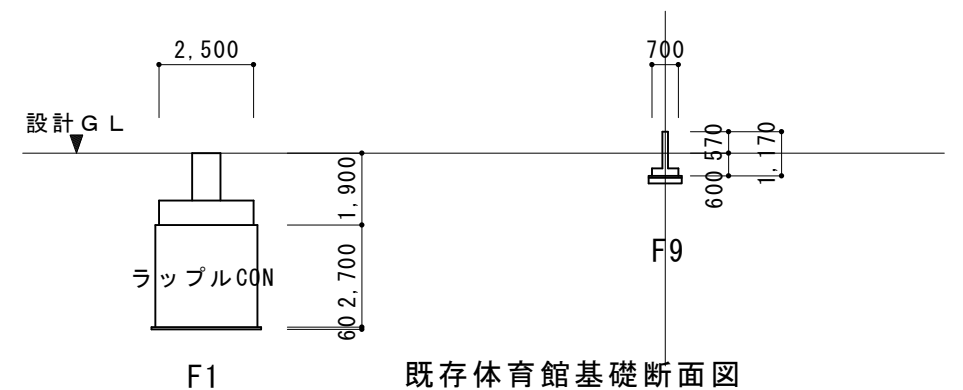
配置図・平面図 S=1/200

既存建物 平屋建て RC造 182.24m²

摘要		T I M E			作成者	工事名称 一宮中学校部室棟改築工事（建築主体）	縮尺 1/200
					承認	図面名称 解体図 1（既存図）	図番 A－33



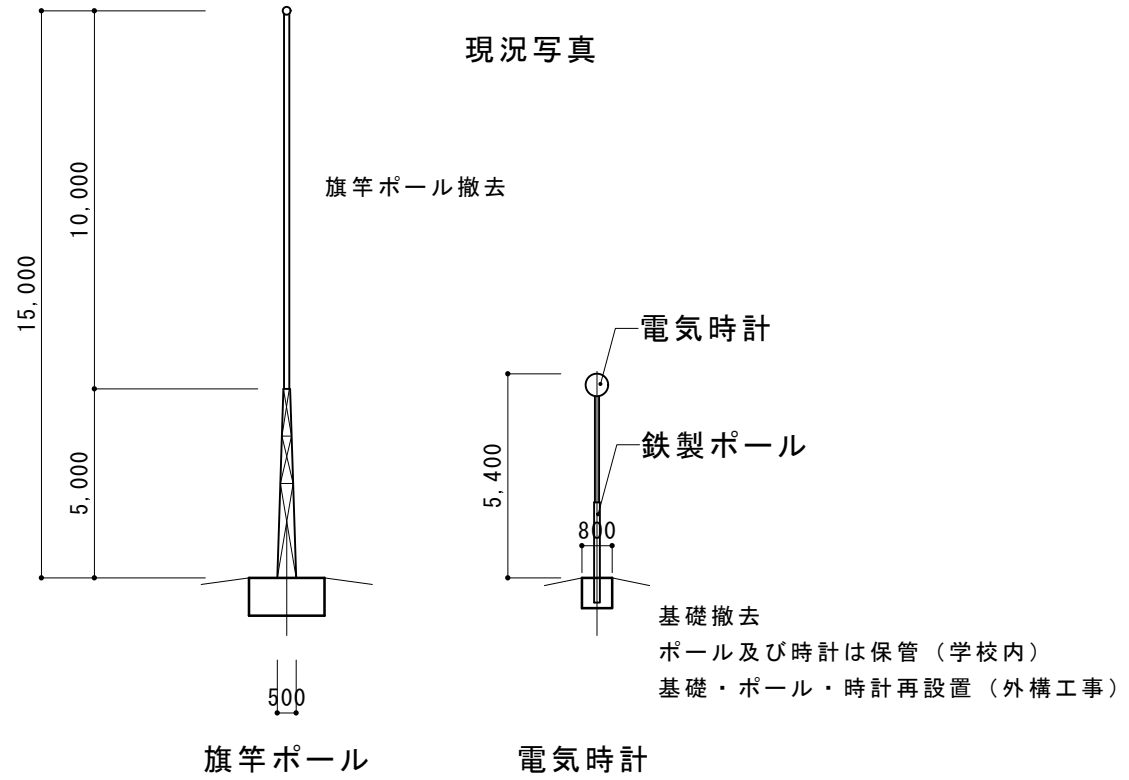
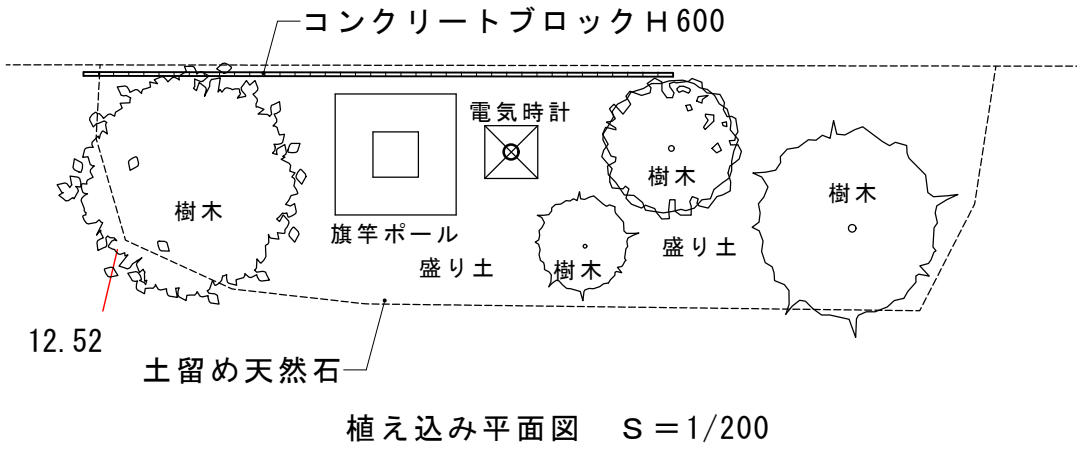
既存体育館基礎伏図



既存体育館基礎断面図

参考既存体育館基礎図

摘要		T I M E					作成者	工事名称 一宮中学校部室棟改築工事（建築主体）	縮尺 1/200
							承認		

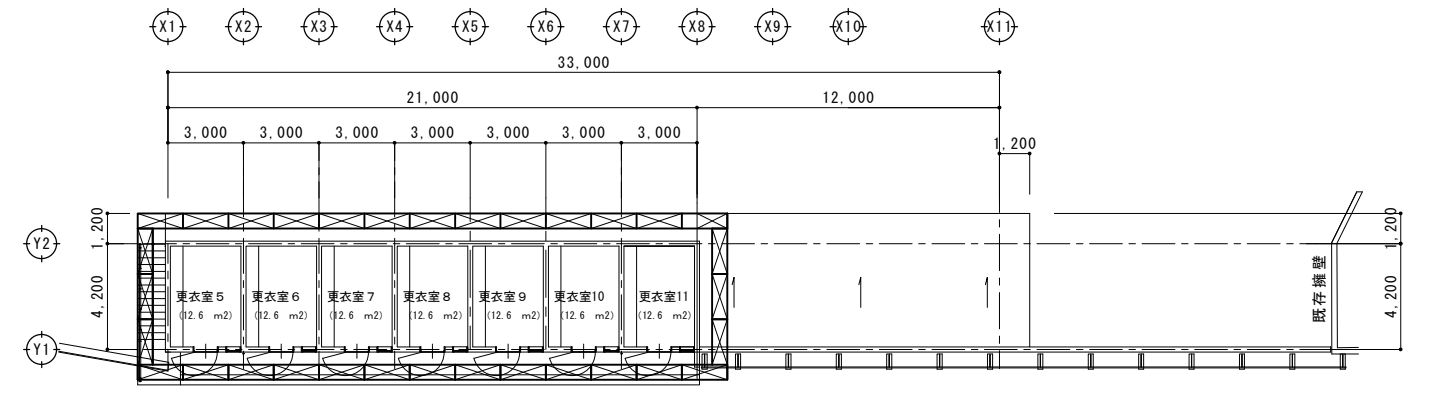
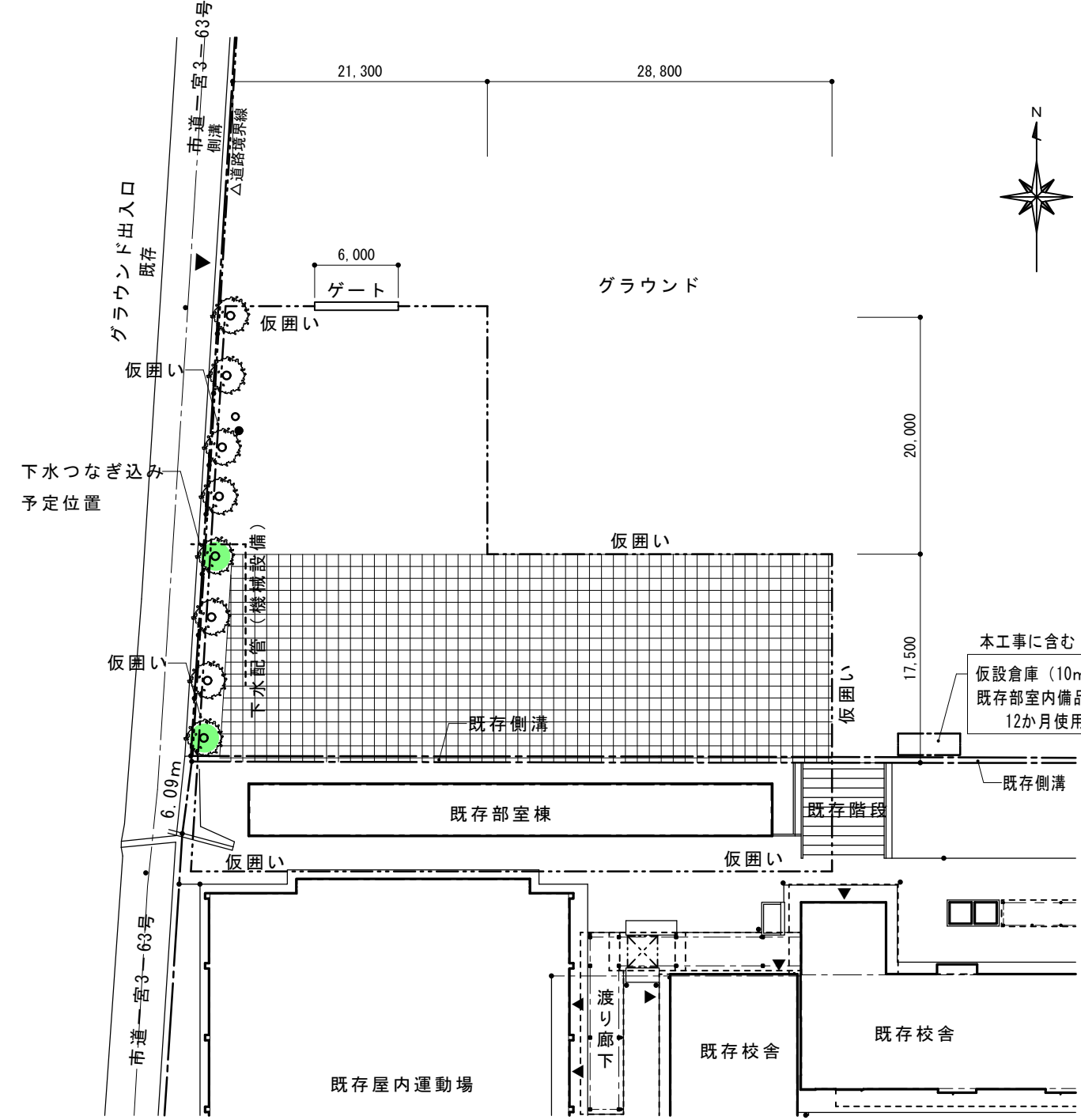


E 植え込み部分撤去図

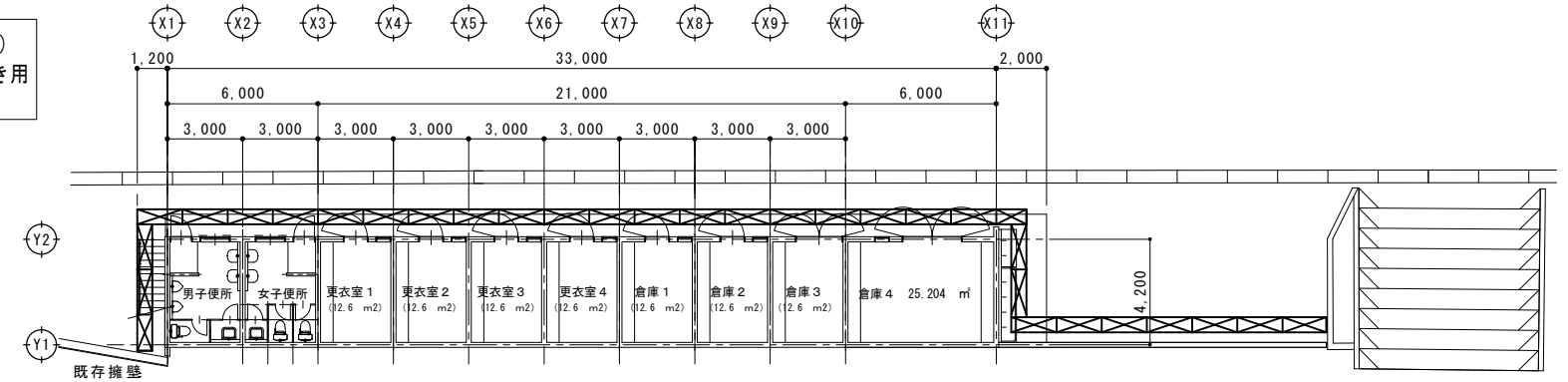
撤去工事リスト

A	山留 H 型鋼 300×300 L：6.5m 埋め殺し（上部撤去） 横矢板（上部撤去）	全長 ≒48m
B	R C 造平屋建て部室撤去（図示） 山留内土撤去	
B-2	既存浄化槽 上部撤去の上埋め戻し（搬出土使用）	土間面積：23m ²
B-3	水飲み場（コンクリート土間及び立ち上がり撤去）	土間面積：23m ²
B-4	コンクリート土間撤去	土間面積：110m ²
C	アスファルト舗装撤去	180m ²
D	U 字型コンクリート側溝撤去	43m
E	植え込み一式 撤去（図示）	43m
	困障用天然石 植木 盛り土 コンクリートブロック（h：600）撤去	
	旗竿ポール：基礎ポール（鉄骨製）撤去	
	電気時計：基礎撤去 ポール及び時計は学校内保管	
	電気時計：基礎及び再設置は外構工事に含む	
F	グラウンド側（仮設計画図参照）にある桜の木撤去 300φ	2本

摘要		T I M E				工事名称 一宮中学校部室棟改築工事（建築主体） 図面名称 撤去（植え込み詳細図） 撤去工事リスト	縮尺 1/200
							図番 A-35
					承認		



2階平面図 S=1/200



1階平面図 S=1/200

外部足場：くさび緊結足場（手すり先行式）建地幅600
メッシュシート張り

外部足場計画図 S=1/300

共通仮設計画図 S=1/500

- ・ 仮囲い : 防音シート張り H2.0m 193m
- ・ 鉄板敷き : t 22 870m²
- ・ ゲート : シートゲート等 (W : 6.0m程度)
- ・ 完成時場内敷き均し ; 1,300m²
- ・ 伐採・伐根樹木 : 桜 300φ H6m 2本 (撤去工事費含む)
- ・ 交通誘導員を見込む (60人)

本工事に含む (備品移動は別途)
仮設倉庫 (10m²程度)
既存部室内備品仮置き用
12か月使用

摘要		T I M E			作成者	工事名称 一宮中学校部室棟改築工事（建築主体）	縮尺 1/200	
								承認

壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）

１．一般事項

- (1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- (2) 記号
- d・・・異形鉄鋼の呼び名に用いた数値 D・・・部材の成 R・・・直径
- @・・・間隔 r・・・半径 C・・・中心線 l_o・・・部材の内寸法距離 h_o・・・部材間の内法高さ
- ST・・・あばら筋 H00P・・・帯筋 S.H00P・・・補強帯筋 φ・・・直径

２．鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	折まげ角度90°はスラブ筋、壁筋の末端部またはスラブと同時に打ち込む形および形座のキャップタイにのみ用いる。
図				
鉄筋の余長	4d以上	6d以上(※4d以上)	8d以上(※4d以上)	
鉄筋は、SD295A、SD295B、SD345を使用する。 折曲げ内寸法Rは、16以下は、3d以上、D19以上は4d以上				

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋折り曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内寸法(R)
	帯あばら筋 スパイラル筋	SD295A SD295B、SD345	D16以下 D19以上	3d以上 4d以上
	上記以外の鉄筋	SD295A SD295B、SD345	D16以下 D19～D25	4d以上 6d以上

(3) 鉄筋の定着及び重ね継手長さ

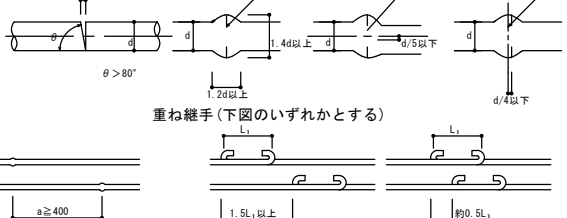
鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲 (N/mm ²)	定 着 の 長 さ			特別の定着及び重ね継手の長さ (L ₁)
		一般 (L _d)	下ば筋 (L _s)		
			小 梁	スラブ	
SD295A SD295B SD345	21 22.5 24 18	35d または 25d フックつき 40d または 30d フックつき	25d または 15d フックつき	10d かつ 15cm以上	40d または 30d フックつき 45d または 35d フックつき

コンクリートは普通F_c=18N/mm²以上24N/mm²以下、軽量F_c=18N/mm²以上22.5N/mm²以下

継手

1. 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする

ガス圧接形状



(4) 鉄筋のかぶり厚さ（単位：mm）

構造部分	最小かぶり厚さ（mm）	設計かぶり厚さ（mm）
屋根スラブ・床スラブ・片持ちスラブ・・・耐力壁	20*	30*
耐力壁・壁梁・小梁・片持ち梁	30*	40*
土に接する耐力壁・床スラブ・布基礎の立上り部分・基礎つなぎ梁	40	50
基礎（捨コンクリート部分を除く）	60	70

〔注〕＊ 耐久性上有効な仕上がりがない場合には、屋内・外にかかわらず10mm増しとする。
又、軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。

＊ ＊ 片持ちスラブ先端は、最小かぶり30mmとする。〔8-（1）の@参照〕

(5) 鉄筋のあき

- a. 異型鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上
- b. 粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上

(6) 鉄筋のフック(a-fに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。)

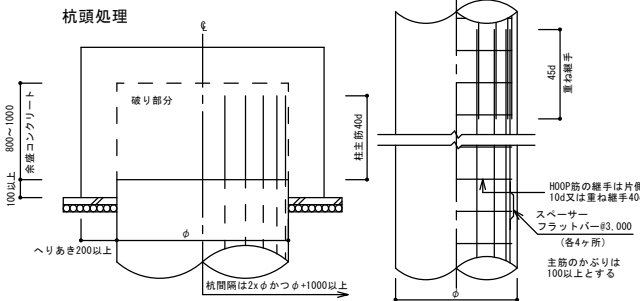
- a. 壁長が1m以下の壁横筋の末端
- b. あばら筋、帯筋
- c. 煙突の鉄筋
- d. 柱、梁（基礎梁は除く）の出すみ部分の鉄筋（右図参照）
- e. 単純梁の下端筋
- f. その他、本配筋標準に記載する箇所

３．杭（地震力等の水平力を考慮する必要がある場合は、別途検討すること。）

(1) PC杭、又はPHC杭全てに補強を行う

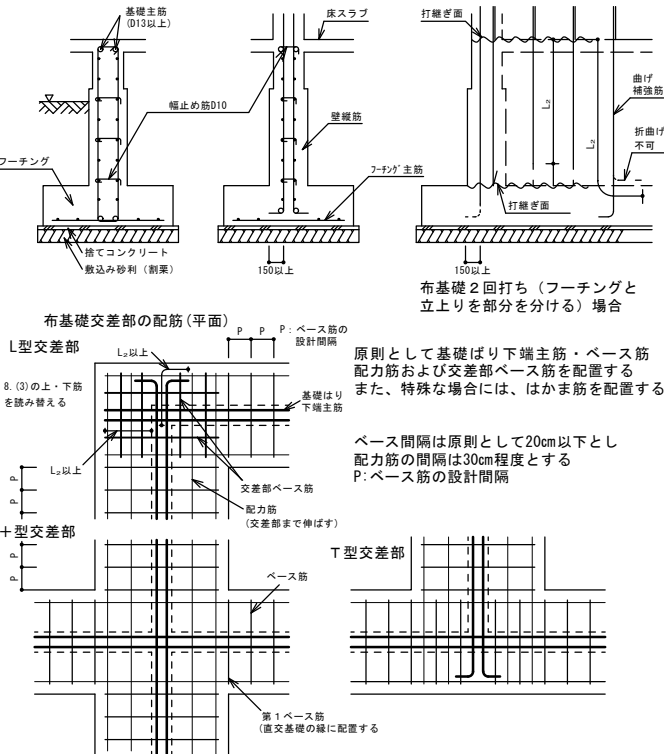
所定の位置に止まった場合	所定より低く止まった場合
杭 径 300φ、350φ 400φ	但し≤φの場合 l>φの場合は工事監理者の指示による
補強筋 6-D13 8-D13	3-D16 10-D13 500φ 8-D16 600φ 10-D16
H O O P	D10-@150

(2) 現場打ちコンクリート杭

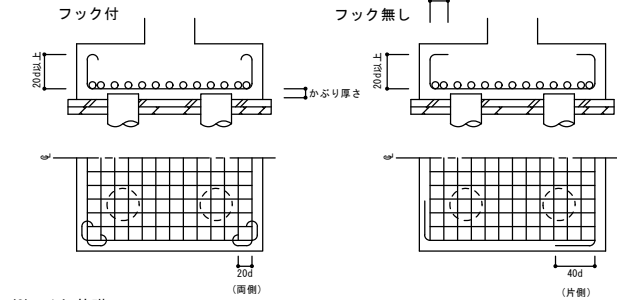


４．基礎

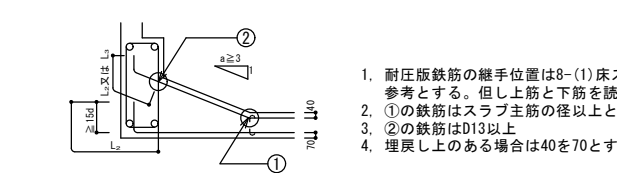
(1) 布基礎



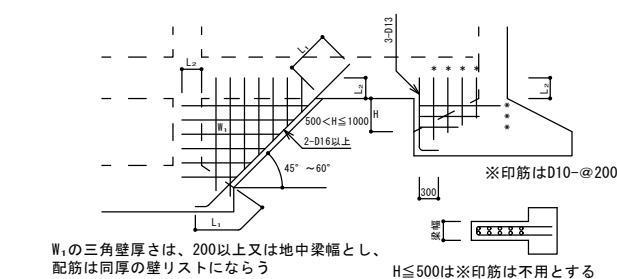
(2) 杭基礎



(3) べた基礎

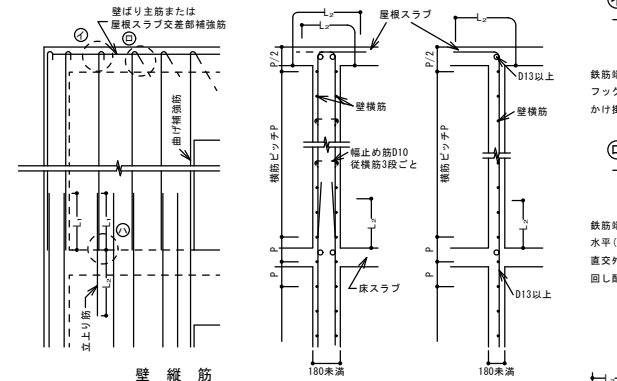


(4) 基礎接合部の補強

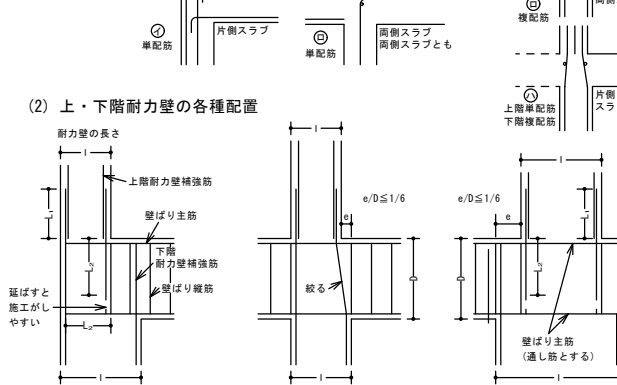


５．耐力壁

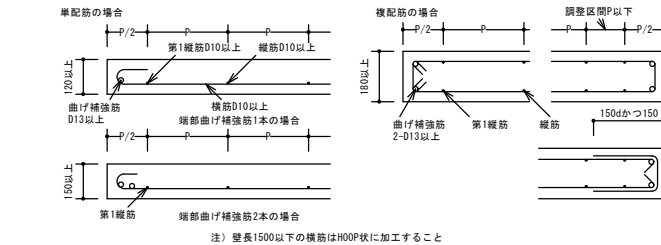
(1) 縦筋・曲げ補強筋・縦補強筋の定着



耐力壁と床・屋根スラブ

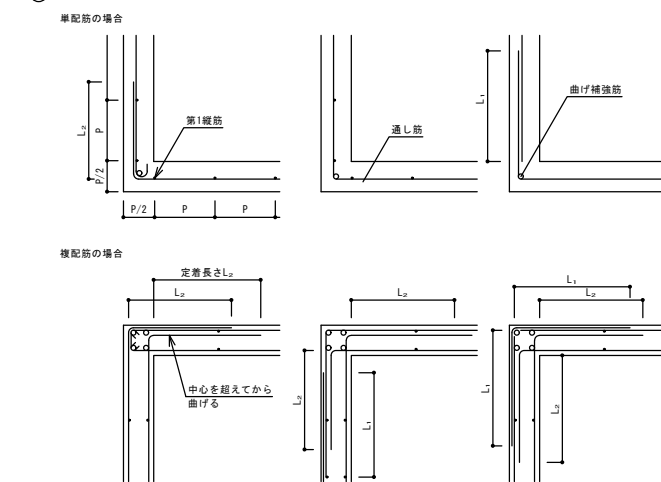


(3) 耐力壁の縦・横筋の配置

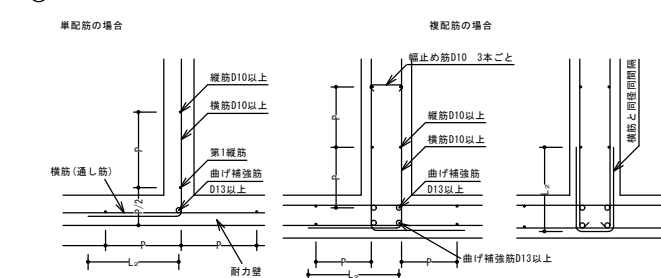


(4) 耐力壁が交差する場合（平面）

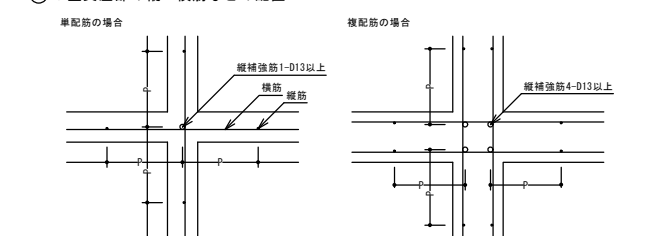
① L型交差部の縦・横筋などの配置



② T型交差部の縦・横筋の配置



③ +型交差部の縦・横筋などの配置



６．使用可能な鉄筋の最大径（標準）

部位	耐力壁	壁がりょう梁	布基礎基礎基礎梁	スラブ	非耐力壁	塀
構造種別	壁式鉄筋コンクリート造	D22	D25	D16	D16	D16

摘要

T I M E

作成者

工事名称 一宮中学校部室棟改築工事（建築主体）

図面名称 壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）

縮尺

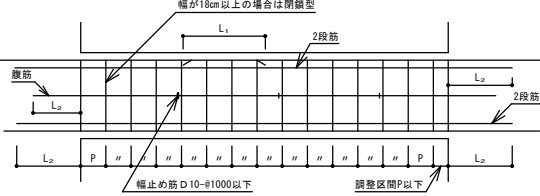
図番 S-02

壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

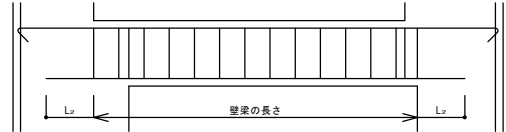
L=鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)の2-(3)による。

7. 壁梁、小梁

(1) 壁梁の標準配筋図

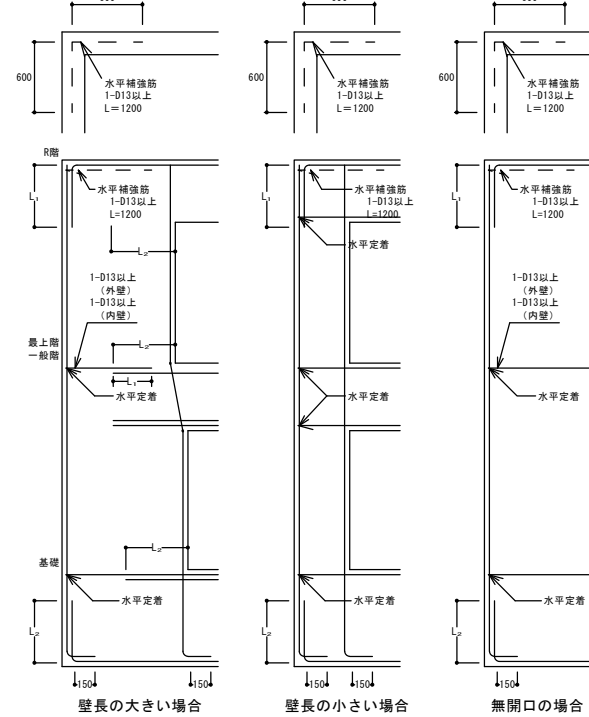


(2) 壁梁の範囲

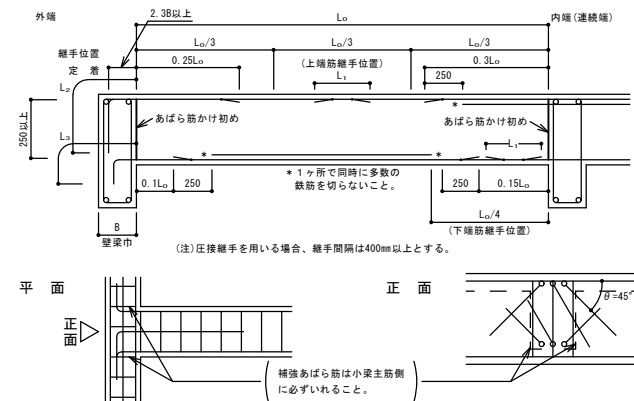


(3) 定着

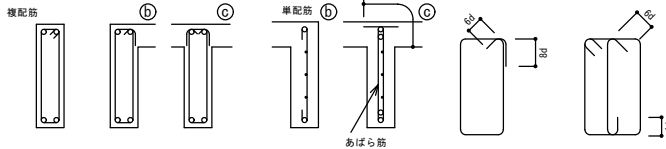
① 壁梁



② 小梁の定着・継手位置およびトップ長さ

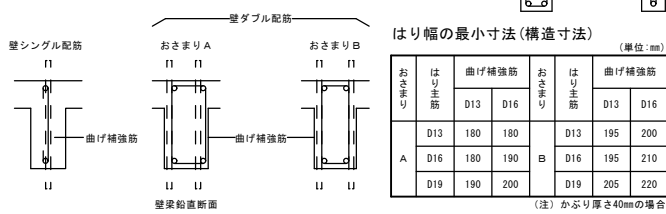


(4) あばら筋の型



(イ) 原則として④のフック先曲げとする。
片側床版付(L型)梁で⑤、
両側床版付(T型)梁で⑥とすることができる。
(ロ) フックの位置は④にあつては交互、
⑤にあつてはスラブ側とする。

(5) 幅止め筋の本数、加工

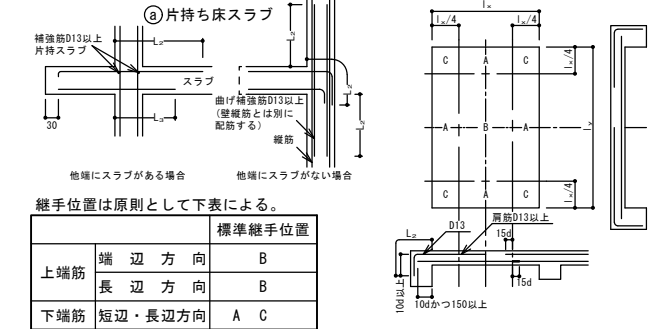


はり幅の最小寸法(構造寸法)(単位:mm)

おさまり	はり主筋	曲げ補強筋	おさまり	はり主筋	曲げ補強筋
A	D13	180	B	D13	195
A	D16	180	B	D16	195
A	D19	190	B	D19	205

8. 床板

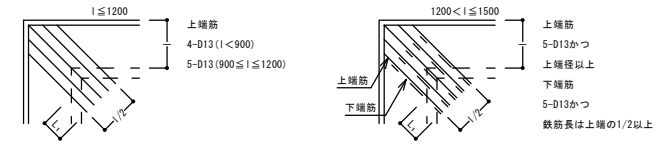
(1) 定着および継手



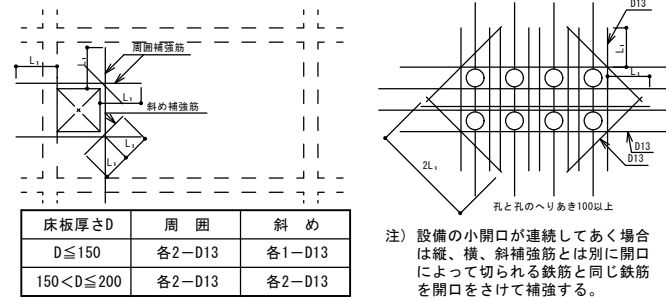
(2) 屋根スラブの補強



(3) 片持ちスラブ出隅部補強



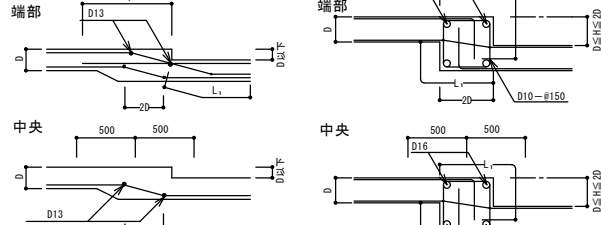
(4) 床板開口部の補強(開口の径500程度の場合)



床板厚さD	周囲	斜め
D≤150	各2-D13	各1-D13
150<D≤200	各2-D13	各2-D13

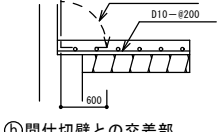
注) 設備の小開口が連続してあく場合は縦、横、斜補強筋とは別に開口によって切られる鉄筋と同じ鉄筋を開口をさけて補強する。

(5) 床板段差

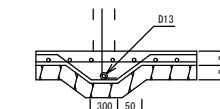


(6) 土間コンクリート

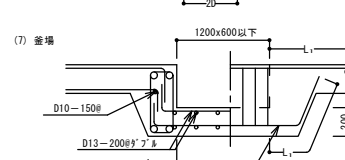
① 軽作業の土間



② 間仕切壁との交差部



(7) 垂壁

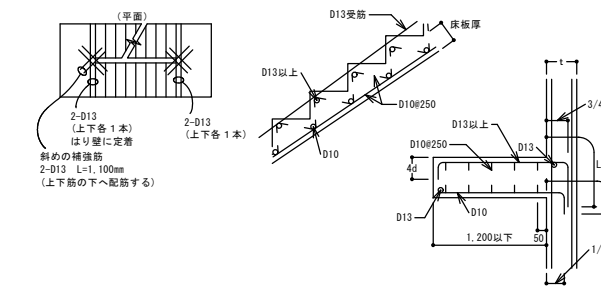


(8) 打継ぎ補強(ダメ穴打継面について)

・設計配筋間隔の1/2ピッチ 長さ2L₁以上
・無筋部分D10-@200 長さ800以上

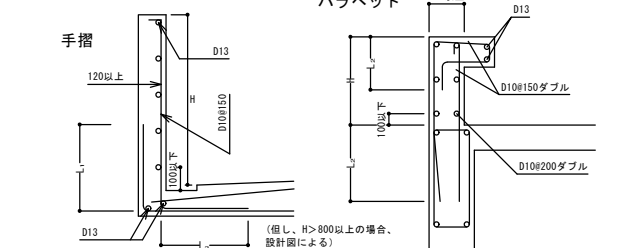
9. 階段

片持ち階段

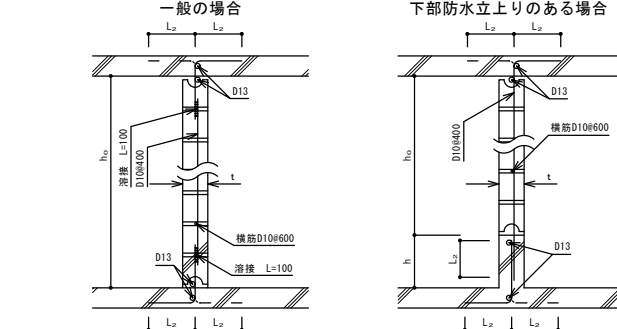


10. その他

(1) 手摺、バラベット



(2) コンクリートブロック塀壁



注) h₀≤25 t かつ3500以下とする。但し直交方向25 t 以内に壁、又は柱がある場合は除く。
注) hはコンクリートブロック段数調節寸法とする。但し、200≤h≤400
注) 鉄筋挿入部はモルタルを充てんすること。

11. 梁貫通孔補強

(3) 既製品(使用するときは、設計者又は工事監理者と打合せのこと)

□ リング型 □ バイプ型 □ 金網型 □ プレート型 □

(2) 鉄筋標準配筋 但し、φ≤D/3とする

設置可能範囲 梁端部(スパン1/10以内かつ20以内)は避ける

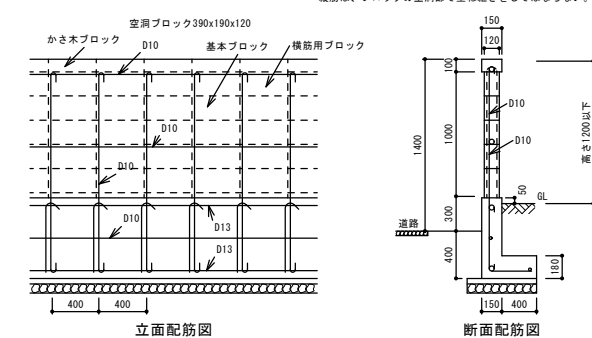
80≤φ≤100 折筋 2-(2-D13) 縦筋 ST2-D13	100<φ≤150 折筋 2-(2-D13) 縦筋 ST2-D13-100@ 横筋 2-(2-D13)	150<φ≤250 斜筋 4-(2-D13) 縦筋 ST2-D13-100@ 横筋 2-(2-D13) 上縦筋 ST2-D13
φ>250 孔補強の有効範囲と 定着長さのとり方 ※ 部分について計算で 確認された場合は右 記の位置、寸法によ らなくて良い。		

12. コンクリートブロック塀

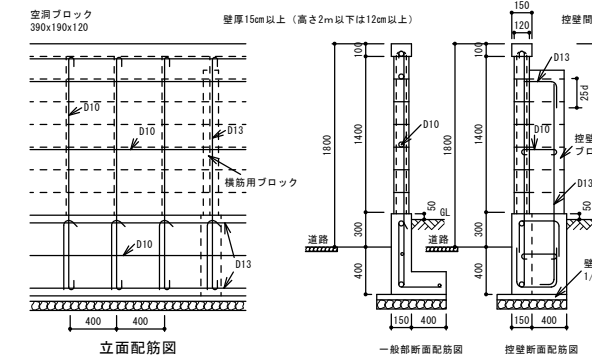
(1) ブロック塀の高さ・厚さと基礎の構造

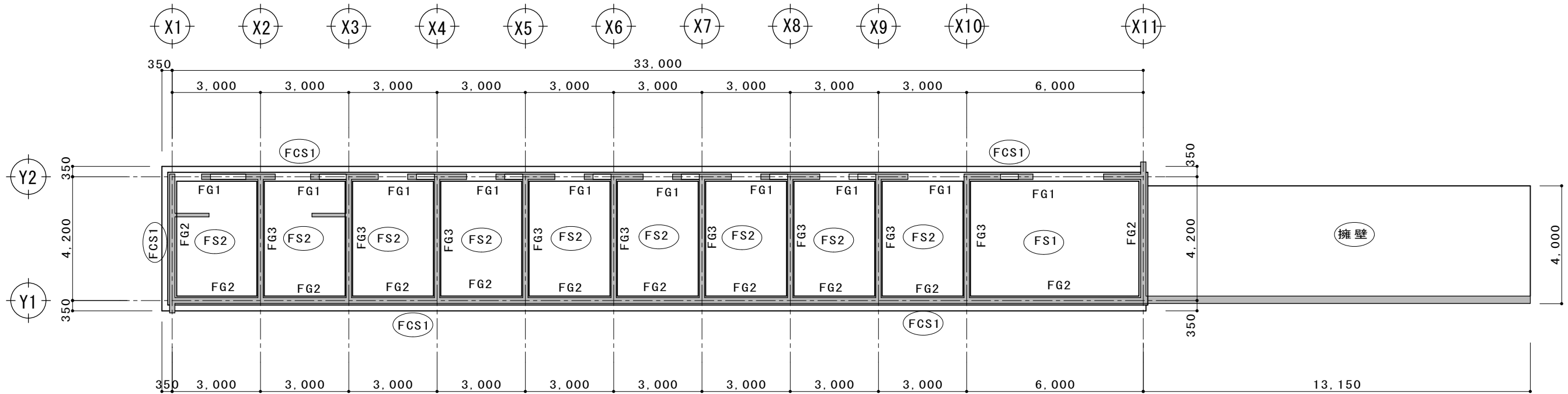
- 塀の高さ(地盤面に高低差がある場合は低い方による)は2.2m以下。
- 塀の厚さは、塀の高さ2m以下の場合は12cm以上、2mを超える場合は15cm以上。
- 地盤が液状化の恐れのある砂質土および軟弱土の場合は別途検討する。
- 鉄筋挿入部はモルタルを充てんすること。

控え壁のない塀例 高さ2.2m以下



控え壁のある塀例 高さ2.2m以下





基礎伏図

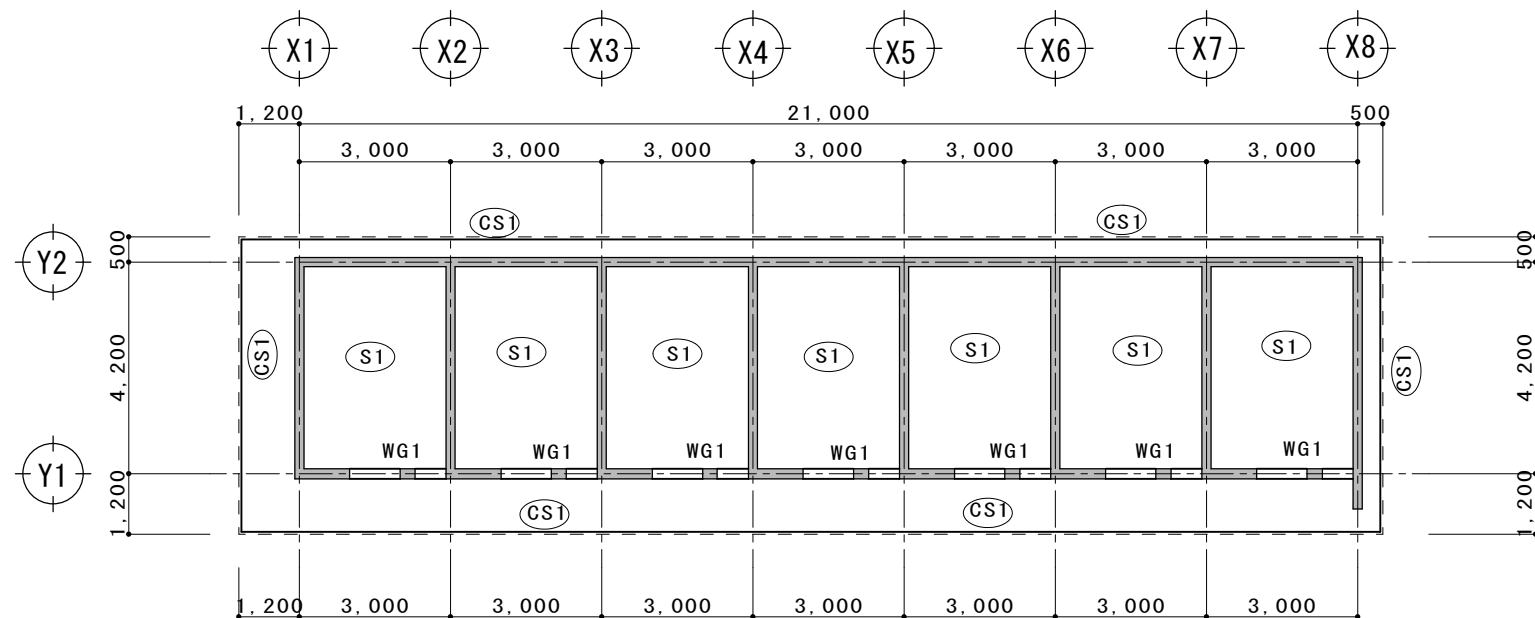
S=1/150

基礎リスト

S=1/30

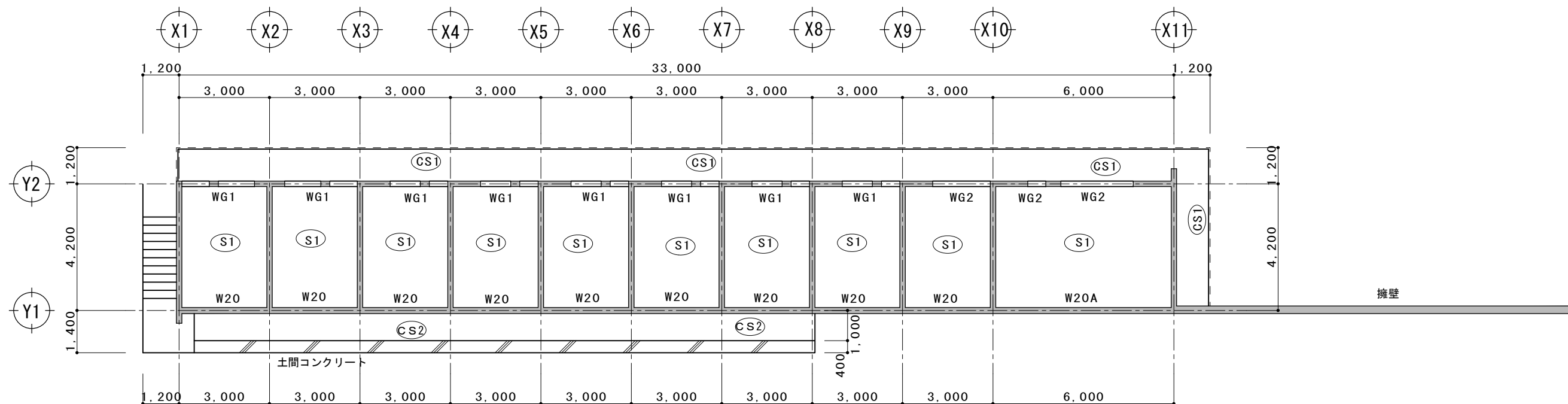
	F G 1	F G 2	F G 3	F S 1 ・ F C S 1	F S 2 ・ F C S 1
断 面					
土間コンクリート					
上端筋	3-D 16	2-D 16	2-D 16		
下端筋	3-D 16	2-D 16	2-D 16		
S . T . P	D 13@150	D 13@150	D 10@200		
腹 筋	6-D 13	6-D 13	6-D 10		

摘要		T I M E			作成者	工事名称 一宮中学校部室棟改築工事（建築主体）	縮尺 1/150 1/30
			承認	図面名称 基礎伏図 基礎リスト			
							図番 S- 04



1 階 壁 ・ R 階 梁 伏 図 S=1/150

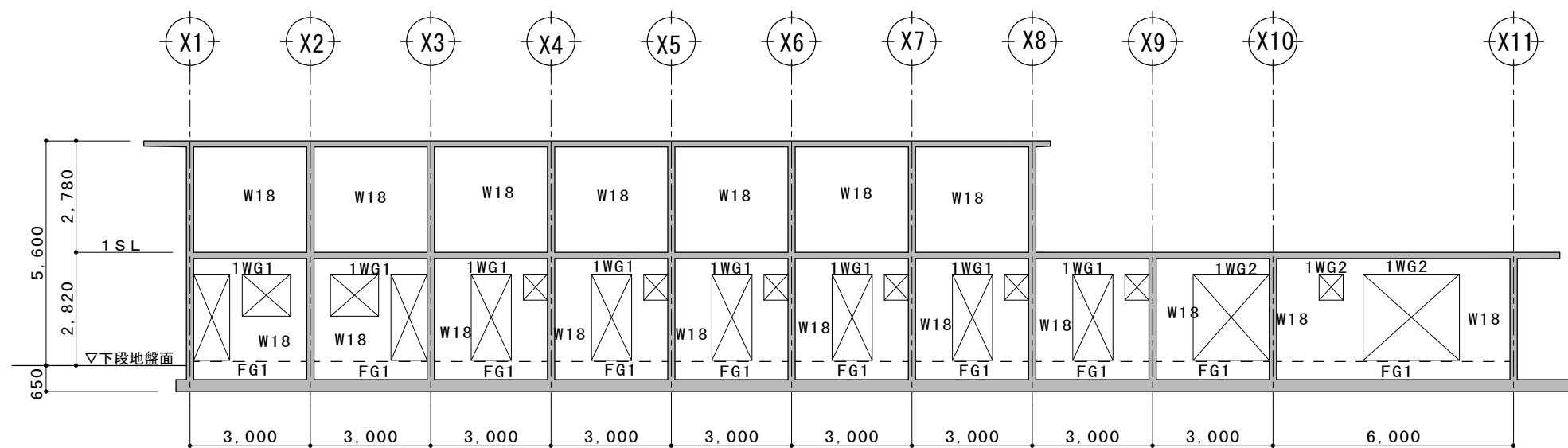
特機なき壁はW18を示す。



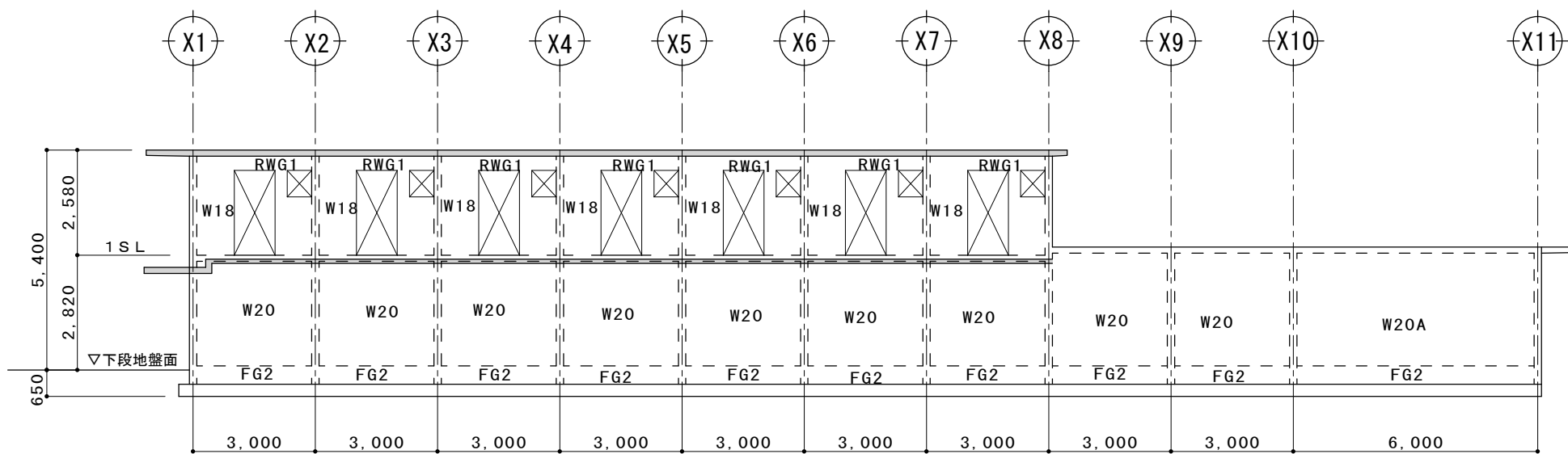
B 1 階 壁 ・ 1 階 梁 伏 図 S=1/150

特機なき壁はW18を示す。

摘要		T I M E				作成者	工事名称	一宮中学校部室棟改築工事（建築主体）	縮尺	1/150
							図面名称	壁・梁伏図	図番	S-05
						承認				

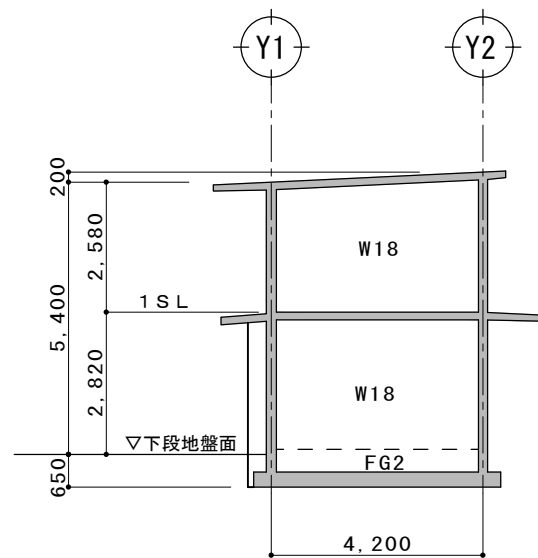


Y 2 通り軸組図 S=1/150

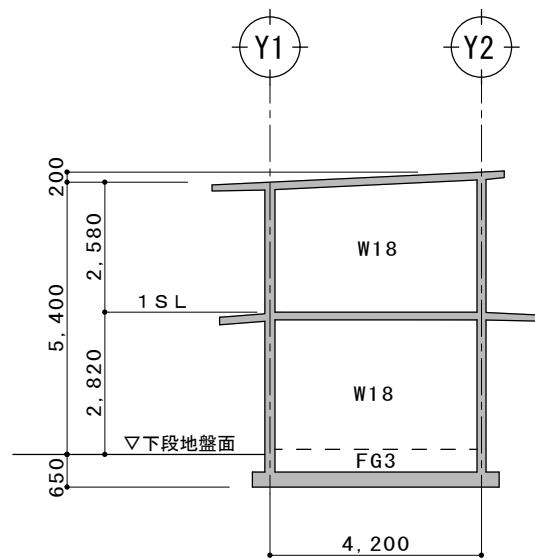


Y 1 通り軸組図 S=1/150

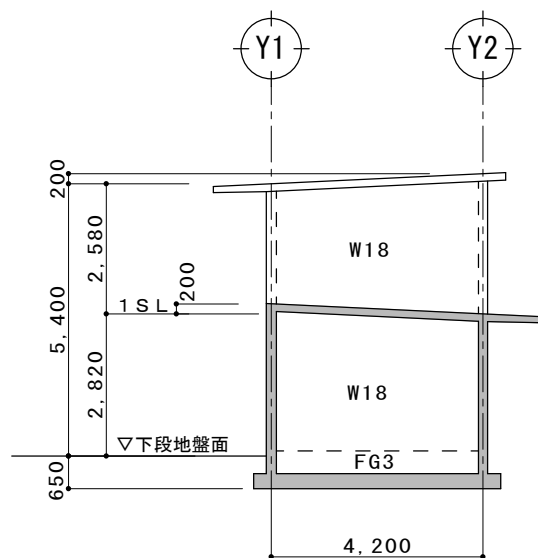
摘要		T I M E				作成者	工事名称 一宮中学校部室棟改築工事（建築主体）	縮尺	1/150
								図番	S- 06
						承認			



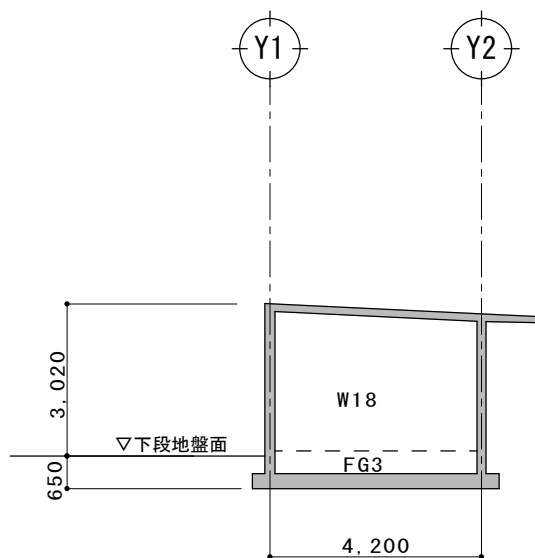
X 1 通り軸組図 S=1/150



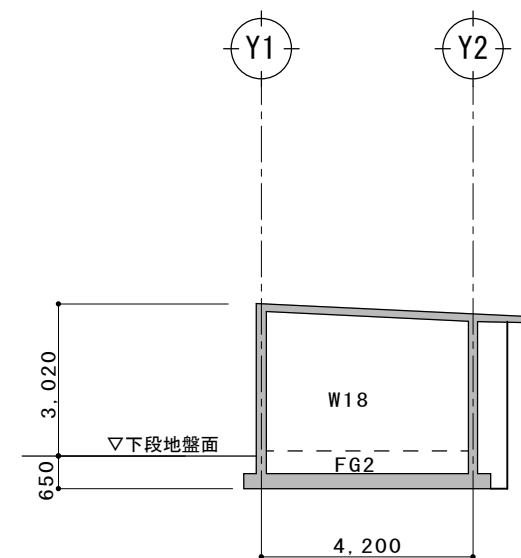
X 2 - X 7 通り軸組図 S=1/150



X 8 通り軸組図 S=1/150



X 9 - X 10 通り軸組図 S=1/150



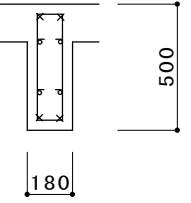
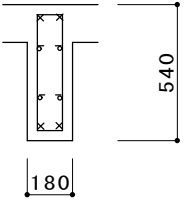
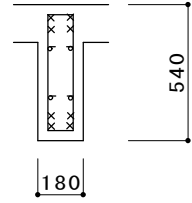
X 11 通り軸組図 S=1/150

摘要		T I M E				作成者	工事名称 一宮中学校部室棟改築工事（建築主体）	縮尺 1/150
							図面名称 軸組図（2）	図番 S-07
						承認		

壁梁リスト

S=1/30

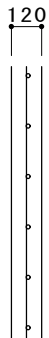

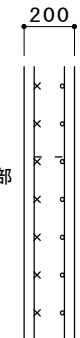
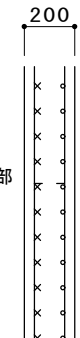
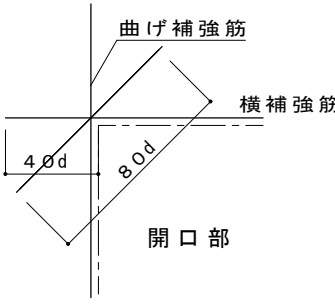
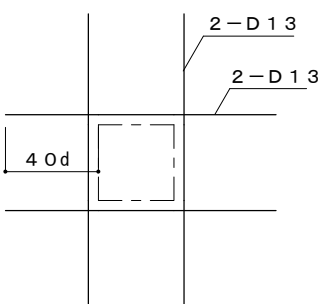
幅止め筋は、D 1 0 @ 1 0 0 0 以下とする。

符 号	W G 1	W G 2
位 置	全 断 面	
R 階		
上 端 筋	2-D 1 3	
下 端 筋	2-D 1 3	
ス タ ー ラ ッ プ	D 1 0 @ 2 0 0	
横 筋	4-D 1 0	
位 置	全 断 面	全 断 面
1 階		
上 端 筋	2-D 1 3	4-D 1 3
下 端 筋	2-D 1 3	4-D 1 3
ス タ ー ラ ッ プ	D 1 0 @ 2 0 0	D 1 0 @ 2 0 0
横 筋	4-D 1 0	4-D 1 0

壁リスト

S=1/30

壁長1. 2 m 以下のタテ筋は壁配筋図に依る。

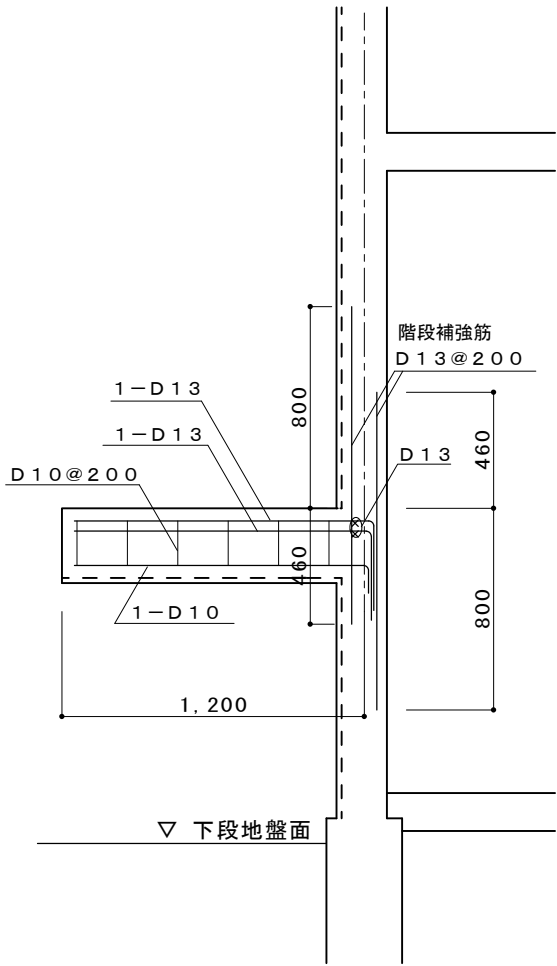
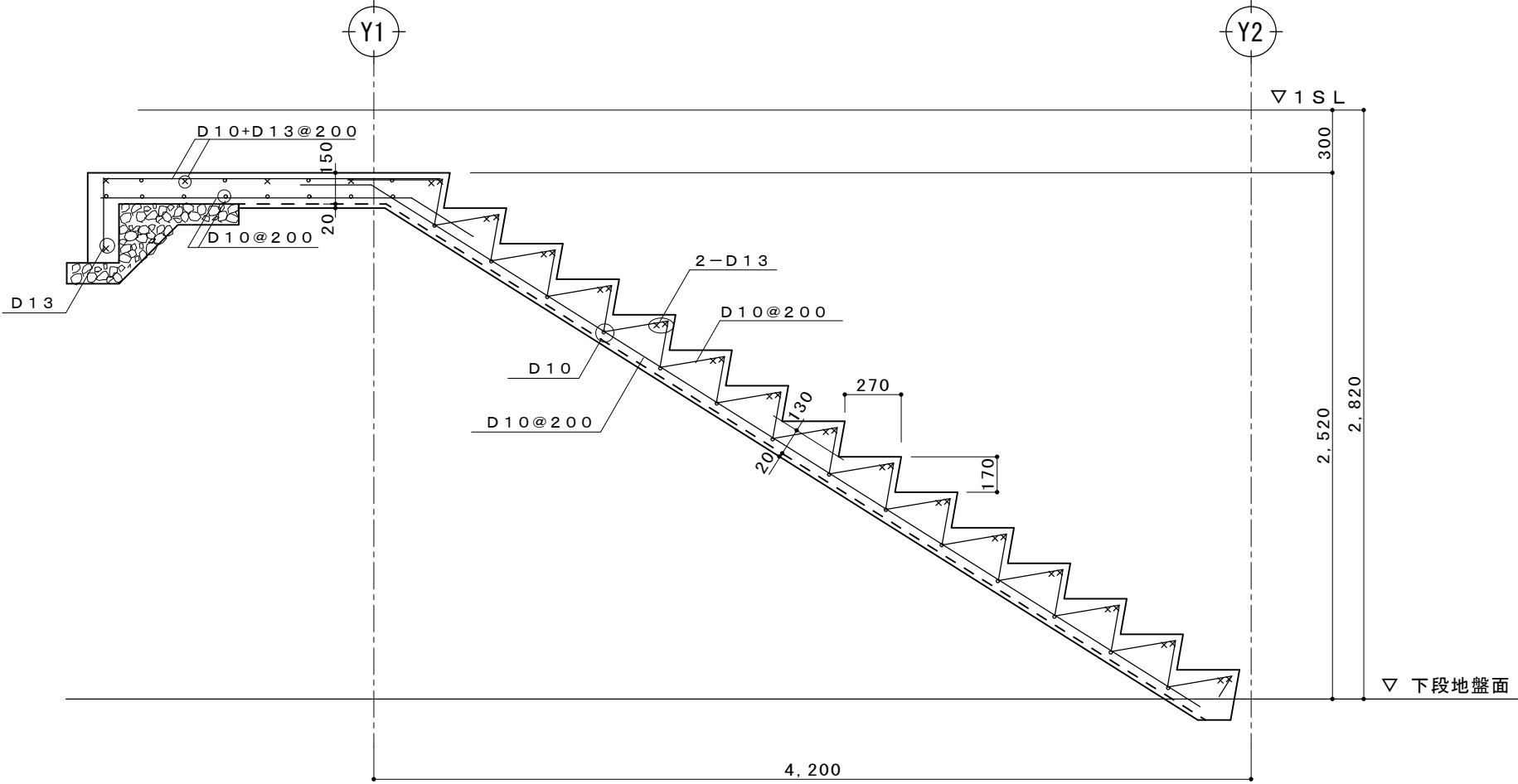
符 号	W 1 2	W 1 8	W 2 0	W 2 0 A	
断 面					
縦 筋	D 1 0 @ 2 0 0	D 1 0 @ 2 0 0	外部 D 1 3 @ 1 5 0 内部 D 1 0 @ 1 5 0	外部 D 1 3 @ 1 0 0 内部 D 1 0 @ 1 0 0	
横 筋	D 1 0 @ 2 0 0	D 1 0 @ 2 0 0	外部 D 1 3 @ 1 5 0 内部 D 1 0 @ 1 5 0	外部 D 1 3 @ 1 5 0 内部 D 1 0 @ 1 5 0	
開 口 補 強 筋	縦	1-D 1 3	曲げ補強筋（壁配筋図参照）	曲げ補強筋（壁配筋図参照）	
	横	1-D 1 3	2-D 1 3	2-D 1 3	
	斜め	1-D 1 3	2-D 1 3	2-D 1 3	
幅 止 筋		—	D 1 0 @ 1 0 0 0	D 1 0 @ 1 0 0 0 以下	D 1 0 @ 1 0 0 0 以下
開口補強筋		小開口補強筋			
					

摘要		T I M E					作成者	工事名称 一宮中学校部室棟改築工事（建築主体）	縮尺 1/30
						承認	図面名称 壁梁リスト 壁リスト		図番 S- 08

符 号	厚 さ	位 置	短 辺 方 向 配 筋			長 辺 方 向 配 筋		
			端 部	中 央 部	周 辺 部	端 部	中 央 部	周 辺 部
S 1	150	上 端 筋	D 10+D 13@200			D 10+D 13@200		
		下 端 筋	D 10@200			D 10@200		

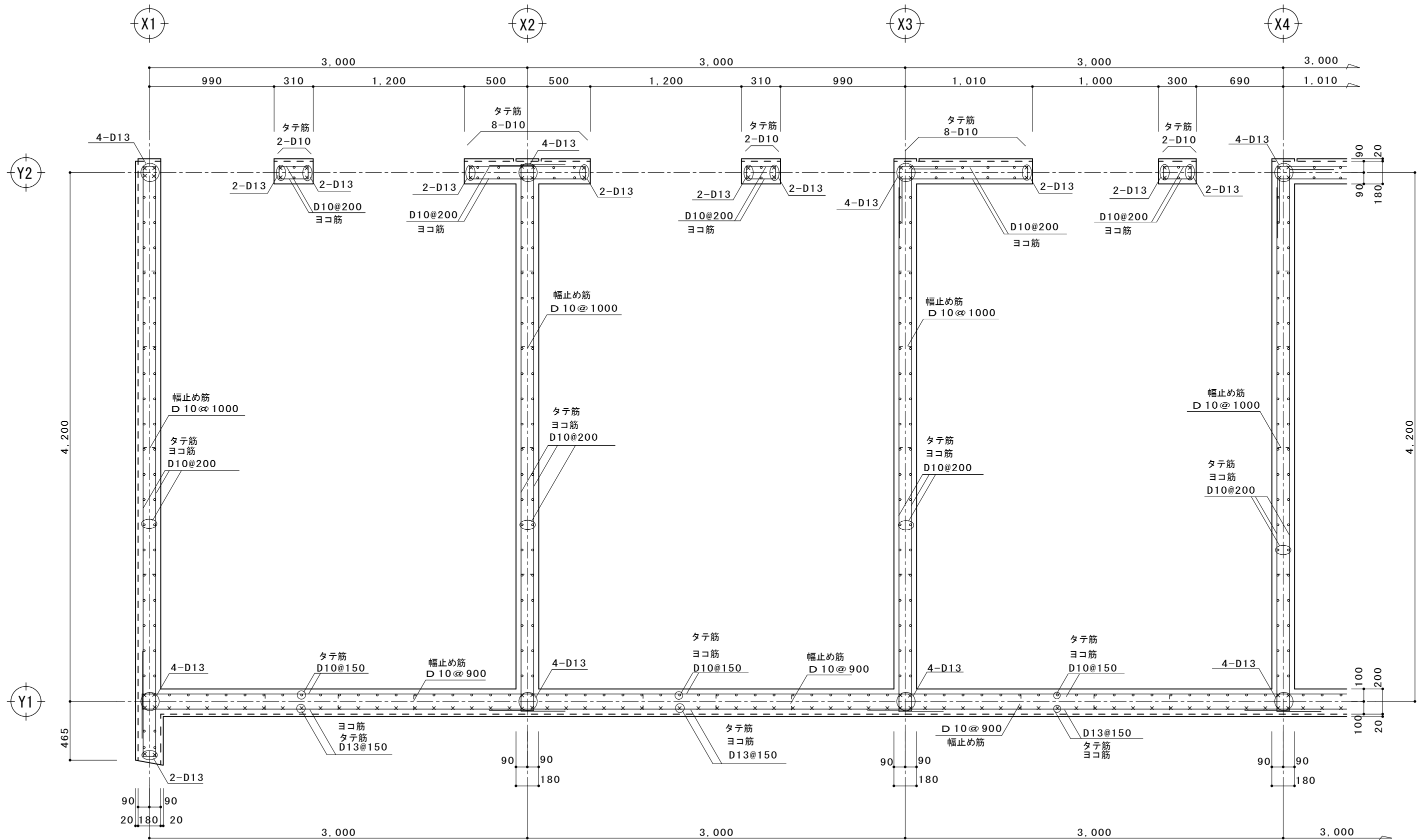
C S 1

C S 2



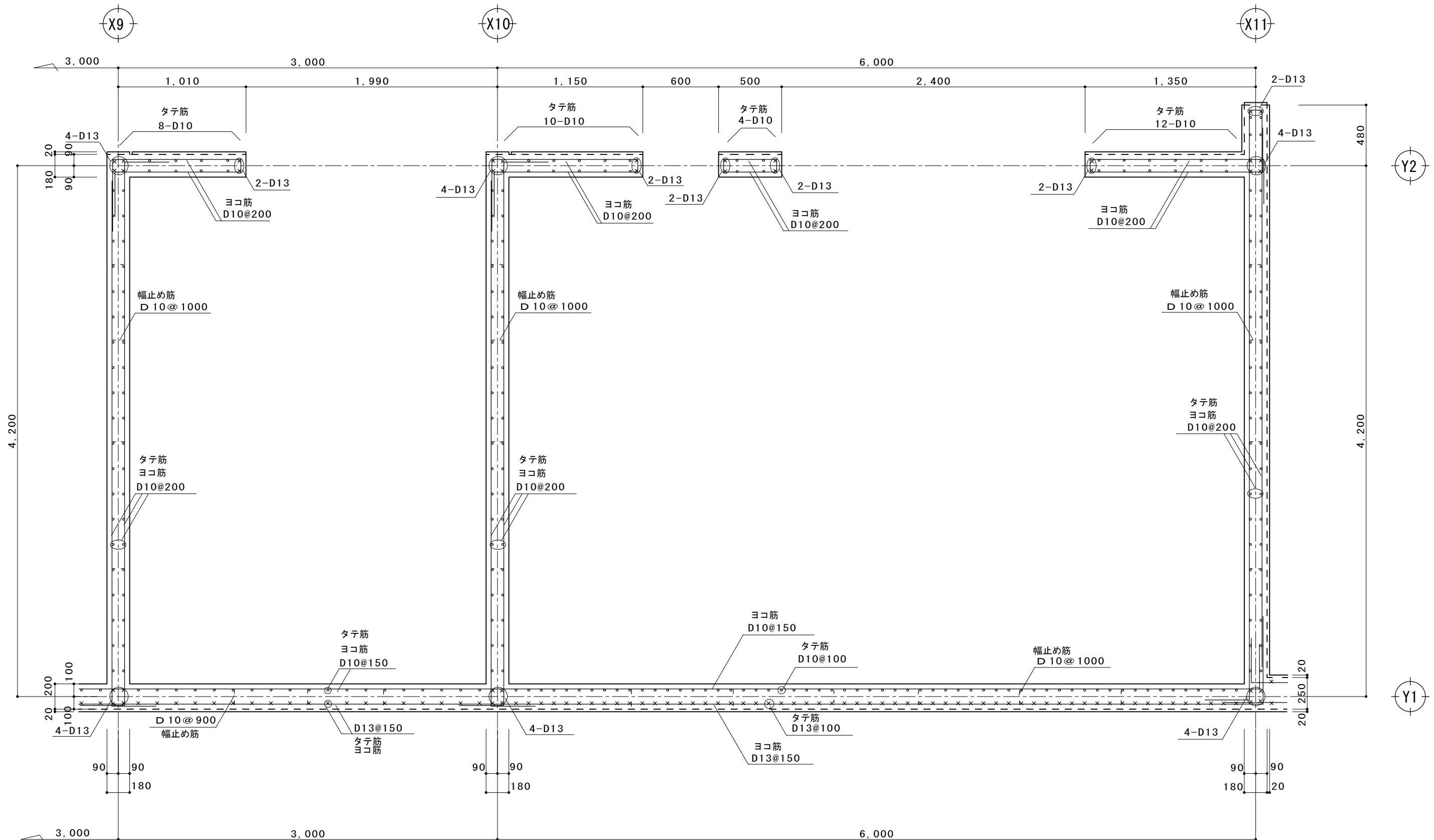
階段配筋詳細図

S=1/30



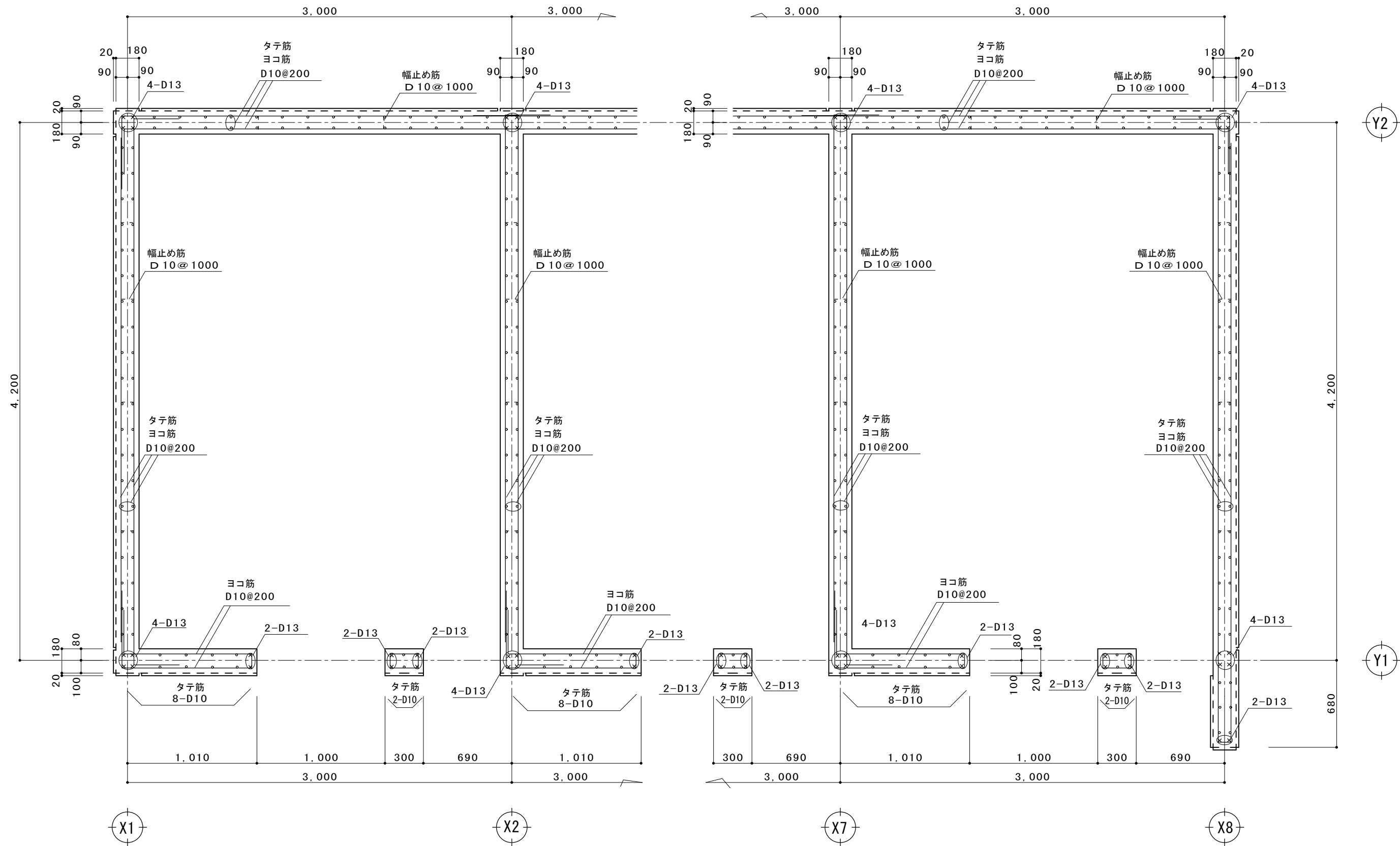
B 1 階壁配筋図 (1) S=1/30

摘要		T I M E			作成者	工事名称 一宮中学校部室棟改築工事 (建築主体)	縮尺 1/30
					承認	図面名称 B 1 階壁配筋図 (1)	図番 S-10



B 1 階壁配筋図 (2) S=1/30

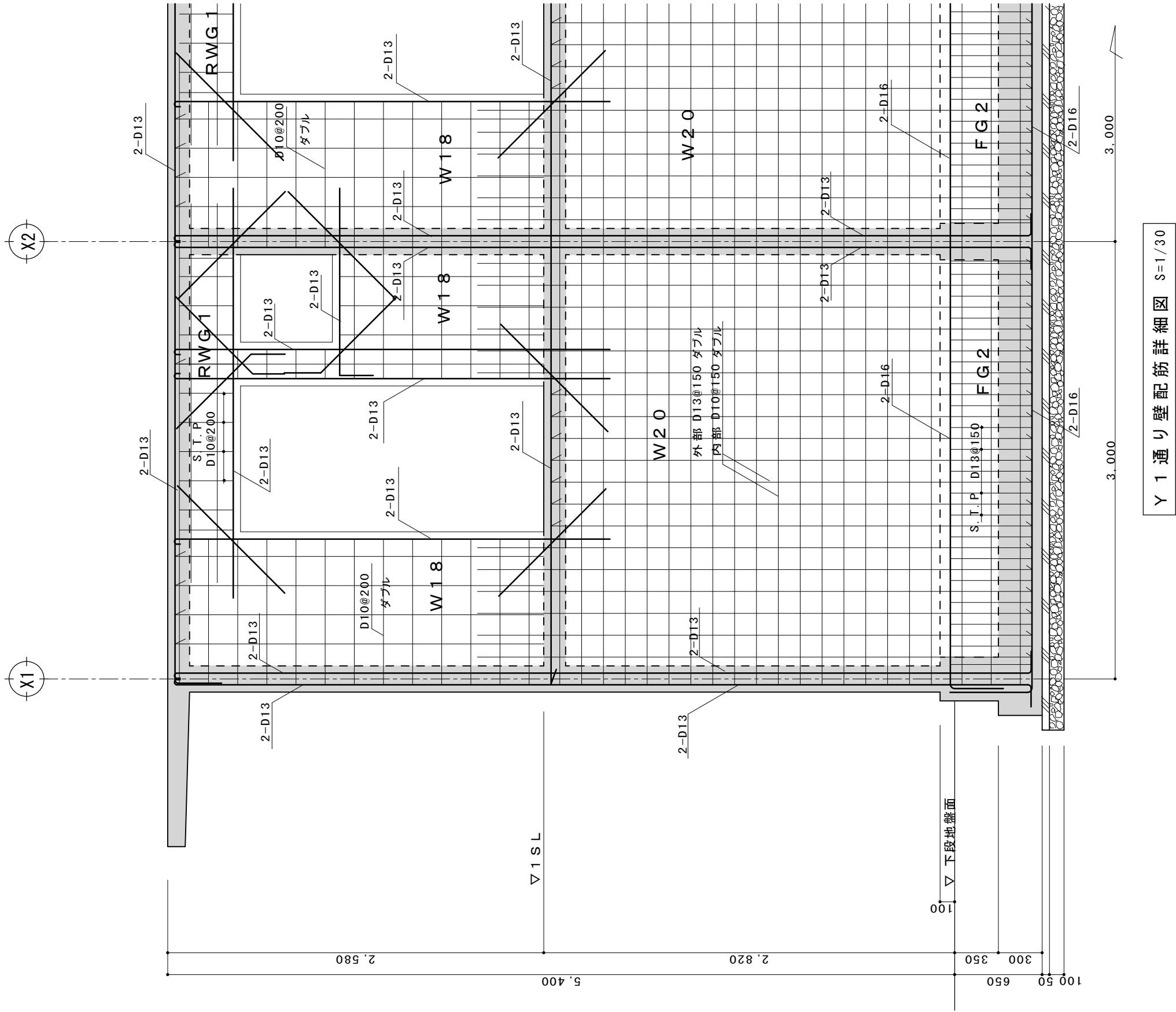
摘要	T・L・A・W・R	T I M E			作成者	工事名称 一宮中学校部室棟改築工事（建築主体） 図面名称 B 1 階壁配筋図（2）	縮尺 1/30
					承認		図番 S- 11



1階壁配筋図 S=1/30

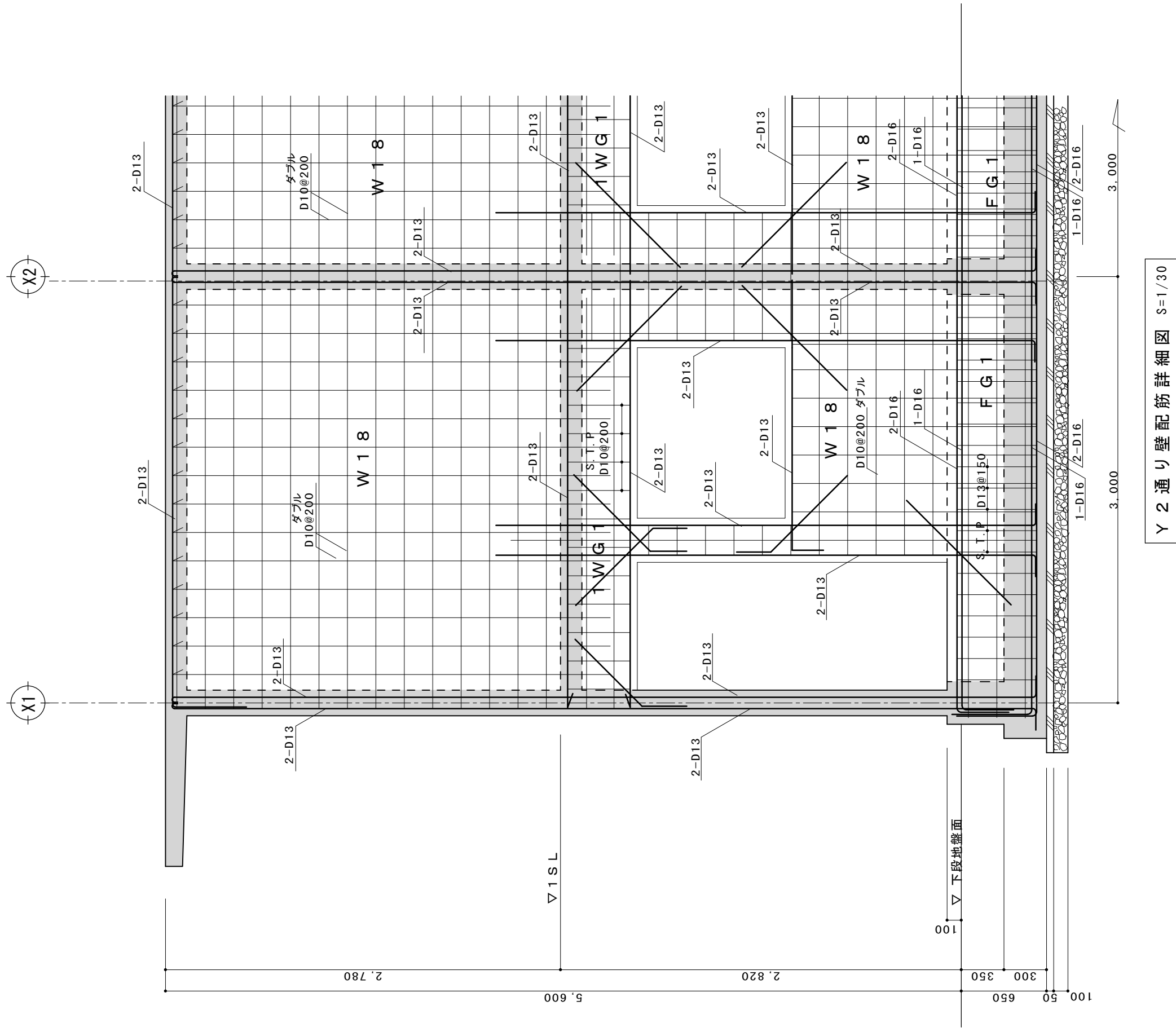
摘要		T I M E			作成者	工事名称 一宮中学校部室棟改築工事（建築主体）	縮尺 1/30
					承認	図面名称 1階壁配筋図	図番 S-12

摘要		TIME	作成者	工事名称 一宮中学校部室棟改築工事（建築主体）		縮尺 1/30
				図面名称 Y 1 通り壁配筋詳細図		図番 S-13
			承認			

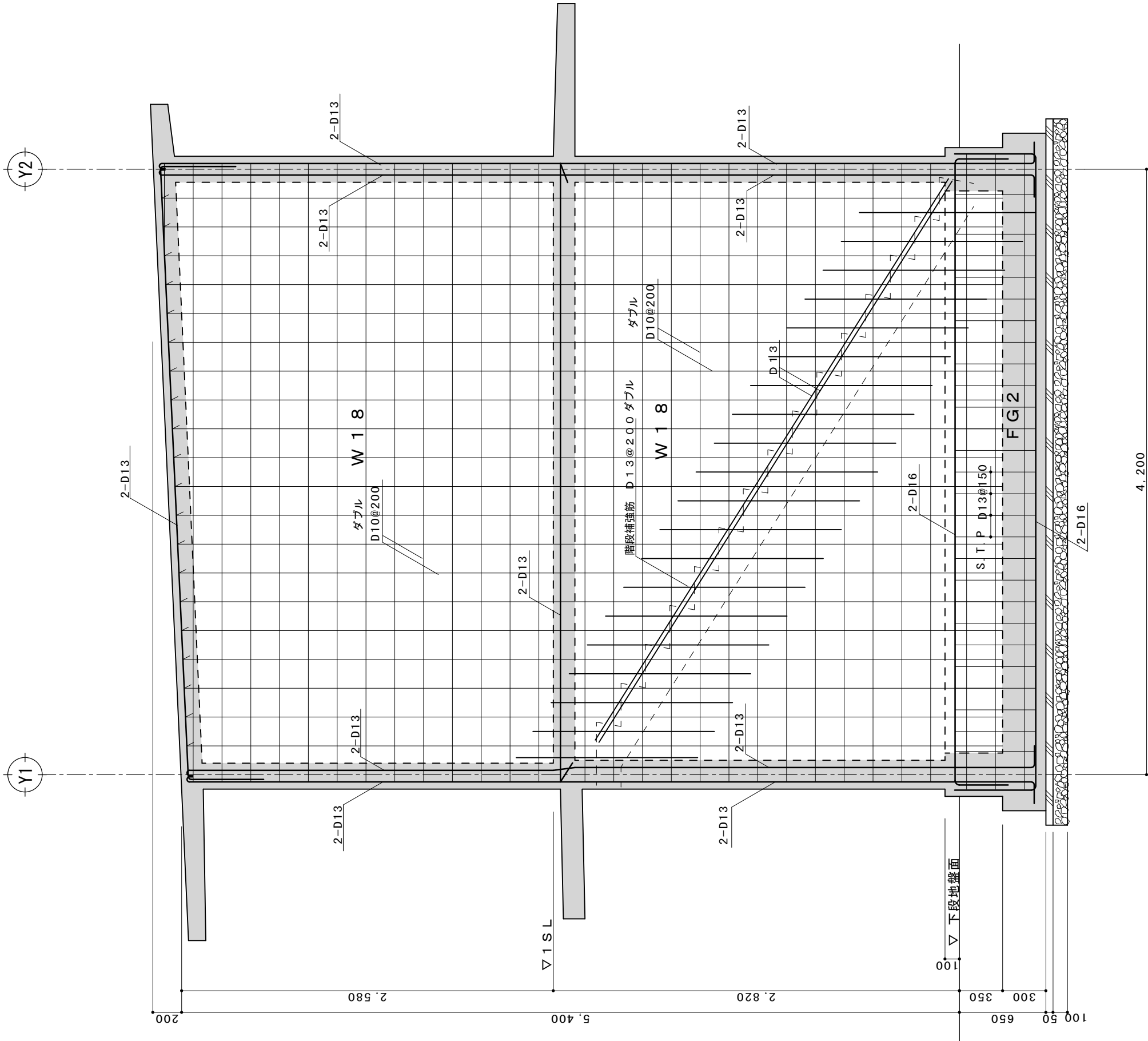


Y 1 通り壁配筋詳細図 S=1/30

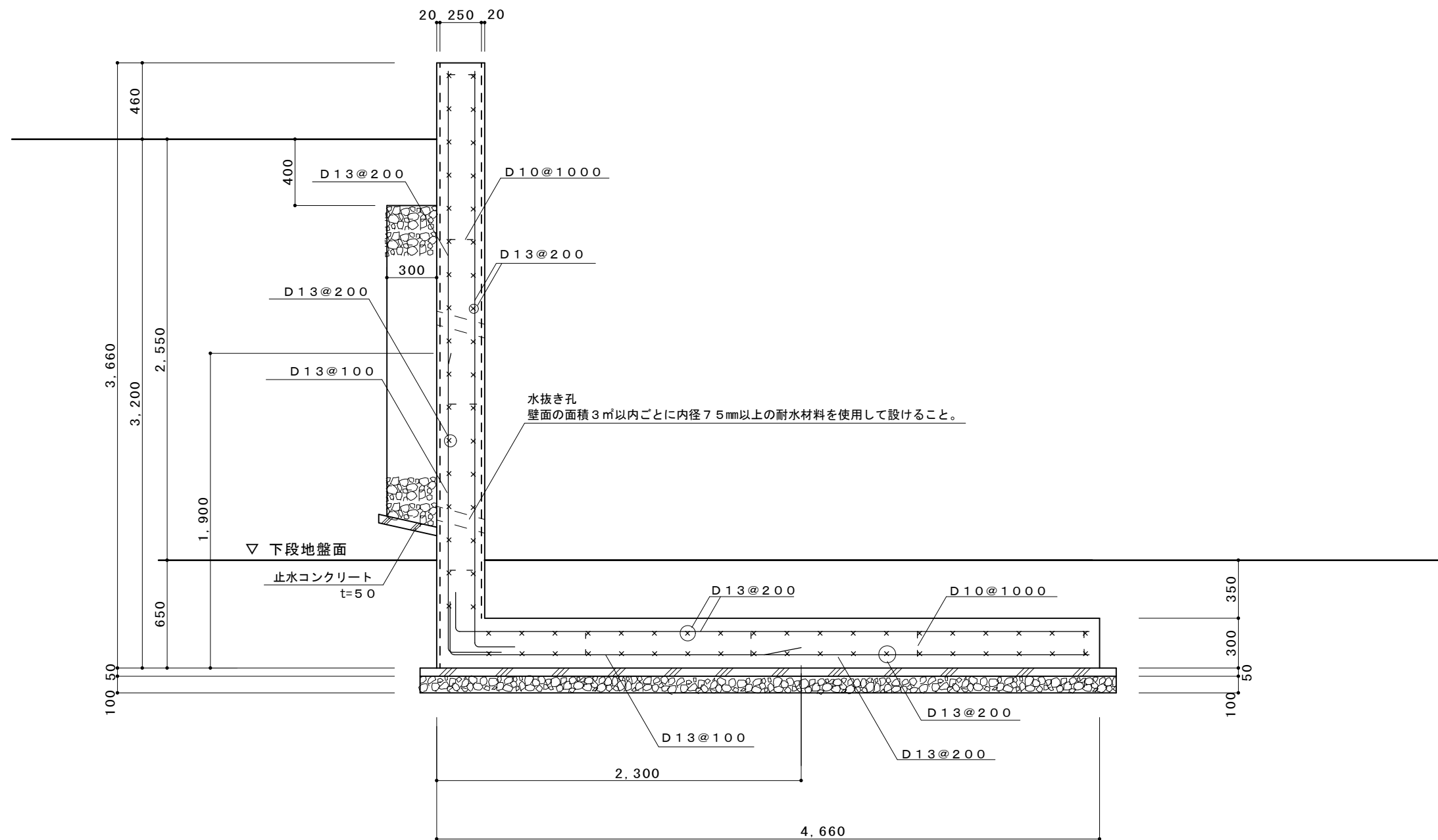
摘要		T I M E		作成者	工事名称 一宮中学校部室棟改築工事（建築主体）	縮尺 1/30
						図番 S-14
				承認	図面名称 Y 2 通り壁配筋詳細図	



<div>摘要</div> <div></div> <div></div> <div></div>		<div>T I M E</div> <div></div> <div></div> <div></div>	<div>作成者</div>	<div>工事名称</div> <div>一宮中学校部室棟改築工事（建築主体）</div>	<div>縮尺</div> <div>1/30</div>
			<div>承認</div>	<div>図面名称</div> <div>X 1 通り壁配筋詳細図</div>	<div>図番</div> <div>S-15</div>



X 1 通り壁配筋詳細図 S=1/30



擁壁配筋図 S=1/30

摘要		T I M E				作成者	工事名称 一宮中学校部室棟改築工事（建築主体）	縮尺 1/30
						承認	図面名称 擁壁配筋図	図番 S-16